

第5次立科町振興計画 後期基本計画 策定にかかる住民意識調査報告書

平成31年3月

目 次

第1章 調査設計.....	1
1 アンケート調査の目的	2
2 調査実施概要	2
3 調査項目	2
4 調査結果を確認する際の注意	2
第2章 調査結果の要点.....	3
1 立科町での暮らしの現状.....	4
2 立科町に対する愛着度	5
3 立科町での定住意向.....	6
4 満足度・重要度からみる今後の方向性.....	8
5 満足度の比較.....	18
第3章 調査結果.....	21
1. 回答者属性.....	22
2. 基本目標の現状評価・重要度の分析.....	28
3. 施策の満足度・重要度の分析	30
4. 施策全体の分析.....	81
(1) 回答者の満足度と重要度の分析.....	81
(2) 年代別の傾向.....	83
5. 立科町への意識や暮らし全般に関する分析	99
6. 町政や地域への関わりに関する分析	107
7. 町民の意見(自由記述の整理).....	113
(1) 5年後にも残したい立科町の良いところ.....	113
(2) 5年後に向けて改善していきたい立科町の課題	116
(3) 目指すまちのイメージ	122
巻末資料：調査票.....	125

第1章 調査設計

1 アンケート調査の目的

本調査は、2020年度から2024年度のまちづくりの方針を示す「第5次立科町振興計画 後期基本計画」の策定に向けて、前期基本計画の取り組みを振り返るとともに、住民の考えを把握し、これからの立科町において重視すべき政策・施策、「将来像」を実現するために、今後目指す方向性を検討するための材料を収集することを目的として実施した。

2 調査実施概要

住民アンケートの調査の概要を以下に示す。

(1) 調査対象

18歳以上の住民のうち1,000名（無作為抽出）に対して行った。

(2) 調査期間

平成31年1月31日（木）から平成31年2月18日（月）

※平成31年3月6日（水）まで到着した回答票を集計の対象とした

(3) 調査方法

質問紙法による。配布は郵送、回収は郵送および役場への提出にて行った。

(4) 回収票、回答率

回収票：565票 回答率：56.5%

3 調査項目

主な調査項目は以下のとおりである。

- ・回答者属性
- ・立科町の愛着、定住意向、暮らしの満足度 等
- ・町政への関心、情報収集方法
- ・立科町の状況・環境に対する評価と今後、重要と考えること
- ・今後のまちづくり
- ・生活における困りごと

4 調査結果を確認する際の注意

- ・無回答が存在する設問があるため、回答数の総数（以下、nと表記する）は、有効回答者数と一致しない場合がある。
- ・割合（パーセント）は小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100にならない場合がある。

第2章 調査結果の要点

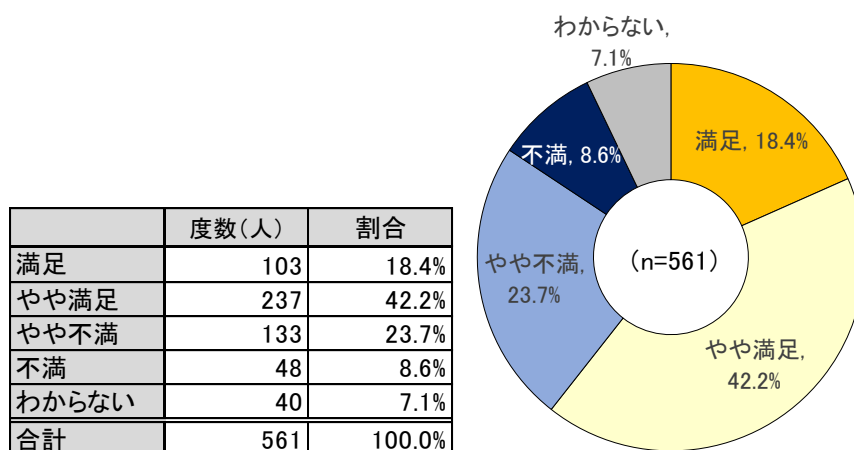
本章では、調査結果の要点について示す。

1 立科町での暮らしの現状

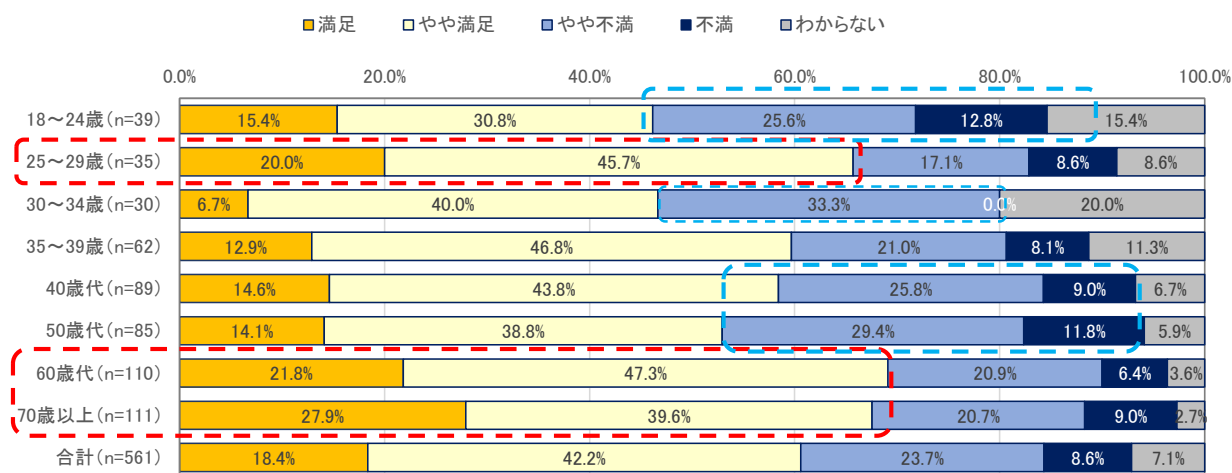
立科町での暮らしの満足度は60.6%である。

立科町での暮らしの満足度（「満足している」「やや満足している」をあわせた割合）は60.6%である。年代別にみると、25～29歳、60歳代、70歳以上では、満足度が回答者全体よりも高くなっている。18～24歳、30～34歳、40歳代、50歳代では不満（「どちらかというとな不満である」「不満である」の合計）が回答者全体よりも高くなっている。

図表 1 立科町での暮らしの満足度



図表 2 【年代別】立科町での暮らしの満足度



2 立科町に対する愛着度

立科町に愛着を感じている割合は 83.4%である。

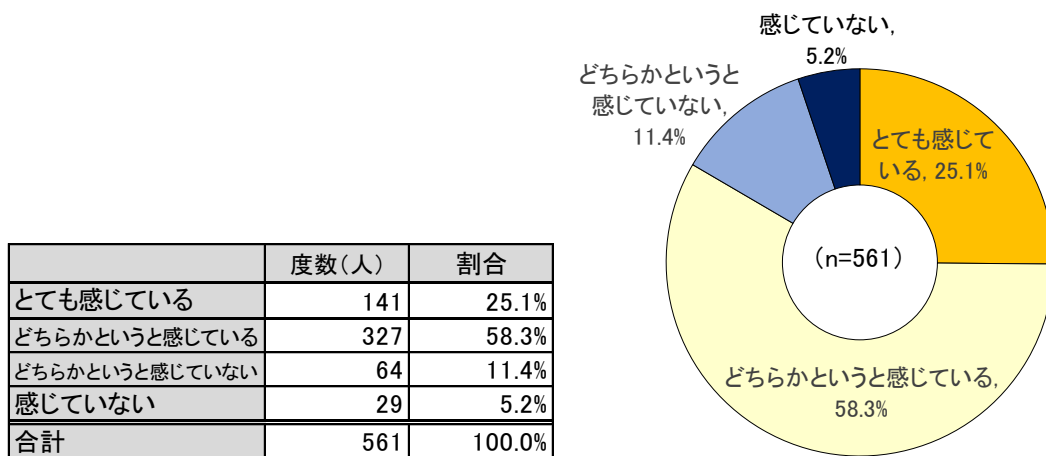
30～34 歳、60 歳以上では愛着を感じている割合が全体よりも高い。

18～24 歳では愛着を感じていない割合が全体の倍以上と高くなっている。

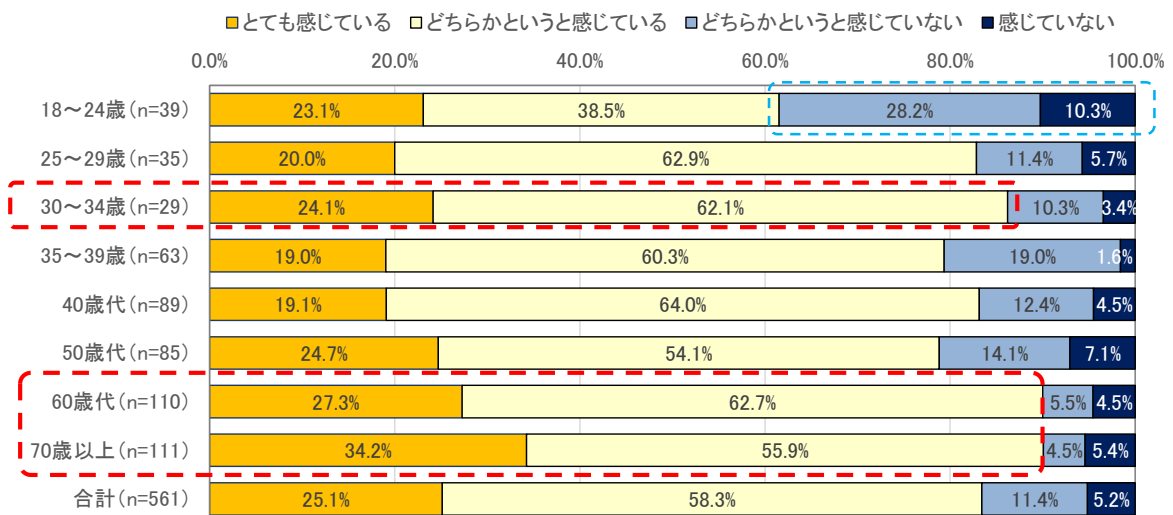
立科町に愛着を感じている割合（「とても感じている」、「どちらかというと感じている」をあわせた割合）は、83.4%である。

年代別にみると、30～34 歳、60 歳以上では感じている割合が全体より高くなっている。一方、18～24 歳では感じていない割合（「どちらかというと感じていない」「とても感じていない」をあわせた割合）が全体の倍以上となっている。

図表 3 立科町に対する愛着



図表 4 【年代別】 立科町に対する愛着



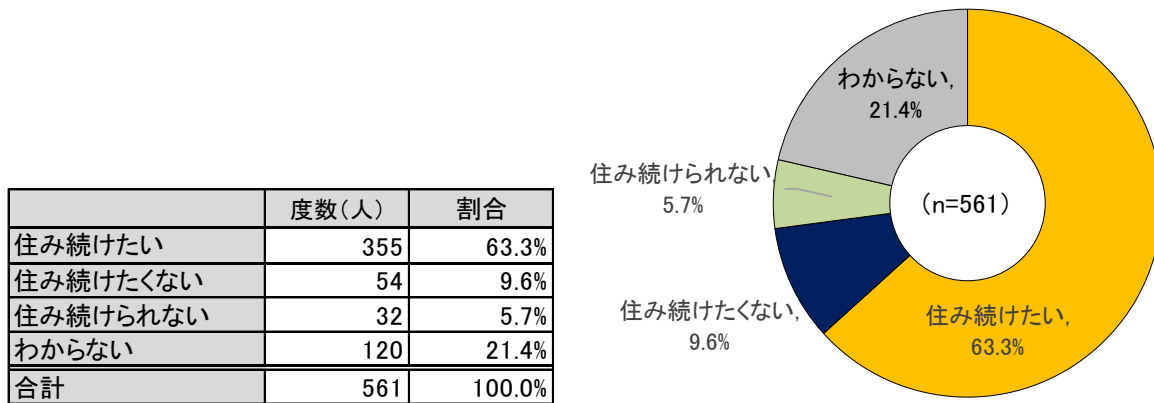
3 立科町での定住意向

立科町に「住みたい」割合は 63.3%である。
若い世代ほど定住意向が低い。また、定住・転出の意向が定まっていない者が多い。

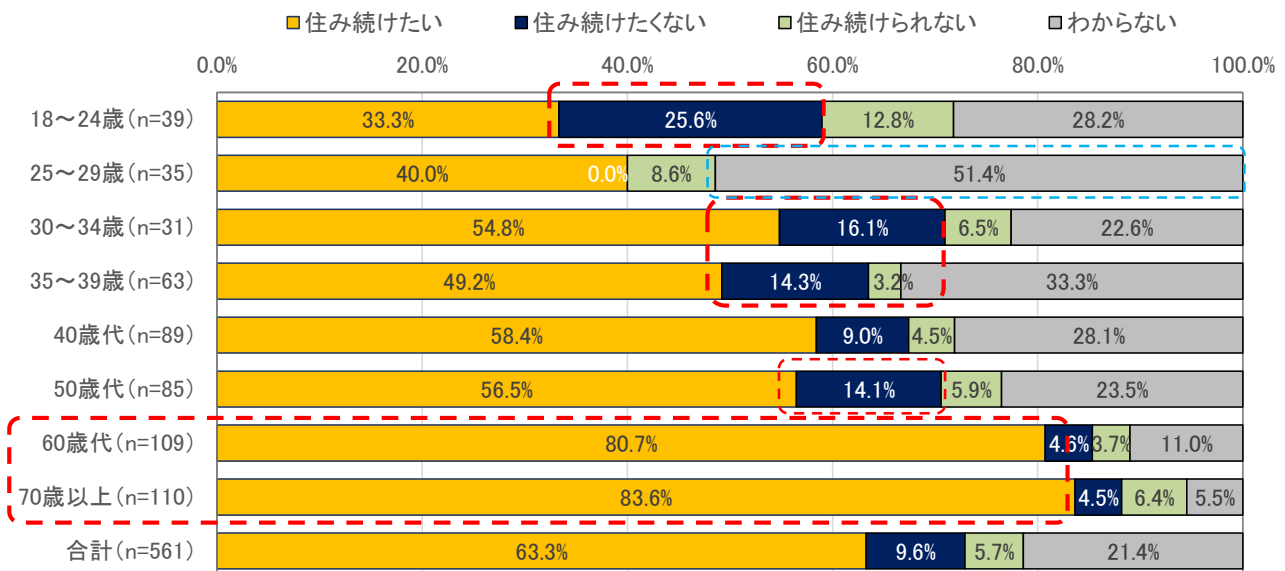
立科町での定住意向では、「住みたい」割合が 63.3%である。

年代別にみると、若い世代ほど定住意向は低い。特に、18～24 歳、30 歳代、50 歳代では「住みた
くない」の割合が全体よりも高い。また、若い世代ほど「わからない」割合が高く、定住・転出の意向
が定まっていない者が多いことがうかがえる。

図表 5 定住意向

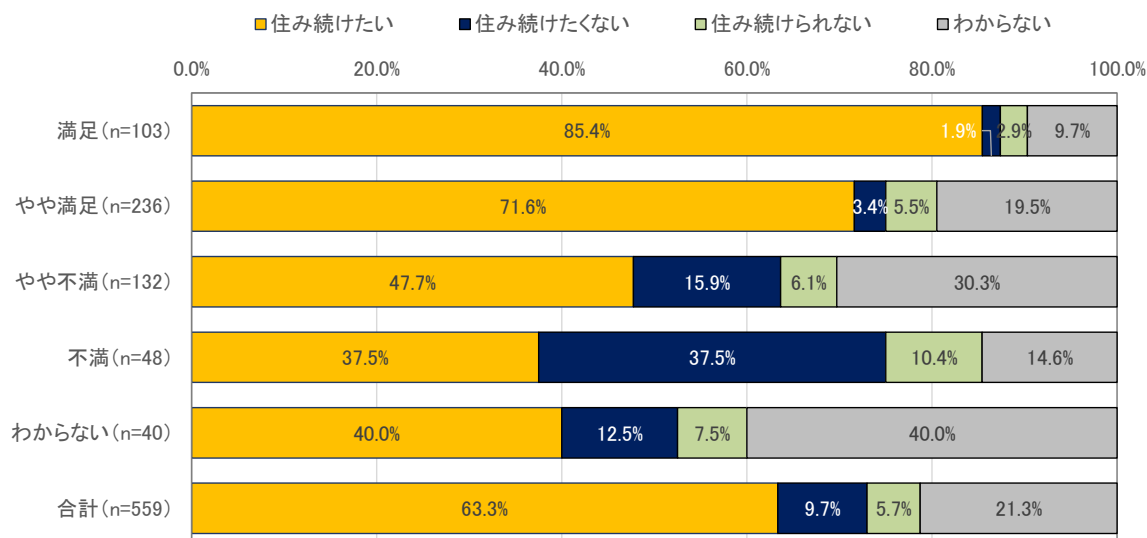


図表 6 【年代別】定住意向

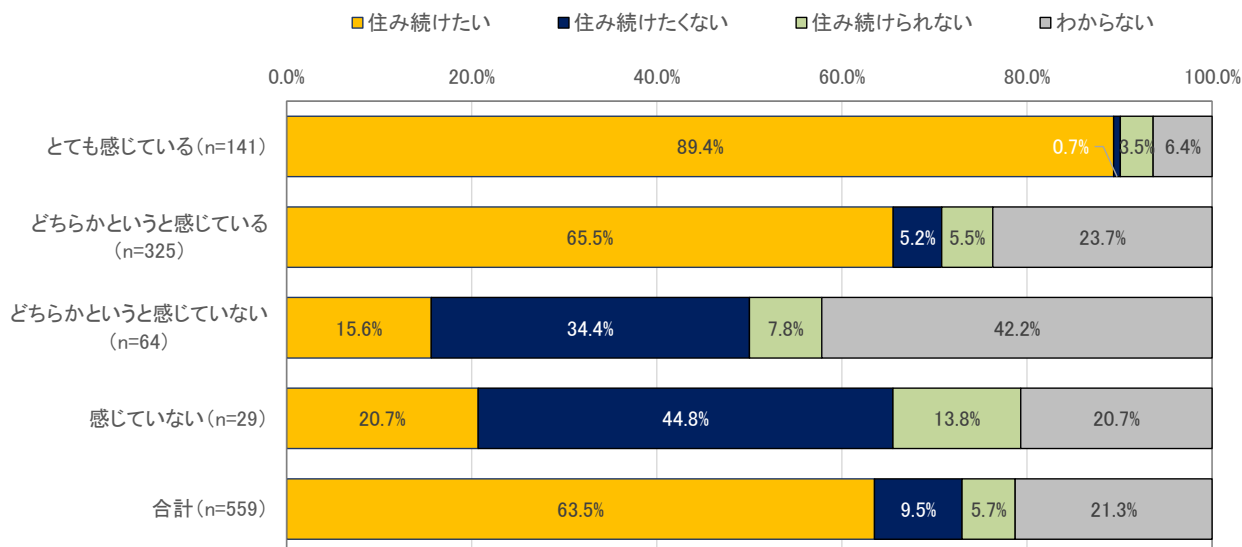


暮らしの満足度、愛着度別に定住意向を確認すると、暮らしの満足度、愛着度ともに高いほど定住意向が高くなっている。暮らしの満足度、愛着度を高めることで定住意向を高められる可能性がある。

図表 7 【暮らしの満足度別】 定住意向



図表 8 【愛着度別】 定住意向



4 満足度・重要度からみる今後の方向性

施策実施の結果整えられた町の環境に対する満足度・今後の重要度や回答保留の比率から、今後、町が注力すべき分野を明らかにする。

(1) 満足度・重要度の設定の考え方

満足度・重要度の設定の考え方について示す。

施策の評価及び、今後の施策方向性の導出を検討するため、第5次立科町振興計画 前期基本計画の政策体系に沿い、調査項目を設定し、それぞれの項目について満足度・重要度を確認した。調査項目は前期基本計画の施策ごとに整備される町の環境や状況とした。

◆調査項目設定（例）

基本目標1：健やかに、いつまでも地域で暮らせるまちづくり

施策(1)心とからだの健康支援

- ・【設問】：年代に応じて健康づくりに取り組みやすい環境が整っている

施策(2) 母子保健事業の充実

- ・【設問】：安心して妊娠・出産・育児ができる体制が整っている

① 調査票

調査票は、以下のように設定した。

		①町の取り組みに対する満足度					②今後、どの程度重要になると思うか							
		判断できない	満足	やや満足	満足でも不満でもない	やや不満	不満	判断できない	とても重要になる	やや重要になる	どちらでもない	あまり重要にならない	重要にならない	
【設問番号】 例)		(記入)	0	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1
保健・福祉	1	年代に応じて健康づくりに取り組みやすい環境が整っている	0	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1
	2	安心して妊娠・出産・育児ができる体制が整っている	0	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1
	3	安心して暮らせる地域医療体制が整っている	0	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1
	4	ご近所において、お互いに支え合える人間関係を築けている	0	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1

② 集計・評価方法

満足度・重要度の評価は、回答結果から平均点を算出し、中心傾向（回答がどのような評価に集中していたか）から行った。

平均点は、満足度の選択肢「満足」～「不満」、重要度の選択肢「とても重要になる」～「重要にならない」にそれぞれ5点～1点の点数を設定し、その点数の総和を回答数で除すことによって算出した。

満足度の評価の基準は、中間点(3.0)とした。重要度については、すべての項目の平均点が中間点(3.0)を上回っており、中間点を基準とすることができないため、全施策の平均点(4.15)とした。

なお、判断の保留を意味する「判断できない」や「無回答」は、評価に影響を与えないように、平均点の計算から除外した。「判断できない」(回答保留)については、その割合が高い場合、当該施策に関する町の状況を把握・理解している住民の割合が少ない、関心が薄い、重要性を感じていない、もしくは、住民が施策の成果を判断できるまで周知されていないなどの可能性がある。

1) 選択肢の得点化と評価基準

町の状況や環境に関する設問の選択肢

満足	→5点
やや満足	→4点
満足でも不満でもない	→3点
やや不満	→2点
不満	→1点

今後の重要度に関する設問の選択肢

とても重要になる	→5点
やや重要になる	→4点
どちらでもない	→3点
あまり重要にならない	→2点
重要にならない	→1点

得点の中間点は3.00である。満足度については、中間点を平均点の高低を判断する際の基準値とした。重要度については、すべての項目で平均点が3.00を超えているため、全施策の平均点(4.15)を基準値とした。

平均点が基準値より高い場合は肯定的な評価をした者や重要だと考えている者が多く、中間点以下の場合には否定的な評価をしている者が多いとみることができる。

2) 平均値の算出方法

回答者A	5点	}	(5点+4点+2点+4点+1点+・・・+X点)
回答者B	4点		
回答者C	2点		
回答者D	4点		
回答者E	1点		
・・・			
回答者X	X点		
			÷回答者の人数=平均点

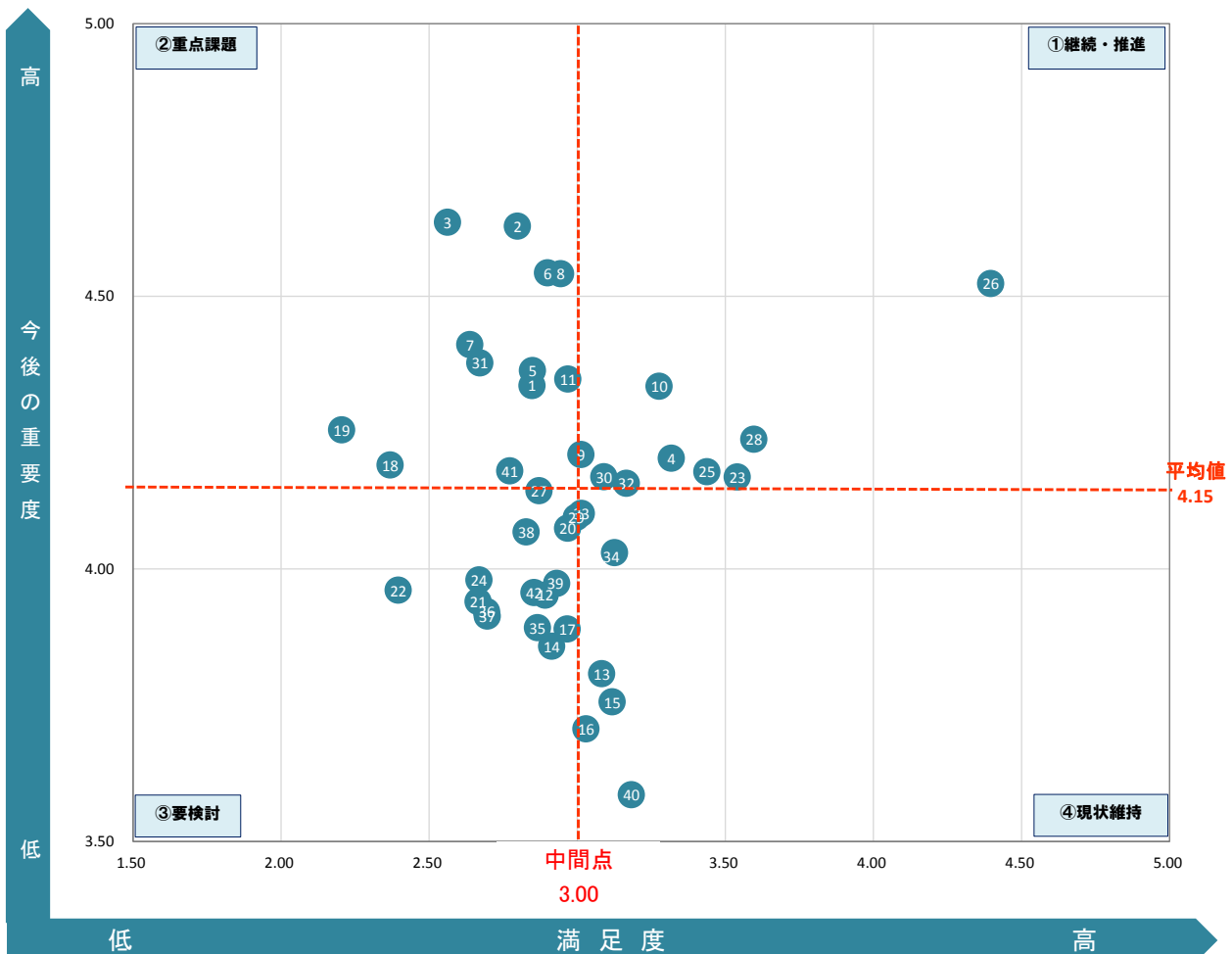
(2) 今後の方向性

次の図は、項目ごとの各施策の満足度（横軸）と重要度（縦軸）の平均点を散布図にしたものである。

なお、全ての項目の今後の重要度の平均点は 4.15 であった。この重要度の平均点と満足度の中間点 3.00 によって各項目を下表の 4 つのグループに分類した。

象限	グループ	満足度、重要度	内容
第 1 象限	①継続・推進	重要度、満足度がどちらも高い	町の強みである。 ①さらに強化していくべき施策と②すでに充分取り組みがなされているため拡充の優先順位は低い施策がある。
第 2 象限	②重点課題	重要度が高いが、満足度が低い	重要課題となる施策群である。
第 3 象限	③要検討	重要度、満足度がどちらも低い	基本的には優先順位が低い施策となる。ただし、住民が重要視していないことが必ずしも重要でないとはいえない。これらを踏まえて、当該施策の実施を町が担う必要があるのかを検討する。
第 4 象限	④現状維持	重要度が低いが、満足度が高い	住民から一定の成果が得られており、優先順位がもっとも低い施策である。 町が継続的に取り組む必要性を検討する。

図表 9 満足度と重要度（全回答者）



番号	項目	現在の満足度			今後の重要度		
		合計 回答数	判断できない 割合(%)	平均点	合計 回答数	判断できない 割合(%)	平均点
1	年代に応じて健康づくりに取り組みやすい環境が整っている	540	16.1	2.85	522	10.5	4.34
2	安心して妊娠・出産・育児ができる体制が整っている	532	26.3	2.80	525	13.3	4.63
3	安心して暮らせる地域医療体制が整っている	547	10.2	2.56	531	6.4	4.64
4	ご近所において、お互いに支え合える人間関係を築けている	550	9.6	3.32	534	6.7	4.20
5	高齢者が生きがいを感じ、暮らしていける環境が整っている	550	21.6	2.85	535	9.5	4.36
6	質の高い介護サービスが受けられる	545	35.8	2.90	534	12.4	4.54
7	障がい者が安心して生活していける環境が整っている	545	36.7	2.64	529	15.9	4.41
8	社会保障・医療費助成が充実している	544	21.0	2.94	531	10.9	4.54
番号	項目	現在の満足度			今後の重要度		
		合計 回答数	判断できない 割合(%)	平均点	合計 回答数	判断できない 割合(%)	平均点
9	子どもが生きていく力をつけることを目指す「立科教育」が進んでいる	537	40.6	3.01	508	24.0	4.21
10	子どもたちが心身ともに健やかに育つことができる環境が整っている	538	26.2	3.28	505	15.4	4.33
11	子育てに関わる人への支援体制が整っている	534	33.7	2.97	508	19.7	4.35
12	生涯にわたり学習することができる環境が整っている	538	29.6	2.89	508	18.3	3.95
13	人権感覚を高めるための取り組みが充実している	535	32.5	3.08	505	19.8	3.81
14	生涯にわたりスポーツ活動や運動に取り組める環境が整っている	537	24.0	2.91	508	16.7	3.86
15	町民の郷土への理解と愛情を深めるための取り組みが行われている	534	27.3	3.12	505	16.4	3.76
16	町民が文化・芸術活動に参加する環境が整っている	539	25.0	3.03	509	16.3	3.71
17	女性が主体的に社会参画できる環境が整っている	536	33.8	2.97	503	18.9	3.89
番号	項目	現在の満足度			今後の重要度		
		合計 回答数	判断できない 割合(%)	平均点	合計 回答数	判断できない 割合(%)	平均点
18	次の世代に引き継げるよう農業振興が進んでいる	540	35.7	2.37	499	20.0	4.19
19	農業経営の担い手の確保対策が進んでいる	540	37.6	2.20	503	21.3	4.26
20	農地や農業用水路などの生産基盤が適切に管理されている	539	31.4	2.97	501	22.4	4.07
21	町有林が適切に整備されている	533	45.6	2.67	497	29.8	3.94
22	里山など私有林が適切に整備されている	536	37.3	2.40	497	28.4	3.96
23	知人や友人に勧めたい町の特産品がある	537	13.6	3.54	501	11.2	4.17
24	商工業が振興されている	532	29.7	2.67	494	21.3	3.98
25	知人や友人に勧めたい観光地が町内にある	539	11.9	3.44	503	10.7	4.18
番号	項目	現在の満足度			今後の重要度		
		合計 回答数	判断できない 割合(%)	平均点	合計 回答数	判断できない 割合(%)	平均点
26	おいしい水が安定的に供給されている	549	3.5	4.40	505	5.7	4.52
27	移住者が地域に定着できる環境が整っている	545	32.8	2.87	503	20.9	4.14
28	美しい景観が保たれている	541	9.2	3.60	501	8.4	4.24
29	環境に配慮した循環型社会が推進されている	534	36.5	3.00	496	25.4	4.09
30	道路や橋が整備され、適切に維持管理されている	539	11.7	3.09	504	9.5	4.17
31	交通弱者に必要な公共交通網が整備されている	538	15.1	2.67	507	11.2	4.38
32	地域において防災・減災対策が十分に行われている	541	19.8	3.17	508	14.8	4.16
33	地域において防犯対策が十分に行われている	541	21.3	3.01	506	16.4	4.10
34	交通安全の意識が向上している	535	18.5	3.13	501	12.8	4.03
35	消費者保護の対策が進んでいる	535	38.7	2.87	501	25.9	3.89
36	町民が安全に情報通信技術を活用できるよう支援されている	535	35.7	2.69	502	23.7	3.92
番号	項目	現在の満足度			今後の重要度		
		合計 回答数	判断できない 割合(%)	平均点	合計 回答数	判断できない 割合(%)	平均点
37	町政へ住民参画が進んでいる	539	35.3	2.70	509	25.1	3.91
38	地域社会が機能し、自立的な地域づくりが行われている	537	35.0	2.83	505	24.0	4.07
39	町政に関する情報を入手する環境が整っている	546	20.7	2.93	507	18.7	3.97
40	姉妹都市・友好都市との交流が盛んに行われている	544	31.6	3.18	511	25.8	3.59
41	行財政運営の健全化が図られている	543	40.1	2.77	505	27.3	4.18
42	広域行政が推進されている	542	43.0	2.85	505	32.1	3.96
				3.0未満	4.15以上		

以下に、グループ（①継続・推進、②重点課題、③要検討、④現状維持）ごとの分析結果をまとめる。

① 継続・推進

満足度、重要度ともに基準よりも高い「継続・推進」グループには下記の項目が該当した。

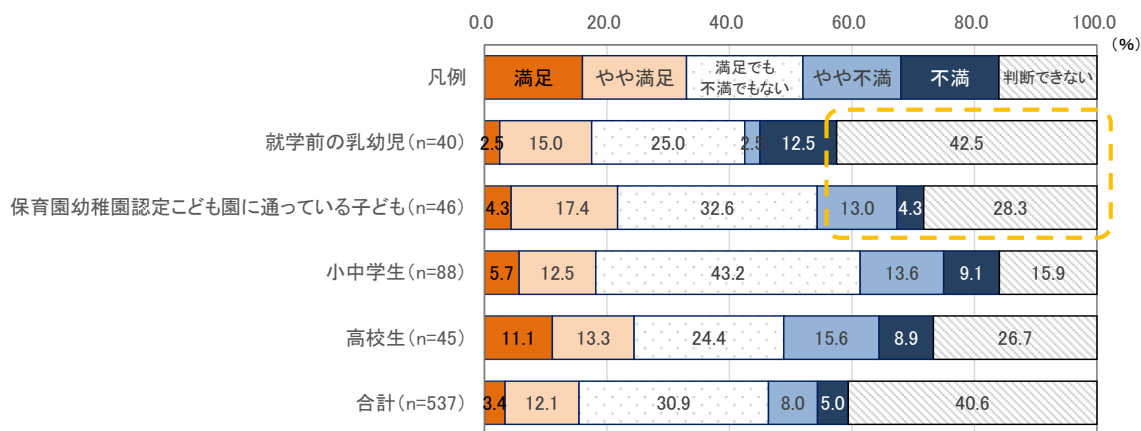
図表 10 継続・推進グループに該当する項目

番号	項目	現在の満足度			今後の重要度			
		合計回答数	判断できない割合(%)	平均点	合計回答数	判断できない割合(%)	平均点	
4	ご近所において、お互いに支え合える人間関係を築けている	550	9.6	3.32	534	6.7	4.20	
9	子どもが生きていく力をつけることを目指す「立科教育」が進んでいる	537	40.6	3.01	508	24.0	4.21	
10	子どもたちが心身ともに健やかに育つことができる環境が整っている	538	26.2	3.28	505	15.4	4.33	
23	知人や友人に勧めたい町の特産品がある	537	13.6	3.54	501	11.2	4.17	
25	知人や友人に勧めたい観光地が町内にある	539	11.9	3.44	503	10.7	4.18	
26	おいしい水が安定的に供給されている	549	3.5	4.40	505	5.7	4.52	
28	美しい景観が保たれている	541	9.2	3.60	501	8.4	4.24	
30	道路や橋が整備され、適切に維持管理されている	539	11.7	3.09	504	9.5	4.17	
32	地域において防災・減災対策が十分に行われている	541	19.8	3.17	508	14.8	4.16	
							3.0未満	4.15以上

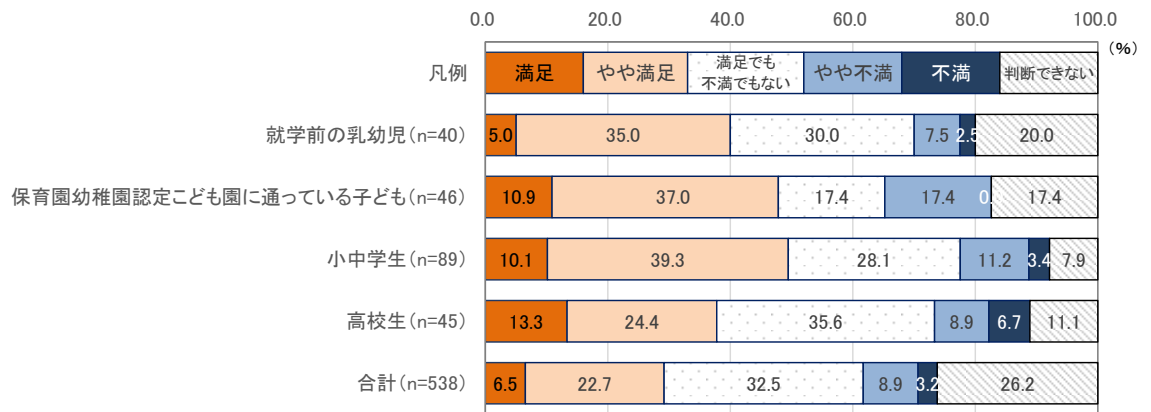
子育て環境に関する項目（「9：子どもが生きていく力をつけることを目指す「立科教育」が進んでいる」「10：子どもたちが心身ともに健やかに育つことができる環境が整っている」）、自然・景観に関する項目（「26：おいしい水が安定的に供給されている」「28：美しい景観が保たれている」）、産業振興の項目（「23：知人や友人に勧めたい町の特産品がある」「25：知人や友人に勧めたい観光地が町内にある」）は町の強みと考えられ、引き続き推進するべきと考えられる。

ただし、「9：子どもが生きていく力をつけることを目指す「立科教育」が進んでいる」については、就学前の乳幼児をもつ回答者でも「判断できない」（回答保留）割合が高く、立科教育を受けていない住民には町の特徴ある子育て施策が伝わっていない可能性がある。

図表 11 **満足度** 子どもが生きていく力をつけることを目指す「立科教育」が進んでいる
(同居家族に子供がいる回答者のみ)



図表 12 **満足度** 子どもたちが心身ともに健やかに育つことができる環境が整っている
(同居家族に子供がいる回答者のみ)



また、「4：ご近所において、お互いに支え合える人間関係を築けている」「32：地域において防災・減災対策が十分に行われている」も「継続・推進」グループに位置している。日常生活における困りごと（ニーズ量）・手助けできること（サポート量）の結果では、ほとんどの項目でサポート量がニーズ量を上回っていることから地域の関係が築けていることがうかがえる。財政が縮小する中、住民の生活の質を維持するためには、このような地域による取り組みが活発な分野については、町が住民の後押しやサポートをすることで、より一層拡大させる必要がある。

一方、「30：道路や橋が整備され、適切に維持管理されている」は、人口減少が進む中で、これまでと同じ規模で維持することが難しくなると考えられ、優先順位をつけた対応が求められる。

② 重点課題

基準より満足度が低く、重要度が高い「重点課題」グループには下記の項目が該当した。

図表 13 重点課題グループに該当する項目

番号	項目	現在の満足度			今後の重要度			
		合計回答数	判断できない割合(%)	平均点	合計回答数	判断できない割合(%)	平均点	
1	年代に応じて健康づくりに取り組みやすい環境が整っている	540	16.1	2.85	522	10.5	4.34	
2	安心して妊娠・出産・育児ができる体制が整っている	532	26.3	2.80	525	13.3	4.63	
3	安心して暮らせる地域医療体制が整っている	547	10.2	2.56	531	6.4	4.64	
5	高齢者が生きがいを感じ、暮らしていける環境が整っている	550	21.6	2.85	535	9.5	4.36	
6	質の高い介護サービスが受けられる	545	35.8	2.90	534	12.4	4.54	
7	障がい者が安心して生活していける環境が整っている	545	36.7	2.64	529	15.9	4.41	
8	社会保障・医療費助成が充実している	544	21.0	2.94	531	10.9	4.54	
11	子育てに関わる人への支援体制が整っている	534	33.7	2.97	508	19.7	4.35	
18	次の世代に引き継げるよう農業振興が進んでいる	540	35.7	2.37	499	20.0	4.19	
19	農業経営の担い手の確保対策が進んでいる	540	37.6	2.20	503	21.3	4.26	
31	交通弱者に必要な公共交通網が整備されている	538	15.1	2.67	507	11.2	4.38	
41	行財政運営の健全化が図られている	543	40.1	2.77	505	27.3	4.18	
							3.0未満	4.15以上

「基本目標 1：健やかに、いつまでも地域で暮らせるまちづくり」（健康づくり・医療・福祉分野）に含まれる 8 つの項目のうち 7 つ（「1：年代に応じて健康づくりに取り組みやすい環境が整っている」「2：安心して妊娠・出産・育児ができる体制が整っている」「3：安心して暮らせる地域医療体制が整

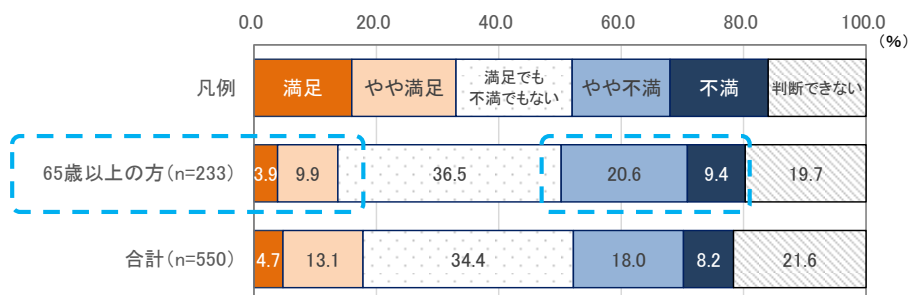
っている」「5：高齢者が生きがいを感じ、暮らしていける環境が整っている」「6：質の高い介護サービスが受けられる」「7：障がい者が安心して生活していける環境が整っている」「8：社会保障・医療費助成が充実している」が該当している。

少子高齢化が進む中、妊娠・出産・育児支援、医療体制、介護サービスなどは、今後さらに重要度が増すと捕えられており、全項目のなかでも重要度（「とても重要になる」「やや重要になる」をあわせた割合）が高くなっていると考えられる。

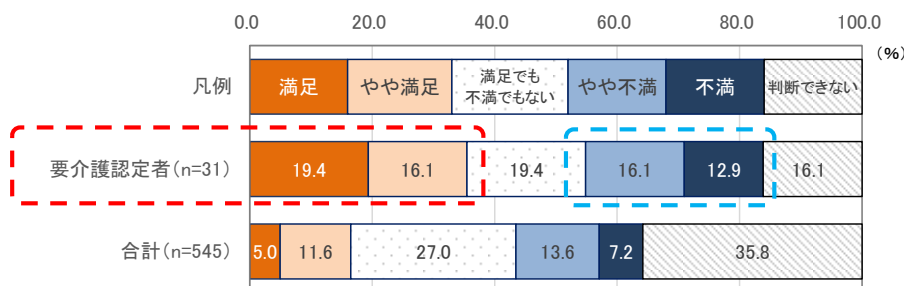
受益者となる同居家族の有無別にみると「5：高齢者が生きがいを感じ、暮らしていける環境が整っている」は満足度（「満足」「やや満足」をあわせた割合）が全体よりも低く、不満の割合（「不満」「やや不満」をあわせた割合）が高くなっている。また、「判断できない」割合も全体とほぼ同じとなっており、周知方法も含めて事業の見直しの検討が求められる。

「6：質の高い介護サービスが受けられる」「7：障がい者が安心して生活していける環境が整っている」については、受益者の満足度が全体よりも高くなっている反面、不満の割合も高くなっている。一部の人が支援の恩恵を受けている可能性もあり、対象者のニーズを確認しつつ、事業の見直しが必要になると考えられる。

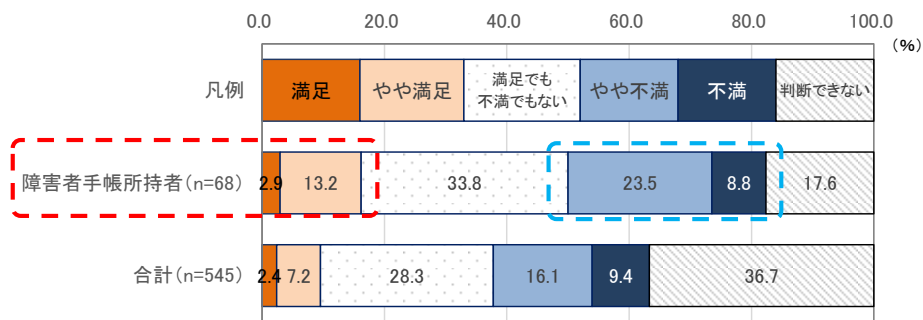
図表 14 **満足度** 高齢者が生きがいを感じ、暮らしていける環境が整っている
(同居家族に高齢者がいる回答者のみ)



図表 15 **満足度** 質の高い介護サービスが受けられる
(同居家族に要介護認定者がいる回答者のみ)

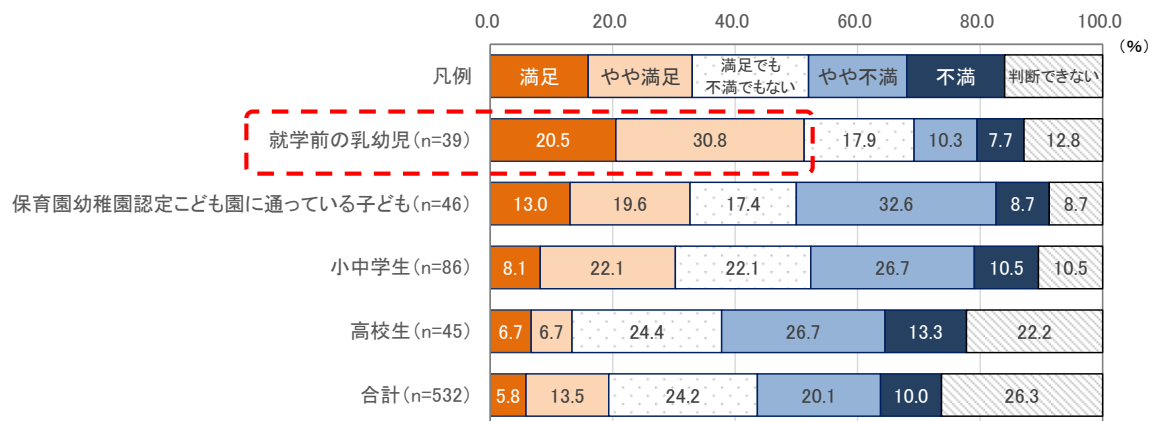


図表 16 **満足度** 障がい者が安心して生活していける環境が整っている
(同居家族に障害者手帳所持者がいる回答者のみ)



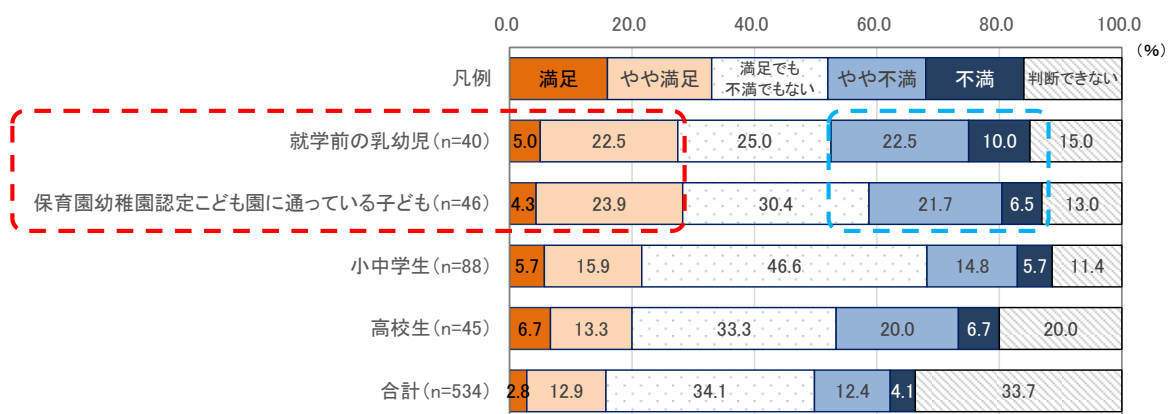
また、「2：安心して妊娠・出産・育児ができる体制が整っている」も重点課題に該当しているが、受益者となる同居家族の有無別にみると、同居家族の子どもの年齢が低い回答者の満足度が高くなっており、近年、体制が整ったことがうかがえる。今後は、さらに整備を進めるとともに、それを住民に周知することで、満足度が向上する可能性がある。

図表 17 **満足度** 安心して妊娠・出産・育児ができる体制が整っている
(同居家族に子供がいる回答者のみ)



「11：子育てに関わる人への支援体制が整っている」も重点課題に該当している。「2：安心して妊娠・出産・育児ができる体制が整っている」と同様に、受益者となる同居家族の有無別にみると、子どもの年齢が低い回答者の方が満足度が高くなっている。ただし、不満の割合も高くなっており、事業の見直しを検討する必要があるといえる。

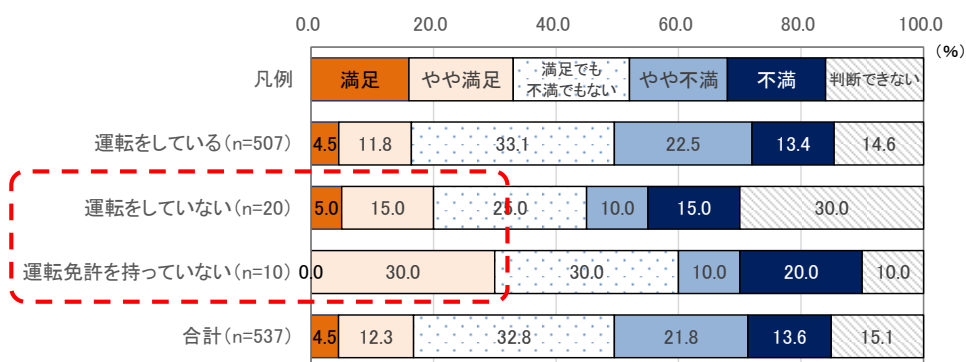
図表 18 **満足度** 子育てに関わる人への支援体制が整っている
(同居家族に子供がいる回答者のみ)



次に、産業振興分野の基本目標である「活気ある経済を創造するまちづくり」に関する項目において、唯一農業振興の項目（「18：次の世代に引き継げるよう農業振興が進んでいる」「19：農業経営の担い手の確保対策が進んでいる」）が該当している。担い手の確保を進め、継続できる農業を目指し、事業を展開することが求められる。

このほか「31：交通弱者に必要な公共交通網が整備されている」も該当している。「運転をしていない」「運転免許をもっていない」回答者数は非常に少ないことに留意する必要があるが、「運転をしていない」「運転免許をもっていない」回答者の満足度は全体より高く、公共交通を必要としている人からは高い満足度を得ているといえる。また、公共交通の利用者数は減少傾向にあることを考慮し、地域における公共交通の利便性、効率性を十分に議論する必要がある。

図表 19 **満足度** 運転の有無別交通弱者に必要な公共交通網が整備されている



③ 要検討

基準より満足度も重要度も低い「要検討」グループには下記の項目が該当した。

図表 20 要検討グループに該当する項目

番号	項目	現在の満足度			今後の重要度		
		合計回答数	判断できない割合(%)	平均点	合計回答数	判断できない割合(%)	平均点
12	生涯にわたり学習することができる環境が整っている	538	29.6	2.89	508	18.3	3.95
14	生涯にわたりスポーツ活動や運動に取り組める環境が整っている	537	24.0	2.91	508	16.7	3.86
17	女性が主体的に社会参画できる環境が整っている	536	33.8	2.97	503	18.9	3.89
20	農地や農業用水路などの生産基盤が適切に管理されている	539	31.4	2.97	501	22.4	4.07
21	町有林が適切に整備されている	533	45.6	2.67	497	29.8	3.94
22	里山など私有林が適切に整備されている	536	37.3	2.40	497	28.4	3.96
24	商工業が振興されている	532	29.7	2.67	494	21.3	3.98
27	移住者が地域に定着できる環境が整っている	545	32.8	2.87	503	20.9	4.14
29	環境に配慮した循環型社会が推進されている	534	36.5	3.00	496	25.4	4.09
35	消費者保護の対策が進んでいる	535	38.7	2.87	501	25.9	3.89
36	町民が安全に情報通信技術を活用できるよう支援されている	535	35.7	2.69	502	23.7	3.92
37	町政へ住民参画が進んでいる	539	35.3	2.70	509	25.1	3.91
38	地域社会が機能し、自立的な地域づくりが行われている	537	35.0	2.83	505	24.0	4.07
39	町政に関する情報を入手する環境が整っている	546	20.7	2.93	507	18.7	3.97
42	広域行政が推進されている	542	43.0	2.85	505	32.1	3.96

3.0未満

4.15以上

これらの項目は、基本的には優先順位が低くなるが、どの項目も「判断できない」割合が高くなっており、多くの住民が町の状況を知らず、正確な回答ができていない可能性がある。まず、町の状況を周知する必要がある。

また、重要度が平均点より低くなっているが、住民協働や広域連携は、人口が減少し、地域課題が複雑化・多様化するなかで、行財政は縮小し、行政だけで地域を支えることが難しくなることを見込まれる中、今後さらに拡大をしなければならない分野であり、該当する項目である「37：町政へ住民参画が進んでいる」「38：地域社会が機能し、自立的な地域づくりが行われている」「39：町政に関する情報を入手する環境が整っている」「42：広域行政が推進されている」は、さらなる推進が求められる。ただし、一部の回答者からは地域への参画が負担となっているとの声もあがっており、必要性を再検討したうえで事業の推進や役割分担を進める必要がある。

④ 現状維持

基準より満足度が高く、重要度が低い「現状維持」グループには下記の項目が該当した。

図表 21 現状維持グループに該当する項目

番号	項目	現在の満足度			今後の重要度		
		合計回答数	判断できない割合(%)	平均点	合計回答数	判断できない割合(%)	平均点
13	人権感覚を高めるための取り組みが充実している	535	32.5	3.08	505	19.8	3.81
15	町民の郷土への理解と愛情を深めるための取り組みが行われている	534	27.3	3.12	505	16.4	3.76
16	町民が文化・芸術活動に参加する環境が整っている	539	25.0	3.03	509	16.3	3.71
33	地域において防犯対策が十分に行われている	541	21.3	3.01	506	16.4	4.10
34	交通安全の意識が向上している	535	18.5	3.13	501	12.8	4.03
40	姉妹都市・友好都市との交流が盛んに行われている	544	31.6	3.18	511	25.8	3.59
				3.0未満	4.15以上		

これらの項目は、基本的には優先順位が低くなるが、「34：交通安全の意識が向上している」を除き、「判断できない」割合が高くなっており、多くの住民が町の状況を知らず、正確な回答ができていない可能性がある。現状を維持することが基本となるが、町の状況を周知したうえで必要に応じて事業の継続を検討する必要がある。

5 満足度の比較

本調査の満足度（「満足」「やや満足」をあわせた割合）と平成24年度調査における満足度（「満足」「まあまあ満足」をあわせた割合）を下表にまとめた。なお、設問文、選択肢が異なるため、結果を比較する際は注意が必要である。

また、本調査においては、平成24年度調査よりも細かく設定した項目がある。それらは、関連する項目をまとめて満足度の平均値を算出することで、平成24年度調査結果と比較できるようにした。

さらに、平成24年度調査では無回答を含めて満足度を算出しているが、今回の比較においては、無回答を除いた満足度で比較できるようにしている。

図表 22 満足度（平成24年度調査結果との比較）

基本目標	年度	項目	満足度	(参考) H24現状値	H31目標値	
暮らしを まっすぐに つくりだす 地域で	H24	心とからだの健康	17.5%	16.6%	22.0%	
	H30	年代に応じて健康づくりに取り組みやすい環境が整っている	18.3%	—	—	
	H24	母子の健康づくり・子育て支援	23.0%	21.8%	27.0%	
	H30	安心して妊娠・出産・育児ができる体制が整っている	19.4%	—	—	
	H24	医療体制の整備・医療制度の健全運営	19.1%	18.3%	23.0%	
	H30	安心して暮らせる地域医療体制が整っている	18.3%	—	—	
	H24	高齢者福祉・障がい者福祉・児童福祉・地域福祉	25.3%	24.2%	29.0%	
	H30	関連する項目の平均		16.7%	—	—
		高齢者が生きがいを感じ、暮らしていける環境が整っている		17.8%	—	—
		質の高い介護サービスが受けられる		16.5%	—	—
		障がい者が安心して生活していける環境が整っている		9.5%	—	—
社会保障・医療費助成が充実している		22.8%	—	—		
まちを くらし、 豊かな 人を 育て	H24	学校教育の充実	23.7%	22.7%	28.0%	
	H30	子どもが生きていく力をつけることを目指す「立科教育」が進んでいる	15.5%	—	—	
	H24	子育て教育・保育の充実	23.7%	22.5%	28.0%	
	H24	青少年教育の充実	13.4%	12.8%	18.0%	
	H30	子どもたちが心身ともに健やかに育つことができる環境が整っている	29.2%	—	—	
	H30	子育てに関わる人への支援体制が整っている	15.7%	—	—	
	H24	生涯学習・生涯スポーツの推進	15.7%	15.0%	20.0%	
	H30	生涯にわたり学習することができる環境が整っている	15.1%	—	—	
	H24	芸術文化の保護	11.9%	11.3%	16.0%	
	H30	町民が文化・芸術活動に参加する環境が整っている	18.4%	—	—	
	H24	人権教育・男女共同参画社会の推進	14.4%	13.6%	19.0%	
	H30	関連する項目の平均		13.1%	—	—
		人権感覚を高めるための取り組みが充実している		14.2%	—	—
女性が主体的に社会参画できる環境が整っている		11.9%	—	—		

目標値を達成した
 前回より改善したが、目標は達成していない
 満足度が前回を下回った

基本目標	年度	項目	満足度	(参考) H25現状値	H31目標値
活気ある経済を創造するまちづくり	H24	農林業の振興(所得の向上)	5.6%	5.4%	10.0%
	H30	関連する項目の平均	7.0%	-	-
		次の世代に引き継げるよう農業振興が進んでいる	3.7%	-	-
		農業経営の担い手の確保対策が進んでいる	1.9%	-	-
		農地や農業用水路などの生産基盤が適切に管理されている	18.4%	-	-
		町有林が適切に整備されている	6.2%	-	-
		里山など私有林が適切に整備されている	4.9%	-	-
	H24	商工業の振興(所得の向上)	5.1%	4.9%	10.0%
	H30	商工業が振興されている	8.8%	-	-
		知人や友人に勧めたい町の特産品がある	48.2%	-	-
H24	観光・リゾートの振興(所得の向上)	8.4%	8.0%	13.0%	
H30	知人や友人に勧めたい観光地が町内にある	45.1%	-	-	
豊かな自然と暮らしが安心なまちづくり	H24	おいしい水道水の供給・下水道整備	65.7%	63.3%	68.0%
	H30	おいしい水が安定的に供給されている	82.7%	-	-
	H24	住環境整備(町営住宅・住宅団地等)	25.6%	24.5%	30.0%
	H30	移住者が地域に定着できる環境が整っている	13.4%	-	-
	H24	景観形成・環境保護・水質保全	31.0%	29.4%	35.0%
	H30	美しい景観が保たれている	52.7%	-	-
	H24	省エネルギー活動・リサイクル活動	15.4%	14.7%	20.0%
	H30	環境に配慮した循環型社会が推進されている	12.7%	-	-
	H24	地域の道路整備・地域交通対策	17.3%	16.5%	22.0%
	H30	関連する項目の平均	23.5%	-	-
		道路や橋が整備され、適切に維持管理されている	30.2%	-	-
		交通弱者に必要な公共交通網が整備されている	16.7%	-	-
	H24	防犯・防災・交通安全	25.5%	24.5%	30.0%
	H30	関連する項目の平均	17.4%	-	-
		地域において防災・減災対策が十分に行われている	23.5%	-	-
		地域において防犯対策が十分に行われている	17.2%	-	-
		消費者保護の対策が進んでいる	6.7%	-	-
		交通安全の意識が向上している	22.1%	-	-
	H24	高度情報化の推進	5.2%	4.9%	10.0%
	H30	町民が安全に情報通信技術を活用できるよう支援されている	8.6%	-	-
あ地域の力でまちづくり	H24	協働のまちづくり・地域の活性化	9.4%	9.0%	15.0%
	H30	町政へ住民参画が進んでいる	6.9%	-	-
	H24	国際交流・国内交流の推進	11.7%	11.0%	16.0%
	H30	姉妹都市・友好都市との交流が盛んに行われている	19.5%	-	-
	H24	効率的な行政・健全財政・広域行政の推進	10.6%	10.1%	15.0%
	H30	関連する項目の平均	7.4%	-	-
		行財政運営の健全化が図られている	7.6%	-	-
広域行政が推進されている		7.2%	-	-	

目標値を達成した
 前回より改善したが、目標は達成していない
 満足度が前を下回った

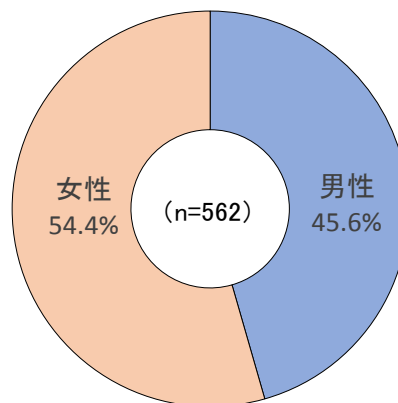
第3章 調査結果

1. 回答者属性

- 回答者の性別は、「男性」45.6%、「女性」54.4%となっており、やや「女性」が多い。
- 年代では、「70歳以上」が20.0%ともっとも多く、「60歳代」が19.5%と続く。60歳以上の回答が39.5%を占めている。「18歳～24歳」、「25～29歳」「30～34歳」は6%前後となっている。

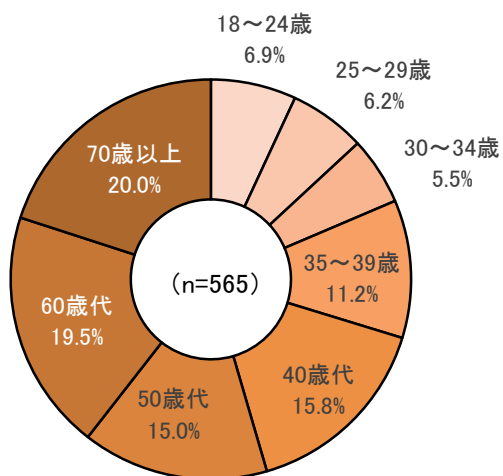
図表 23 性別

	度数(人)	割合
男性	256	45.6%
女性	306	54.4%
合計	562	100.0%



図表 24 年代

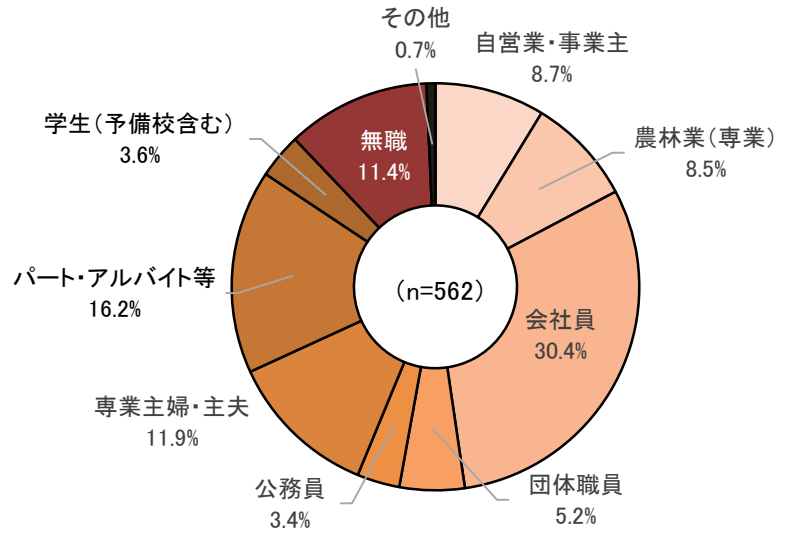
	度数(人)	割合
18～24歳	39	6.9%
25～29歳	35	6.2%
30～34歳	31	5.5%
35～39歳	63	11.2%
40歳代	89	15.8%
50歳代	85	15.0%
60歳代	110	19.5%
70歳以上	113	20.0%
合計	565	100.0%



- ・職業では、「会社員」が30.4%ともっとも多く、「パート・アルバイト等」が16.2%と続く。
- ・居住地区別では、「南部地区」が41.0%、「西部地区」が26.7%、「東部地区」が22.4%、「茂田井地区」が10.0%である。

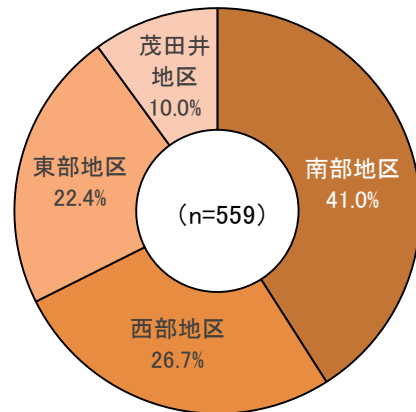
図表 25 職業

	度数(人)	割合
自営業・事業主	49	8.7%
農林業(専業)	48	8.5%
会社員	171	30.4%
団体職員	29	5.2%
公務員	19	3.4%
専業主婦・主夫	67	11.9%
パート・アルバイト等	91	16.2%
学生(予備校含む)	20	3.6%
無職	64	11.4%
その他	4	0.7%
合計	562	100.0%



図表 26 居住地区

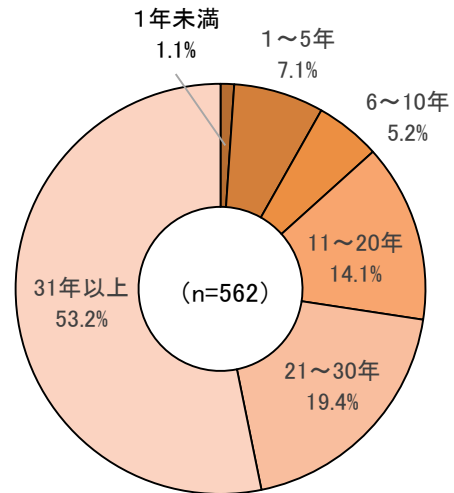
	度数(人)	割合
南部地区	229	41.0%
西部地区	149	26.7%
東部地区	125	22.4%
茂田井地区	56	10.0%
合計	559	100.0%



- ・居住年数では、「31年以上」がもっとも多い。
- ・出身地では「立科町」が58.1%でもっとも多い。次いで、多いのは「東信地方」である。
- ・「県外」の内訳をみると東京都をはじめとした関東圏が多い。

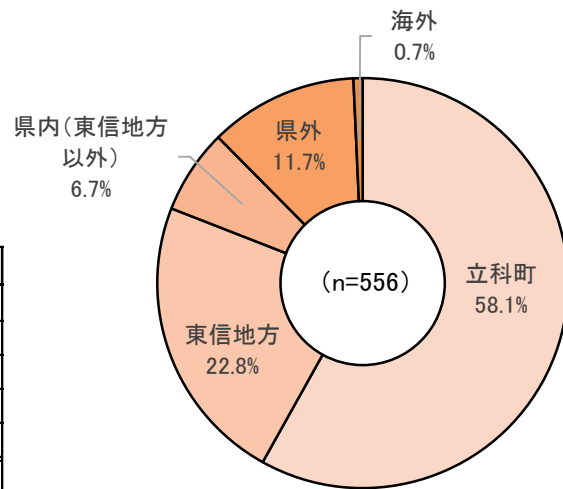
図表 27 居住年数

	度数(人)	割合
1年未満	6	1.1%
1～5年	40	7.1%
6～10年	29	5.2%
11～20年	79	14.1%
21～30年	109	19.4%
31年以上	299	53.2%
合計	562	100.0%



図表 28 出身地

	度数(人)	割合
立科町	323	58.1%
東信地方	127	22.8%
県内(東信地方以外)	37	6.7%
県外	65	11.7%
海外	4	0.7%
合計	556	100.0%



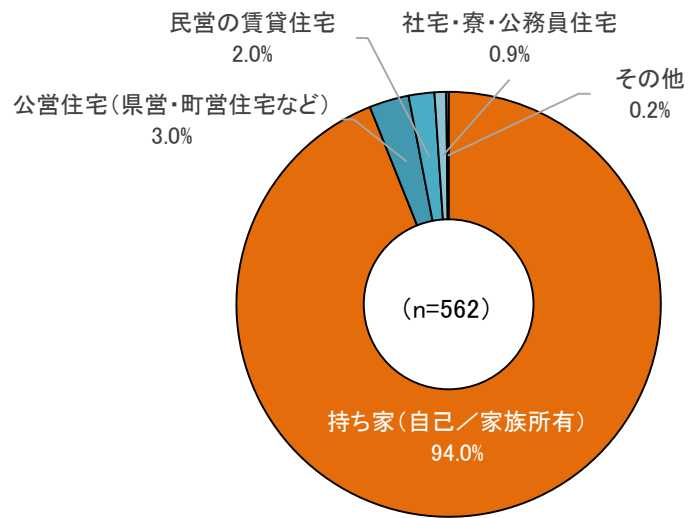
東信地方：上田市、東御市、長和町、青木村、佐久市、小諸市、軽井沢町、御代田町、小海町、佐久穂町、川上村、南牧村、南相木村、北相木村

図表 29 出身地 (町外の内訳)

	度数(人)	割合		度数(人)	割合
東京都	17	28.3%	愛知県	5	8.3%
神奈川県	4	6.7%	宮城県	4	6.7%
群馬県	4	6.7%	大阪府	4	6.7%
千葉県	3	5.0%	新潟県	3	5.0%
埼玉県	2	3.3%	その他	14	23.3%
			合計	60	100.0%

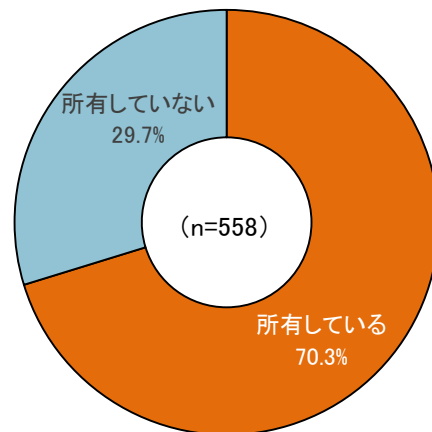
- ・住まいは、「持ち家」が94.0%と圧倒的に多い。
- ・農地の所有状況は、「所有している」割合が70.3%である。

図表 30 住まい



	度数(人)	割合
持ち家(自己/家族所有)	528	94.0%
公営住宅(県営・町営住宅など)	17	3.0%
民営の賃貸住宅	11	2.0%
社宅・寮・公務員住宅	5	0.9%
その他	1	0.2%
合計	562	100.0%

図表 31 農地の所有状況

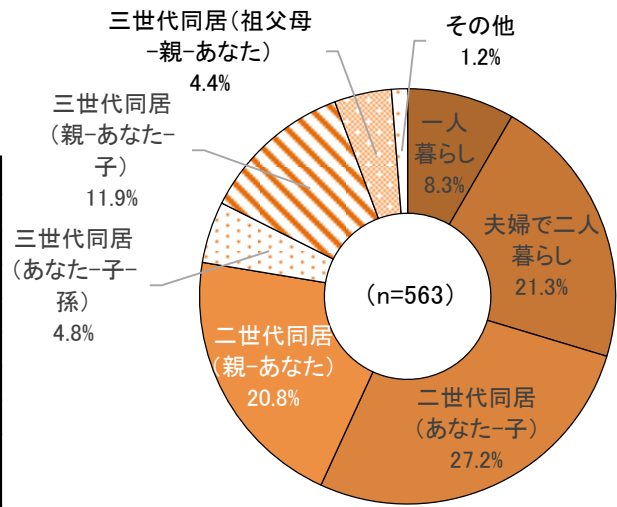


	度数(人)	割合
所有している	392	70.3%
所有していない	166	29.7%
合計	558	100.0%

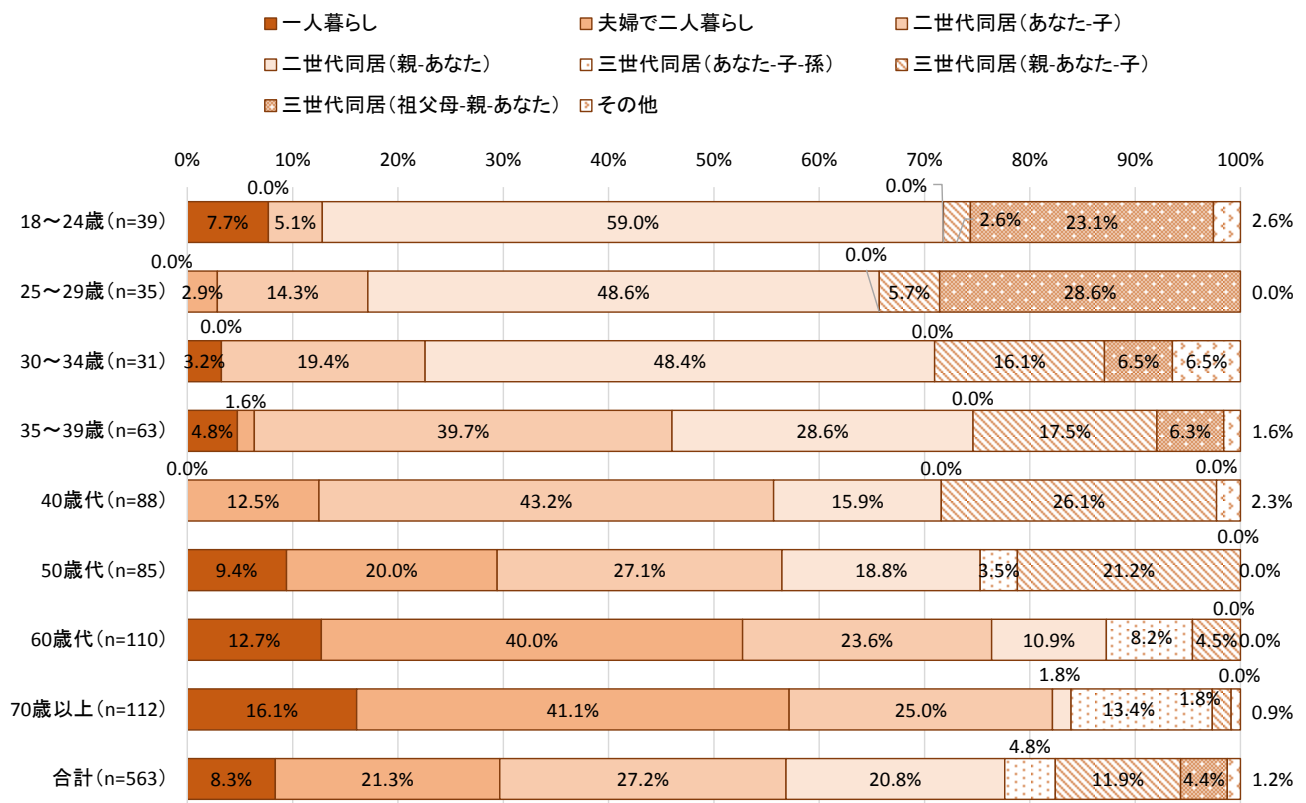
- ・世帯状況では、「二世帯同居（あなた（回答者）-子ども）」が27.2%でもっとも多い。
- ・年代別でみると、50歳以上で「一人暮らし」または「夫婦二人暮らし」の割合が高くなっている。
- ・同居家族では、「65歳以上の方」がもっとも多い。次いで、「いずれもいない」が多くなっている。

図表 32 世帯状況

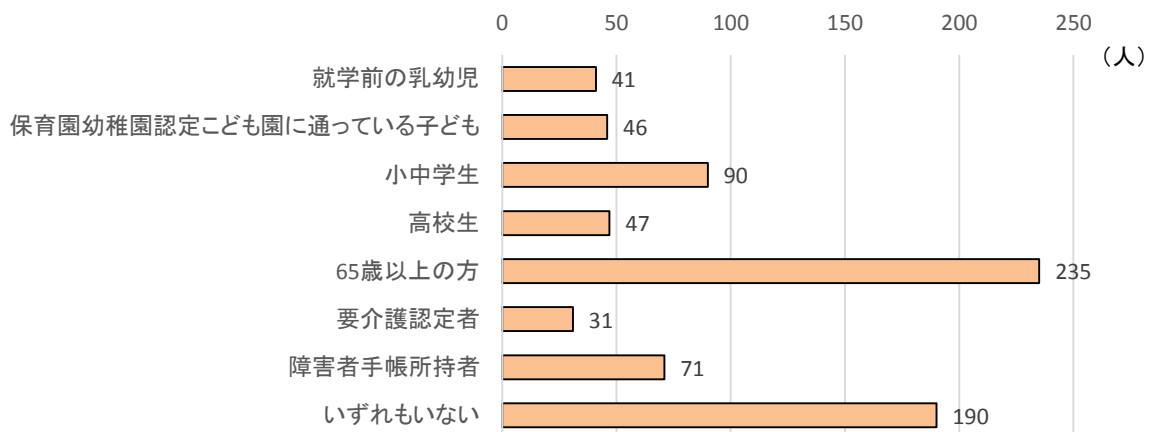
	度数(人)	割合
一人暮らし	47	8.3%
夫婦で二人暮らし	120	21.3%
二世帯同居（あなた-子）	153	27.2%
二世帯同居（親-あなた）	117	20.8%
三世帯同居（あなた-子-孫）	27	4.8%
三世帯同居（親-あなた-子）	67	11.9%
三世帯同居（祖父母-親-あなた）	25	4.4%
その他	7	1.2%
合計	563	100.0%



図表 33 年代別世帯状況

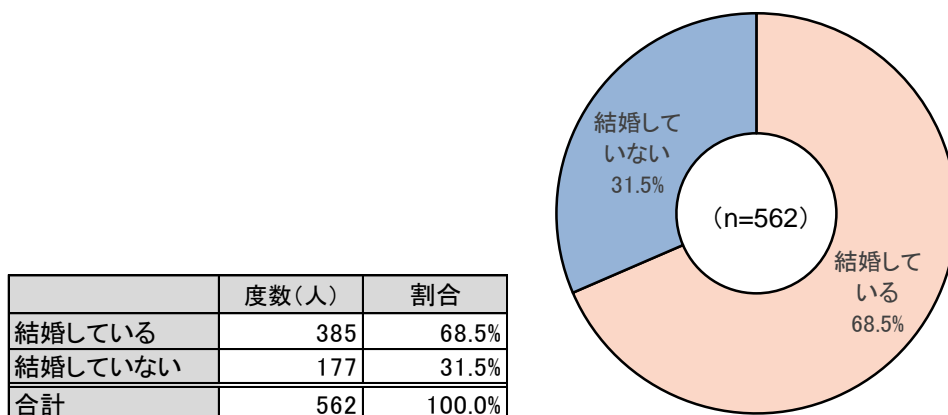


図表 34 同居家族（回答者も含む）〔複数回答〕



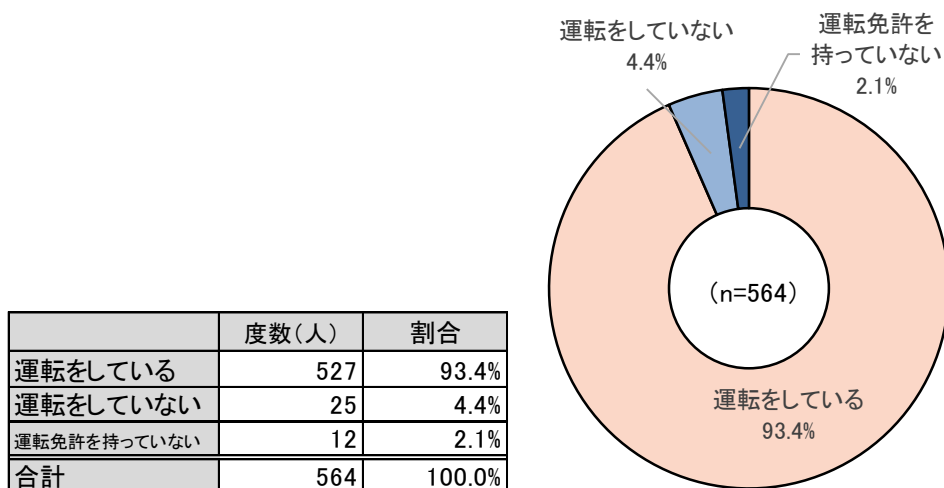
・「結婚をしている」のは68.5%、「していない」のは31.5%である。

図表 35 結婚の有無



・普段、車・バイクの「運転をしている」のは93.4%である。
 ・「運転をしていない」が4.4%、「運転免許を持っていない」が2.1%となっている。

図表 36 車・バイクの運転



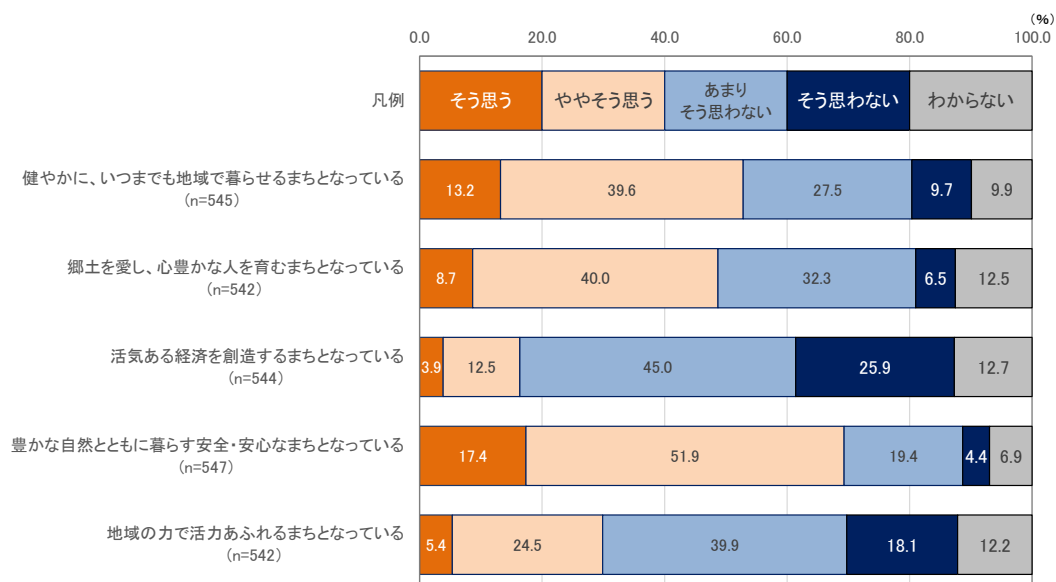
2. 基本目標の現状評価・重要度の分析

本節では、基本目標の現状評価の分析結果を示す。

(1) 現状評価

- 「健やかに、いつまでも地域で暮らせるまちとなっている」「豊かな自然とともに暮らす安全・安心なまちとなっている」に対する肯定的な評価の割合（「そう思う」「ややそう思う」をあわせた割合）は半数を超えている。また、この2項目は「わからない」割合が10%未満となっており、住民の理解や関心がある分野である。
- 「郷土を愛し、心豊かな人を育むまちとなっている」に対する肯定的な評価の割合は48.7%で、否定的な評価の割合（「あまりそう思わない」「そう思わない」をあわせた割合）の38.7%よりも高くなっている。
- 「活気ある経済を創造するまちとなっている」「地域の力で活力あふれるまちとなっている」については、他の項目に比べて否定的な評価の割合が半数を超えている。特に、「活気ある経済を創造するまちとなっている」は否定的な評価の割合が71.0%となっている。

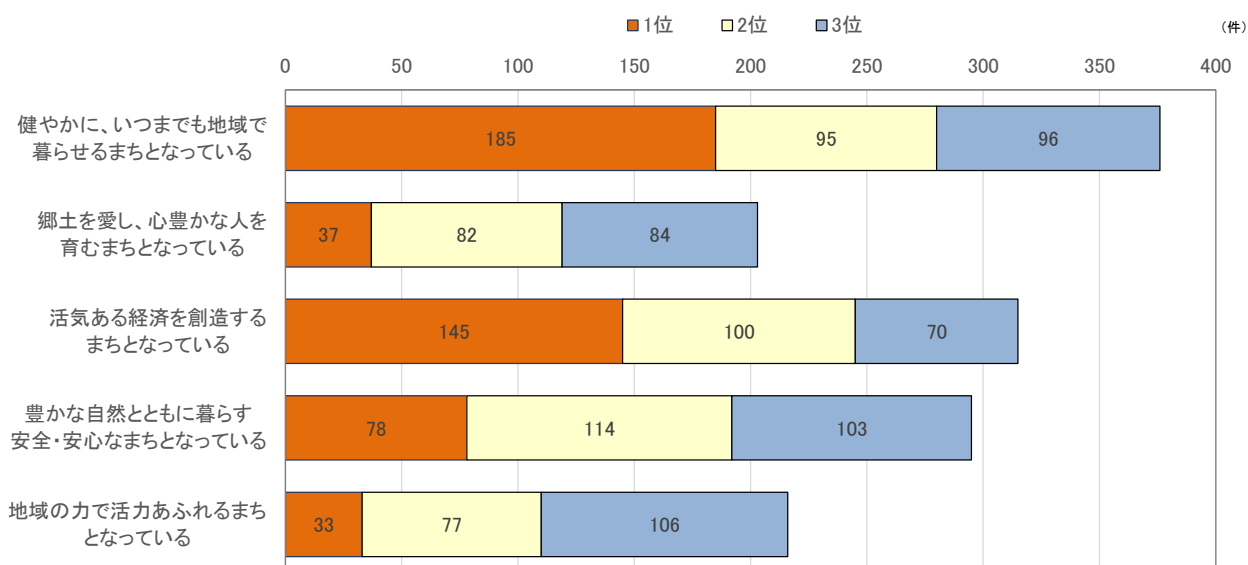
図表 37 基本目標に対する現状評価



(2) 重要度

- ・ 今後、重要となると考える基本目標を1位から3位まで回答をしてもらった。
- ・ もっとも多く挙げられたのは「健やかに、いつまでも地域で暮らせるまちとなっている」である。1位にした回答者数が185人と最も多い。
- ・ 次いで多いのは、「活気ある経済を創造するまちとなっている」である。

図表 38 今後、重要となる基本目標（1位から3位まで回答）



3. 施策の満足度・重要度の分析

本節では、基本目標ごと施策の満足度、重要度の分析結果を示す。

施策の評価、重要度、住民の取り組み状況の評価の考え方は、9ページに示した。

(1) 基本目標ごとの分析

以下に、第5次振興計画 前期基本計画の基本目標ごとに結果を示す。

平成24年度に実施した調査結果と比較を行っているが、設問文、選択肢が異なることに留意する必要がある。

① 基本目標1：健やかに、いつまでも地域で暮らせるまちづくり (健康づくり・医療・福祉)

基本目標1「健やかに、いつまでも地域で暮らせるまちづくり」の施策と調査項目（設問）は以下のとおりである。

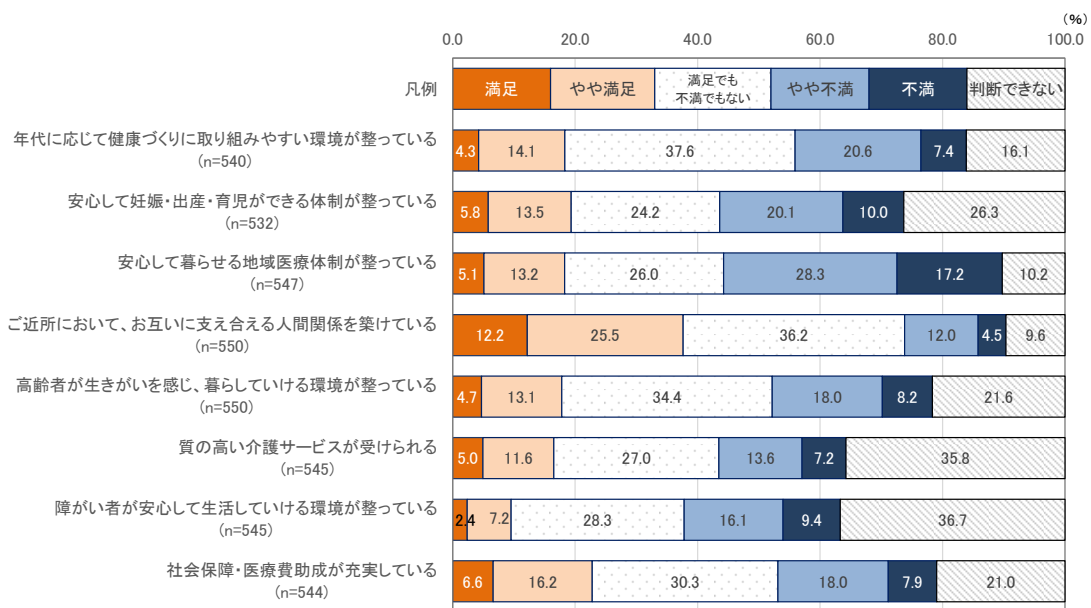
基本目標	町の環境・体制	設問
健やかに、いつまでも地域で暮らせるまちづくり	1 心とからだの健康支援	年代に応じて健康づくりに取り組みやすい環境が整っている
	2 母子保健事業の充実	安心して妊娠・出産・育児ができる体制が整っている
	3 地域医療体制の充実	安心して暮らせる地域医療体制が整っている
	4 地域福祉の充実	ご近所において、お互いに支え合える人間関係を築けている
	5 高齢者福祉の充実	高齢者が生きがいを感じ、暮らしていける環境が整っている
	6 介護サービス事業の充実	質の高い介護サービスが受けられる
	7 障がい者福祉の充実	障がい者が安心して生活していける環境が整っている
	8 社会保障・医療費助成の充実	社会保障・医療費助成が充実している
	9 温泉館「権現の湯」の充実	—

(ア) 度数分布による分析

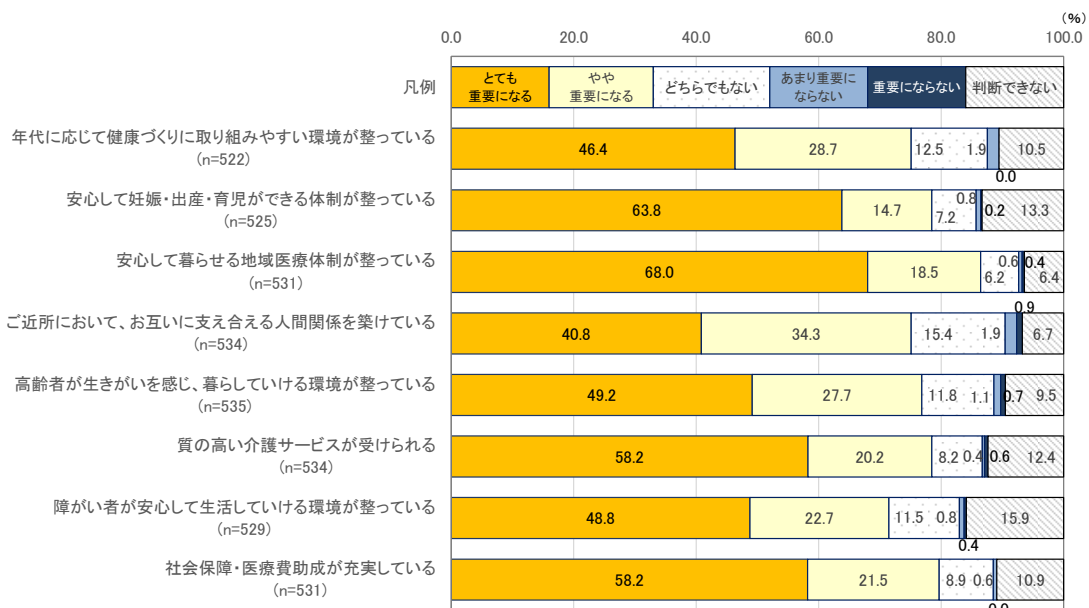
1) 町の環境・体制に対する満足度と今後の重要度（全回答者）

- ・町の環境・体制に対する満足度では「ご近所において、お互いに支え合える人間関係を築けている」の満足度（「満足」、「やや満足」をあわせた割合）が37.6%と高くなっているが、その他の項目では20%に達していない。特に「障がい者が安心して生活していける環境が整っている」の満足度が9.5%と低くなっている。
- ・重要度（「とても重要となる」「やや重要となる」をあわせた割合）では、どの項目も70%を超えている。そのなかでも「安心して暮らせる地域医療体制が整っている」の重要と考えている割合が86.5%と高くなっている。

図表 39 **満足度** みんなが健康で安心して暮らせるまちづくり



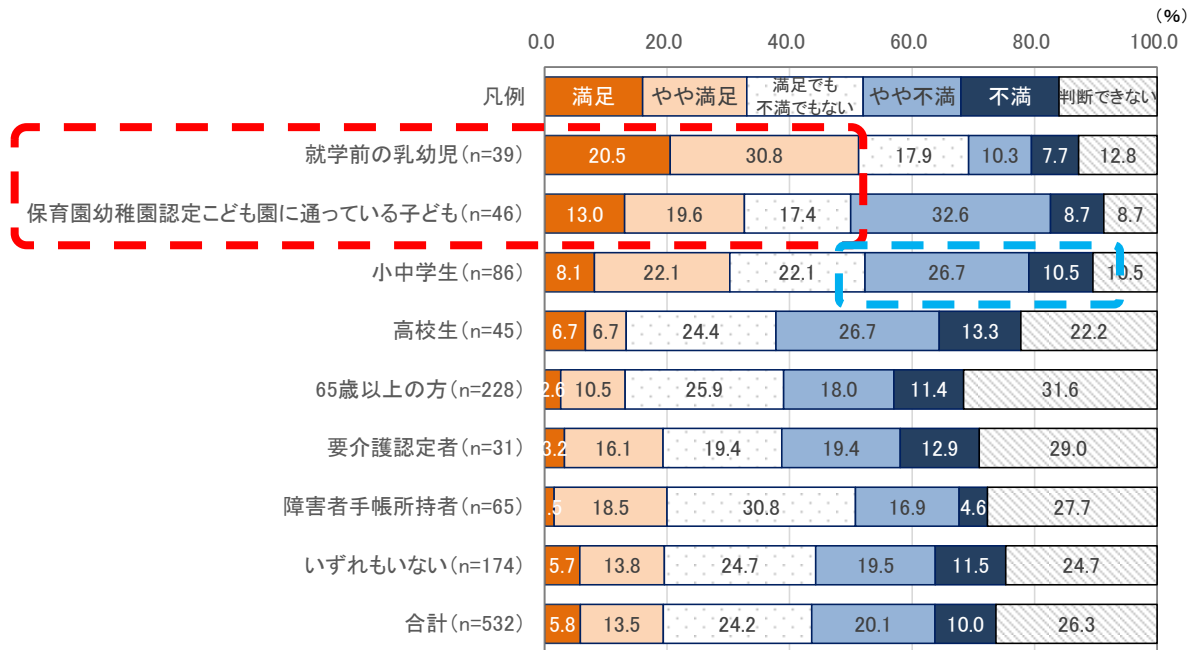
図表 40 **今後の重要度** みんなが健康で安心して暮らせるまちづくり



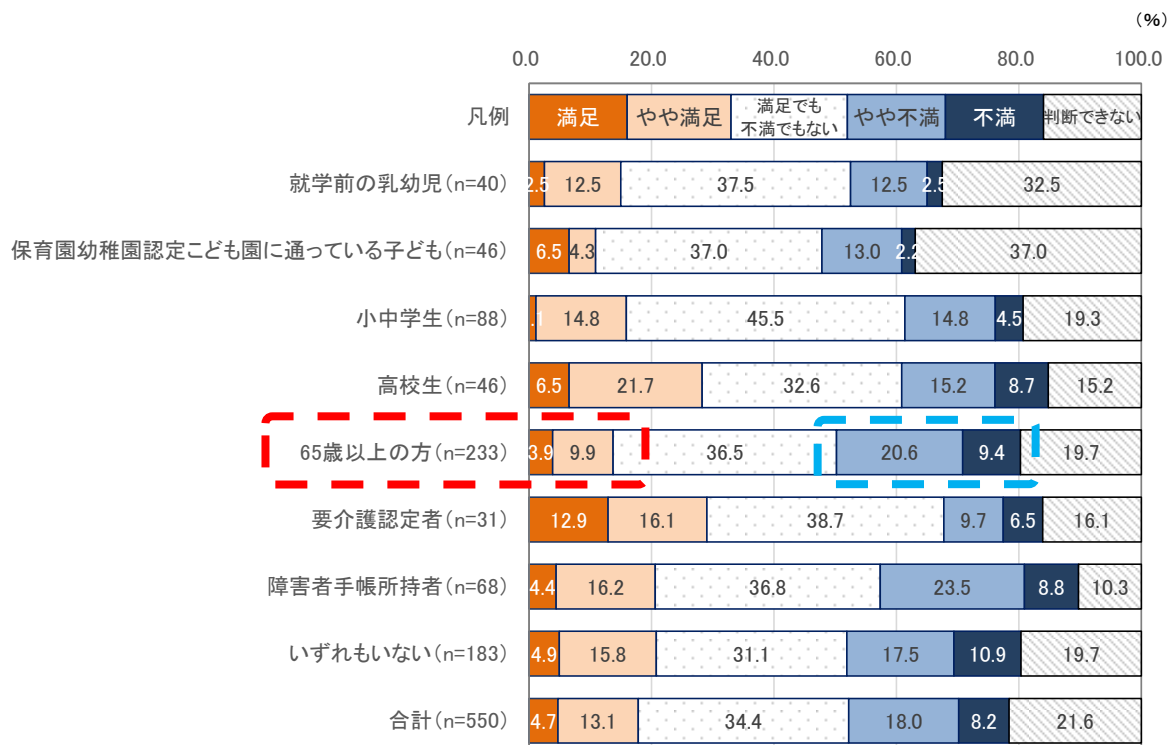
2) 受益者に限定した満足度-同居家族（高齢者、障がい者等）の違いによる満足度（関連する項目のみ）

- 同居家族に65歳以上の方がいる回答者の「高齢者が生きがいを感じ、暮らしていける環境が整っている」の満足度は13.8%と全体よりも低くなっている。また、不満の割合が全体よりも高い。
- 「質の高い介護サービスが受けられる」では、同居家族に要介護認定者がいる回答者の満足度は35.5%と全体よりも高くなっている。反面、不満の割合も全体より高い。

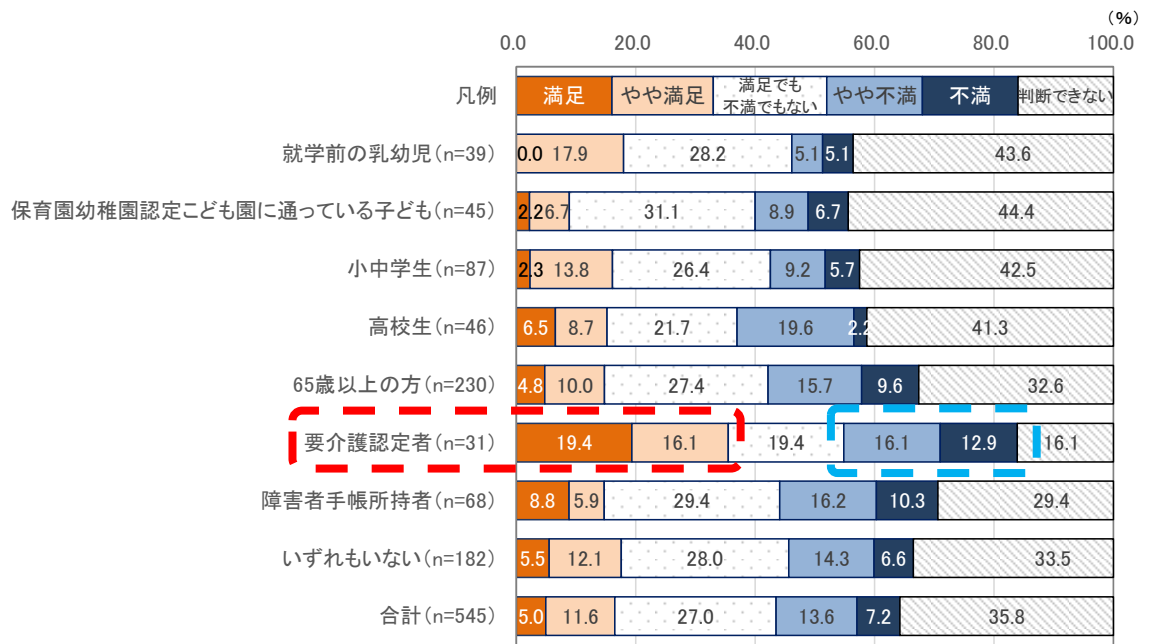
図表 41 **同居家族別の満足度** 「安心して妊娠・出産・育児ができる体制が整っている」



図表 42 **同居家族別の満足度** 「高齢者が生きがいを感じ、暮らしていける環境が整っている」

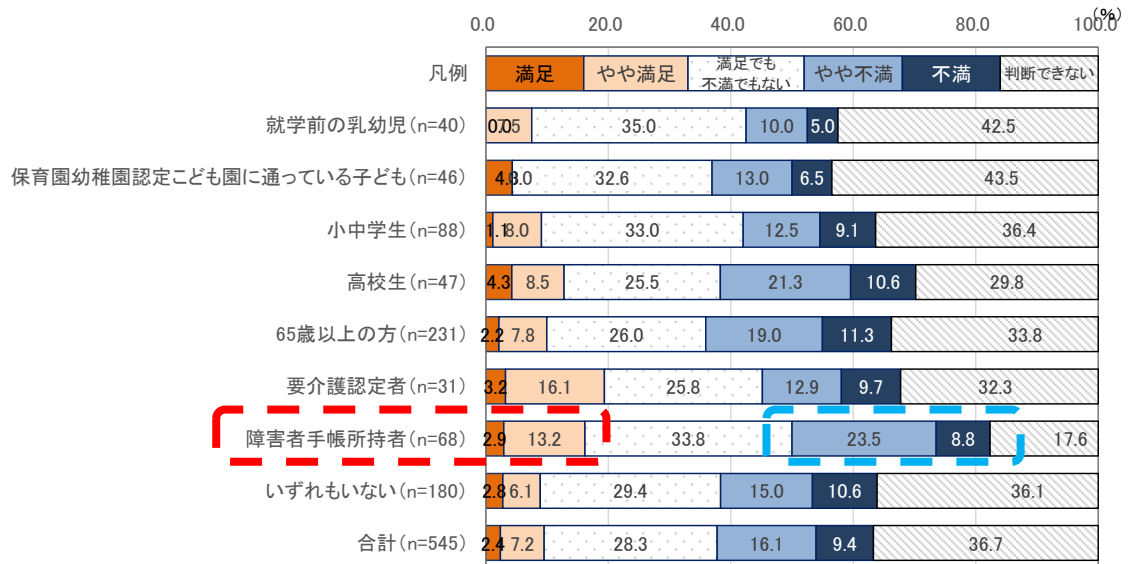


図表 43 同居家族別の満足度 「質の高い介護サービスが受けられる」

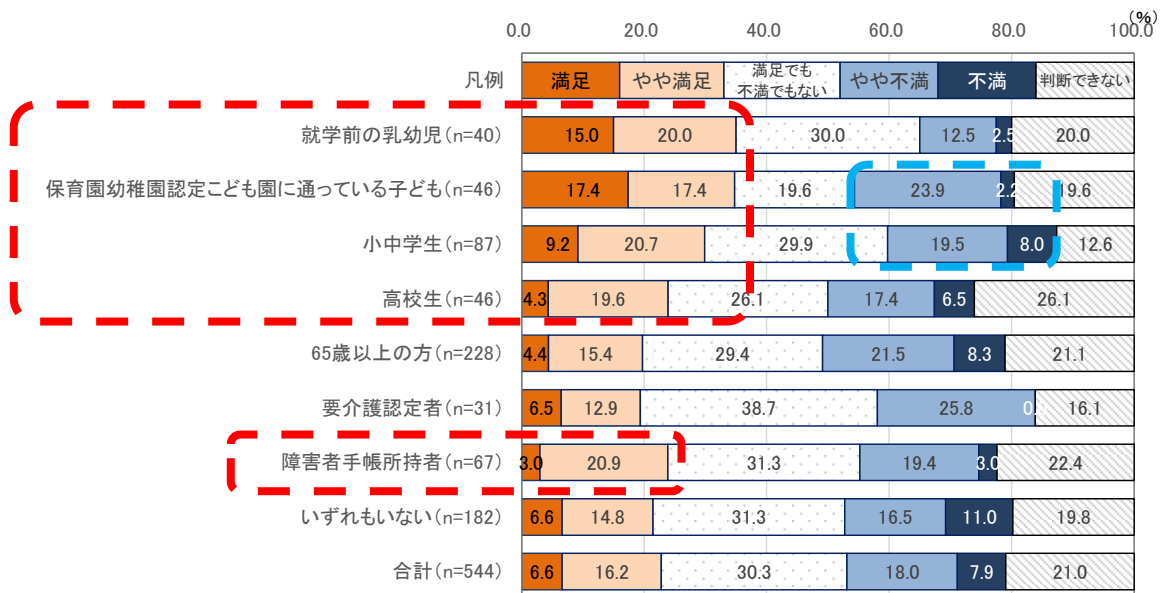


- ・同居家族に障害者手帳所持者がいる回答者の「障がい者が安心して生活していける環境が整っている」の満足度は16.1%と全体よりも高くなっている。反面、不満の割合も全体よりも高い。
- ・「社会保障・医療費助成が充実している」では、同居家族に就業前の乳幼児、保育園等に通っている子ども、小中学生、高校生、障害者手帳所持者がいる回答者の満足度が全体よりも高くなっている。

図表 44 同居家族別の満足度 「障がいのある人が安心して生活できる地域である」



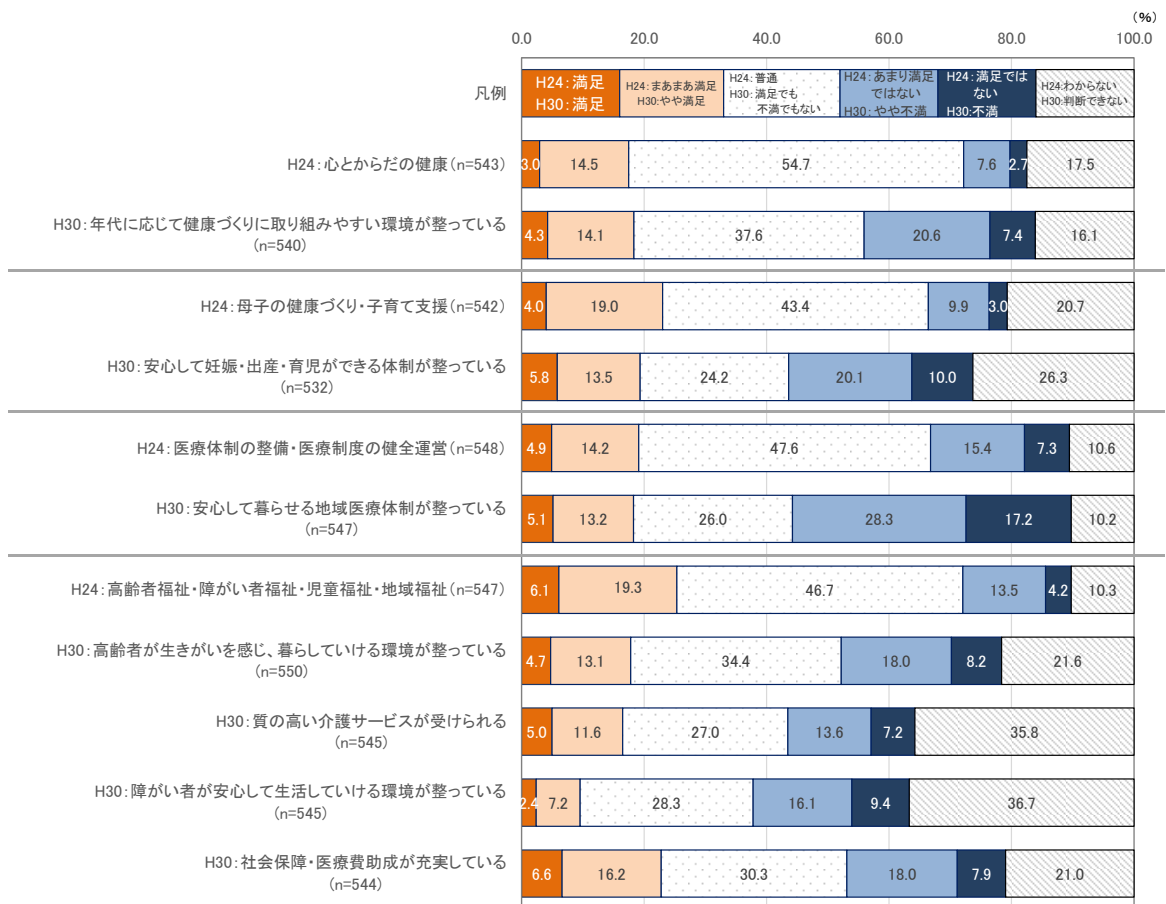
図表 45 同居家族別の満足度 「社会保障・医療費助成が充実している」



3) 平成 24 年度調査との比較

- ・平成 24 年度調査と比較すると「年代に応じて健康づくりに取り組みやすい環境が整っている」のみ満足度が上昇している。
- ・すべての項目で不満の割合が高くなっている。

図表 46 「健やかに、いつまでも地域で暮らせるまちづくり」分野
における平成 24 年度調査結果との比較



(イ) 平均点による分析

- ・満足度の平均点でみると、「ご近所においてお互いに支え合える人間関係を築かれている」のみ中間点 3.0 を超えている。
- ・「質の高い介護サービスが受けられる」「障がい者が安心して生活していける環境が整っている」は他の項目より「判断できない」の割合が高くなっている。他方、「安心して暮らせる地域医療体制が整っている」の平均点は他の項目より低い。
- ・重要度の平均点は、「安心して妊娠・出産・育児ができる体制が整っている」「安心して暮らせる地域医療体制が整っている」が他の項目より高くなっている。

図表 47 **満足度と重要度の平均点** みんなが健康で安心して暮らせるまちづくり

番号	項目	現在の満足度			今後の重要度		
		合計 回答数	判断できない 割合(%)	平均点	合計 回答数	判断できない 割合(%)	平均点
1	年代に応じて健康づくりに取り組みやすい環境が整っている	540	16.1	2.85	522	10.5	4.34
2	安心して妊娠・出産・育児ができる体制が整っている	532	26.3	2.80	525	13.3	4.63
3	安心して暮らせる地域医療体制が整っている	547	10.2	2.56	531	6.4	4.64
4	ご近所において、お互いに支え合える人間関係を築けている	550	9.6	3.32	534	6.7	4.20
5	高齢者が生きがいを感じ、暮らしていける環境が整っている	550	21.6	2.85	535	9.5	4.36
6	質の高い介護サービスが受けられる	545	35.8	2.90	534	12.4	4.54
7	障がい者が安心して生活していける環境が整っている	545	36.7	2.64	529	15.9	4.41
8	社会保障・医療費助成が充実している	544	21.0	2.94	531	10.9	4.54

(ウ) 評価が低い理由

1：年代に応じて健康づくりに取り組みやすい環境が整っている
健康づくりについて町として何をされているか、よく分からない。
中高年の健康作りとは、どんなことを実際行っているのか知らない。行っているとしたらもう少し活発に知らせてほしい。
健康づくりの場がどこにあるのか、いつあるのか広報がなくわからない
健康づくりへのカルチャー意識が低い。
婦人部や老人クラブがなくなり、以前は年2回程行われていた健康体操などの場がなくなった。
高齢者の健康を考えるイベント等が町において実施されているが、利用(参加)しやすい、参加したくなるような工夫がもっと必要ではないか。
お年寄りに対する住みやすい環境は整いつつあるが、若い世代の交流や健康づくりの場があまりない。
若い世代がスポーツや趣味を生かせるクラブやセミナーが少ない
働いている人が参加できるようなプログラムがない
若い世代の健康診断をしてほしい。
夜、ウォーキングしようとしても暗くて危ない

2：安心して妊娠・出産・育児ができる体制が整っている
産後困った時に子供を見てもらえる環境がない。保育園も児童館も他市町村の良い所をお手本とするなどし、柔軟な対応をしてほしいと感じるから。
現在2か所にある子育て支援住宅を増やしてほしい。入居したくても空きが出ないため。空きが出てもHPや広報で知らされないのはなぜ。平等にしてほしい。
妊娠、出産時の早期対応できる医療体制がないこと
病院がない。佐久市等へ行かないと出産できないと思うから
産婦人科はなくてもしかたないが、助産院があったら良いと思う。
最近の若いご夫婦は共働きしないと生活が大変な為子供が生まれても、未満児の内に保育園に預ける方が増えてきたので待機児童をなくして、受け入れ体制を整えてほしい
妊娠、出産、育児での女性などもっと手厚くしてもらいたい。特に、出産後色々な不安をかかえている人が多い。
子供の出産数が少ないので、子供を産んだ人にお祝い金などを出すなどの制度があればよい
第二子、第三子出産にともなう家族への支援サポート。
子育ての支援者として民生委員さんの活動範囲を子育てまで拡充してほしい。
民生委員さんが高齢者支援に忙しく、子育て支援の協力が得にくいと聞いた。
保育園から小中学校までの子育て世代への助成がもっとあってもよいのでは
保育園から中学まで選択肢がなく、同じ人間関係の中で、きつい。子育て広場など、他の地域と比べ閉鎖的だと感じる

3：安心して暮らせる地域医療体制が整っている
町内では限られた医療機関しかないので、町外の医療機関にかかっているが、車が運転できなくなったら困ると思うから。
救急態勢が整っている大きな医療機関が遠い
大きな病院や24時間対応してくれる医者がいない。
信頼できる医療施設が町内になく、子供の通院はすべて町外に通わざるを得ない。
年金が少なくなってくるこの今、介護保険料等が高くなり、その割に地域の医療体制が整っているとは思えない。若い世代も大切ですが、病気や足腰が悪くなった時、高齢者が安心出来る立科町にしてほしい
少し重い病気になった時、バス等乗り継いで通院が難しい。またタクシーでは高すぎて利用しづらい

4：ご近所において、お互いに支え合える人間関係を築けている
昔より近所付き合いが希薄になったため。
信頼できる近所の友人・知人と交流する機会が少ない
当地区は子育て世代が減少し、仕事中心の世代が多いため日常、地域の人と顔を合わせる機会がほとんどない。
近所でも名前も知らない、顔も見た事ない人がいるため
都合良い時だけ頼りにしてきて、手助けしてほしい時は見て見ぬフリをする。そんな人達ばかり。
近年田舎も都会的慣習が入って来て、若い世代は、近所付き合いが下手になって来ている。特に日頃の挨拶が出来ない方が多い。
考え方が1人1人違う為うまくいかない
移住者と地元出身者とは、やはりカベを感じる
移住者を拒む空気を感じるため。
移住者の顔がみえない。気軽に声をかけあえる機会がほしい。仕事をしていると近所の情報など知る事がむずかしい。
近所付き合いはある程度の距離感がないと、次世代は地元に住み続けることはないと思う。
個人のつきあいの問題であり、支え合いは難しい。

5：高齢者が生きがいを感じ、暮らしていける環境が整っている
同年代の方々の話からも不安ばかり聞こえるし自身も非常に不安
施設入所の高齢者に対し「生きがいを感じている」とは思えないから。
高齢者が楽しく集う場所が少ないと思うし、知らない
高齢者がもっと楽しめる所を作ってほしい
1人暮らしの高齢者への気くばり等ほしい
高齢者が社会参加できる環境が不備。特に独居高齢者対策が不足している。

6：質の高い介護サービスが受けられる
施設が少ない事と年金が少ないので、低所得者でも入れる対策をぜひつくってほしい
一部の地区に集中している
町内の事業所の介護に対する意識やレベルが低いと聞いたことがある。
勤務経験から質の高いサービスとは感じられなかった。
高齢化が進むと周りが高齢者ばかりになるので、質の高いサービスは期待できない。
人手不足のうえに、スタッフが向上心をもって働けてないと思う。

7：障がい者が安心して生活していける環境が整っている
障がいのある方にどんな補助をしているか、町からの発信が少ない。
小学校は車イスだと2階に上がるのが大変。障がい者への保障など受けられるものは自分から動かないと何も教えてもらえない
障害者への扱いがひどい。「できない」「事例がない」ですまされてしまう。
バリアフリーが整っていないと感じる。
ユニバーサルデザインが少なすぎると思う
安心して生活出来る施設が少ない
そもそも住民の意識が低い。
障がい者1人1人が違う症状であることを理解してほしい。立科町外も含めて、病院、施設など、いろいろ情報がほしい

8：社会保障・医療費助成が充実している
取り組みが周りに周知されてない。
どんな助成があるか、分かりやすい発信が必要。
子供の医療費は今1カ月500円だが、他の地域は無料。
福祉医療者の払う金額を病院の窓口で500円/月負担にしてほしい。
18歳未満や高齢者のインフルエンザワクチンの助成金を出してほしい。

(エ) 力を入れるべきと考えること

1：年代に応じて健康づくりに取り組みやすい環境が整っている
少子・超高齢化社会に向け金が重要。予算付けを行い、優先順位を決め、ハード・ソフト両面からの実施。
全体に言えることだが、どれ一つということではなく、お隣同士、ご近所同士の日頃のお付き合いが大切。ちょっとおせっかいも必要。地域のコミュニケーションが円滑にできていれば、おのずと暮らしやすくなるのではないのでしょうか。若い世代の人口減少は大きな課題。何か魅力的な施策を打ち出してはいかが。
60代くらいから健康が維持できる機会、施設を役場としてもつくる必要を感じる。
ストレス時代、若い人たちのヘルスを充実していくべき。
これ以上、人口が減らない様、早期の対策が必要だと思う。最近、女性に人気のカーブス(運動施設)に、多くの人達が来ているそうで、運動したりおしゃべりしたり、町にもそういう施設があれば寝たきりにならないし、元気なお年寄りが増えると思います。
年代に応じて参加しやすいように各地区の公民館で定期的に参加できる事が必要。
医療費削減のためにも予防対策はとても重要。参加しやすい企画をどんどんすべきと思う
町民が自ら積極的に健康づくりをする。出来る環境づくりが大切
医療費を増加させないためにも健康づくりが必要と思う。
町民の一人ひとりが「健康」に対する意識を高め、日々生活の中に積極的取り入れ町としてもそのサポートに力を入れてほしい

2：安心して妊娠・出産・育児ができる体制が整っている
出産後、働く時期が1年未満のこともあり、子育て支援が充実することで町を支える人口が増える。空き家を利用して貸し家とし、若い人が増える努力を。アパートが少ないと思う。
地域に若い人が少なく感じる。若い人をもっと受け入れるべき。
子育て世代に対する支援を充実させてほしい。子供にとってもお金がかかる。特にオムツをしている年齢の間は補助金があってもいいと思う。ミルク、オムツを買う補助金があると助かります。
少子高齢化が進む中、子育て世代が安心して出産、育児ができる環境をもっと整えるべき。例：病児保育の体制整備は必須だと思います。
今後少子化、高齢化になっていく中で、確かに都会などからの移住者の方を受け入れていくことも町の活性化のため必要だと思うが、子育て支援や高齢者の方々が住み良い町づくりが目に見えて感じられるように力を入れていくべきだと思います。
人口減少は全国的なこと。増やせといってもむずかしい。広域的に取り組みをやっていったらどうか。
若い世代がこの町に残る、または転入してくれるためには、サポート支援が必要。
立科町の保健師さんがとても親切で、育児でつまずいていた時に励まされとても心強かったです。これからも若いお母さん方の支えになっていただきたいです。
食事のサポート(たとえばシルバーの活用)(※食えることが生きる基本なのに食事の支度がいちばん大変)(たとえば月に何回とかおそうぎを配る日がある。もしくは格安で200円とか)
出来れば3才頃まで親が育てられる事が出来たならと思う。あまりに子育ての母親が忙し過ぎるように感じる。
子育て世代支援は子供が15～18歳に対する施策も検討してください。1番お金がかかる時期なので。

若い人が暮らしやすいとメリットを感じなければ立科町に住もうとは思わないと思います。若い人が住まなければ人口も減り税収も見込めず、行政として住民が満足できるサービスができません。とにかく若い子育て世代が住むと満足感がえられるようなサービスを展開すべきだと思います。
町としての有無もあるが、北部、南部では生活の基礎が異なる。北部においては充実しているのかもしれないが、南部にとってはほぼ何もない状況と言える。
子育て中の母親が幼い子どもと共に気軽に寄れる場所が必要だと思う。児童館の子育てひろばの他にもあるといいと感じている。風の子広場も年齢が大きい子ども向き。2歳位までの子どもも登ったり、動き回れる遊具があれば、多くの親子がもっと集まるにぎやかな公園になるのではないのでしょうか。現在どうしても他市町の公園等に出かけることになり負担を感じている。

3：安心して暮らせる地域医療体制が整っている
総合病院からは立地的に離れており、開業医や川西日赤などと連携をとっていく必要がある。
望月赤十字病院を基に個人病院の医療データのネットワーク化をして診断の共有を、地域全体医療を考えるべきです。立科町に医院が少ない。医学部合格できる人材育成、教育も必要
医療機関の設置、充実を図るか、近隣町村との連携強化が必須と思われる。
今後少子化、高齢化になっていく中で、確かに都会などからの移住者の方を受け入れていくことも町の活性化のため必要だと思うが、子育て支援や高齢者の方が住み良い町づくりが目に見えて感じられるように力を入れていくべきだと思います。
ガン検診などの補助を増やしていただきたい
週に1回、月に数回でも、大きな病院から派遣診療できないのか。

4：ご近所において、お互いに支え合える人間関係を築けている
子供や若い人が少なくなっていく中、高齢になったらどう生活していけばいいのかという不安が。シェアハウスなど集まって暮らせる住居があれば良いと思う。
お互いに支え合える人間関係を作るには気軽に出入りされる場所(公民館など)を開放し自由に出入りするようにして、情報交換、健康状態など話し合えればと思います。
近所に高齢者だけの家、高齢者の1人暮らしが多く家のあととりに入る若者がいない。家のあととりをする人が多くなる環境を整備する。
世代間での交流、少子高齢化が急速に進む中、地域内の公民館活動等の充実。
車がないと不便。高齢になったら、生活困難が予想される。日頃から近所での支え合いを大切にしていくことが大事と考える。が、人それぞれの考えがあり、意識改革は難しい。教育に期待する。
災害等が起きた場合、隣どうしの助け合いが必要だと思う。
老若男女問わず地域での助け合いや楽しみ会を通してお互い絆を深めていくこと
高齢者の増加に伴い、孤独死なども懸念されることから、日々、毎日、顔を合わせられるような環境づくりが大切だと思う
高齢になってから近所のお付き合いの重要性を感じてくる人が多いが、急に築けるものではないので、若いうちから支え合うことが大事だと思う。地域で子供達に行事等通して、大人達とコミュニケーションをとるようにする。

5：高齢者が生きがいを感じ、暮らしていける環境が整っている
高齢者は足がないと何もできない。絶対に必要なのでバスで佐久の病院に行ける定期便をお願いしたい

高齢者が孤独にならぬよう様々な企画や楽しく集える場所を作ってほしい。
周りの方で認知症になる方が多く、まず認知症対策を考えることが重要。
増えゆく高齢者が、健康面でも精神面でも元気でいられる様、より一層医療体制の充実、文化芸術活動に係わる機会の充実をはかる。
高齢者の外出支援、趣味活動支援等が重要。
高齢者が増えてくる中で、高齢者自身がどうした暮らしをしたいかをもっと考えるべき
身近にちょっとしたお店があればいい（商店とか）

6：質の高い介護サービスが受けられる
デーサービスの他にも、老人センターまたは福祉センター等に健康のために集まって、皆で楽しくできる機会がある場所をつくれれば良いと思う。
要介護者も障がい者もまだまだ地域の中で生活しているとは言えない。ハンデがあっても地域に出ていくことができる支え合いの地域づくりが必要だと思う。
今後少子化、高齢化になっていく中で、確かに都会などからの移住者の方を受け入れていくことも町の活性化のため必要だと思うが、子育て支援や高齢者の方々が住み良い町づくりが目に見えて感じられるように力を入れていくべきだと思います。
高齢者増と共に、それに関連する職種においての人員不足により行き届いたケアやサービスが提供できていない場合や、状況把握が難しくなってくるため、人員確保や知識向上が必要になる
新しくきれいな介護施設があるのだから、もっと町との連携をとり、高齢者がいつまでも健康でいられるための取り組みが必要。

7：障がい者が安心して生活していける環境が整っている
障がい者への受け入れなど柔軟に行っていただきたい。
今、私たち親が子供をみているが、大人になっても生活力が無いため、不安であり、需要になると思う。
働ける場所の確保。健常であっても障がい者であっても。
高齢者や障がい満足感を持って、生活できる基盤があれば一般市民の満足度も上がるはず。そこに力を入れるべき。
障がい者が安心して生活する施設がない。整備すべきである。

8：社会保障・医療費助成が充実している
子育て世代もわかりますが、年寄りには何も利点がなく生きているのがとても不安になる。
高齢者への医療助成を町独自にすべきである
医療費助成が子供(高校生)に対してない
子供の医療費の無料化まで目指してほしい

② 基本目標 2：郷土を愛し、心豊かな人を育むまちづくり

(教育・子育て支援・社会教育)

基本目標 2：「郷土を愛し、心豊かな人を育むまちづくり」の施策と調査項目（設問）は以下のとおりである。

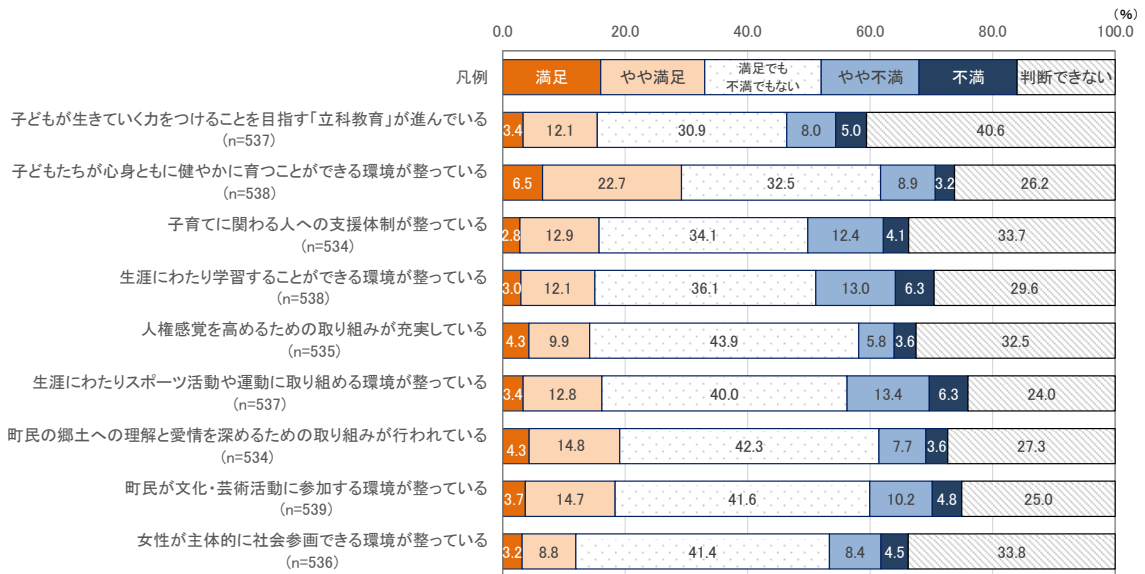
基本目標	町の環境・体制	設問
郷土を愛し、心豊かな人を育むまちづくり	1 たくましく羽ばたく立科っこ教育	子どもが生きていく力をつけることを目指す「立科教育」が進んでいる
	2 子育て支援の充実	子どもたちが心身ともに健やかに育つことができる環境が整っている
		子育てに関わる人への支援体制が整っている
	3 学びによる豊かな人生を目指して	生涯にわたり学習することができる環境が整っている
		人権感覚を高めるための取り組みが充実している
	4 スポーツで築く健康で豊かな人生と絆づくり	生涯にわたりスポーツ活動や運動に取り組める環境が整っている
5 心のふるさとと歴史のふるさと	町民の郷土への理解と愛情を深めるための取り組みが行われている	
6 男女共同参画社会の推進	町民が文化・芸術活動に参加する環境が整っている	
	女性が主体的に社会参画できる環境が整っている	

(ア) 度数分布による分析

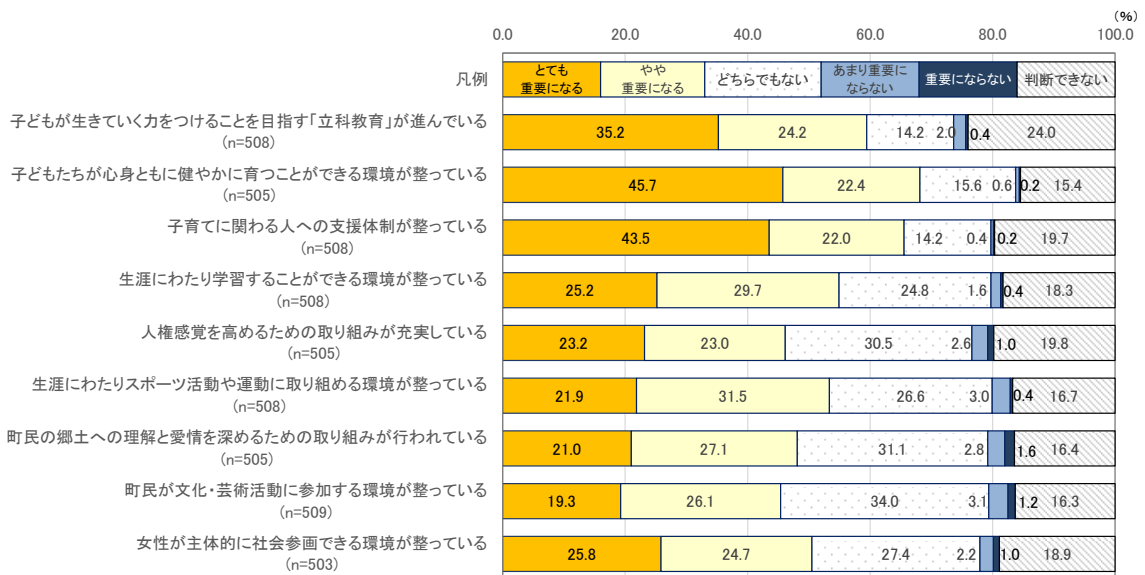
1) 町の環境・体制に対する満足度と今後の重要度（全回答者）

- ・町の環境・体制に対する満足度では、「子どもたちが心身ともに健やかに育つことができる環境が整っている」が 29.2%ともっとも高い。次いで「町民の郷土への理解と愛情を深めるための取り組みが行われている」が続く。
- ・満足度がもっとも低いのは、「女性が主体的に社会参画できる環境が整っている」である。
- ・今後の重要度では、子育てに関連する項目である「子どもたちが心身ともに健やかに育つことができる環境が整っている」「子育てに関わる人への支援体制が整っている」が高くなっている。

図表 48 **満足度** 郷土を愛し、心豊かな人を育むまちづくり



図表 49 **今後の重要度** 郷土を愛し、心豊かな人を育むまちづくり

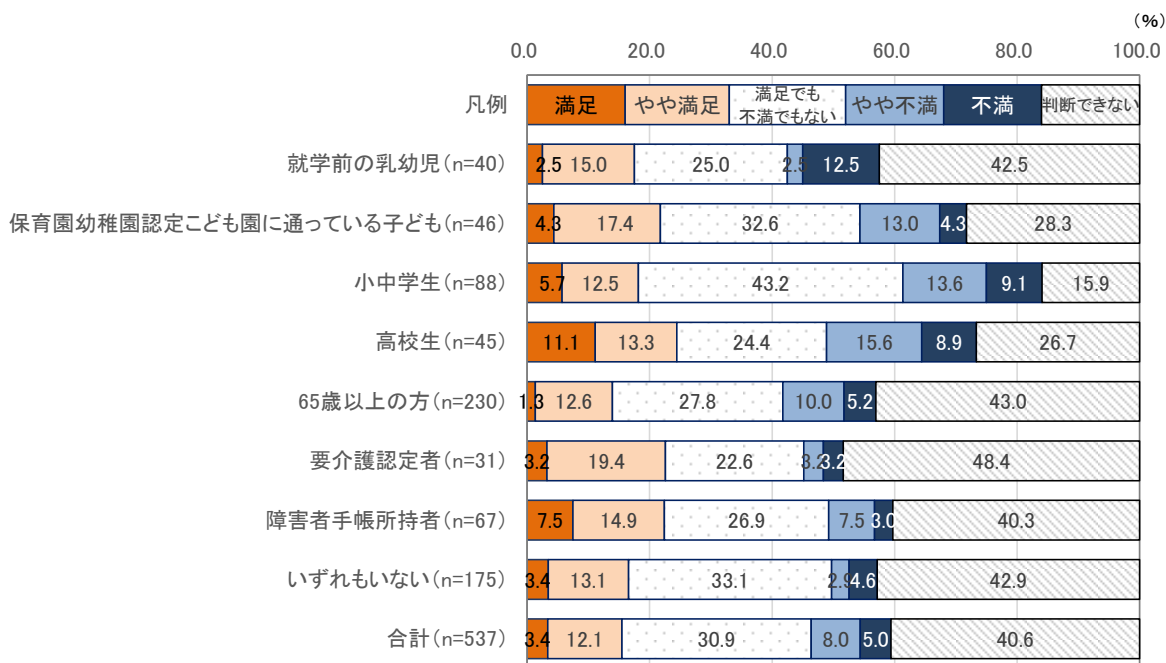


2) 受益者に限定した満足度-同居家族（子ども、高齢者等）の違いによる満足度（関連する項目のみ）

- ・同居家族に65歳以上の方がいる回答者の「高齢者が生きがいを感じ、暮らしていける環境が整っている」の満足度は13.8%と全体よりも低くなっている。また、不満の割合が全体よりも高い。
- ・「質の高い介護サービスが受けられる」では、同居家族に要介護認定者がいる回答者の満足度は35.5%と全体よりも高くなっている。反面、不満の割合も全体より高い。

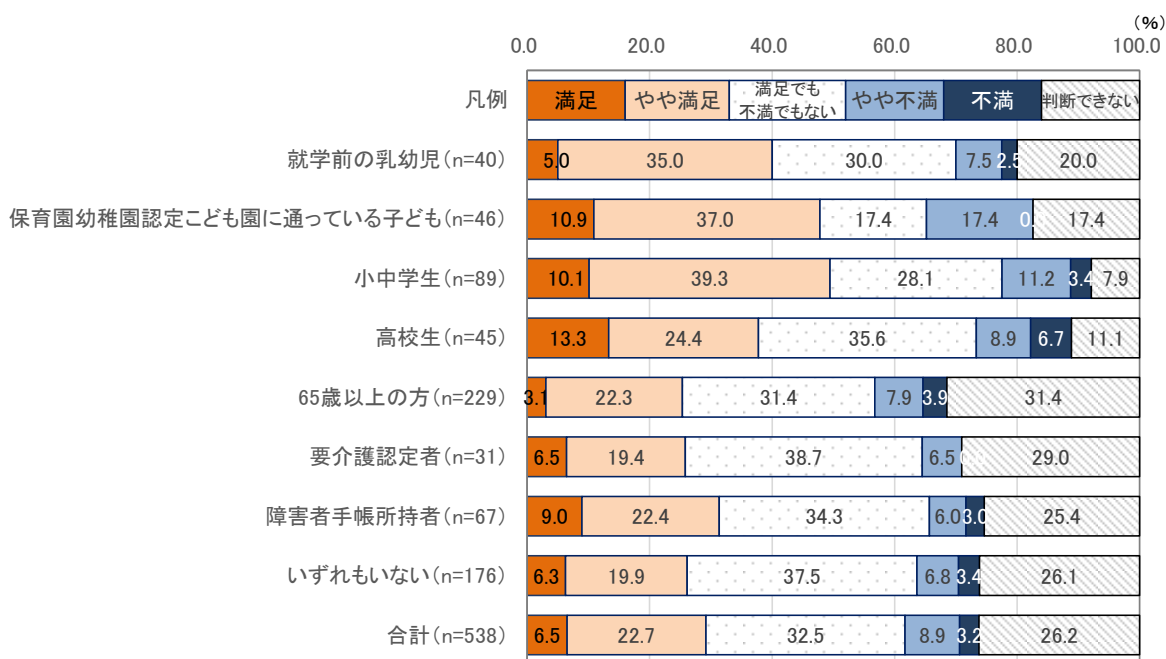
図表 50 同居家族別の満足度

「子どもが生きていく力をつけることを目指す「立科教育」が進んでいる」

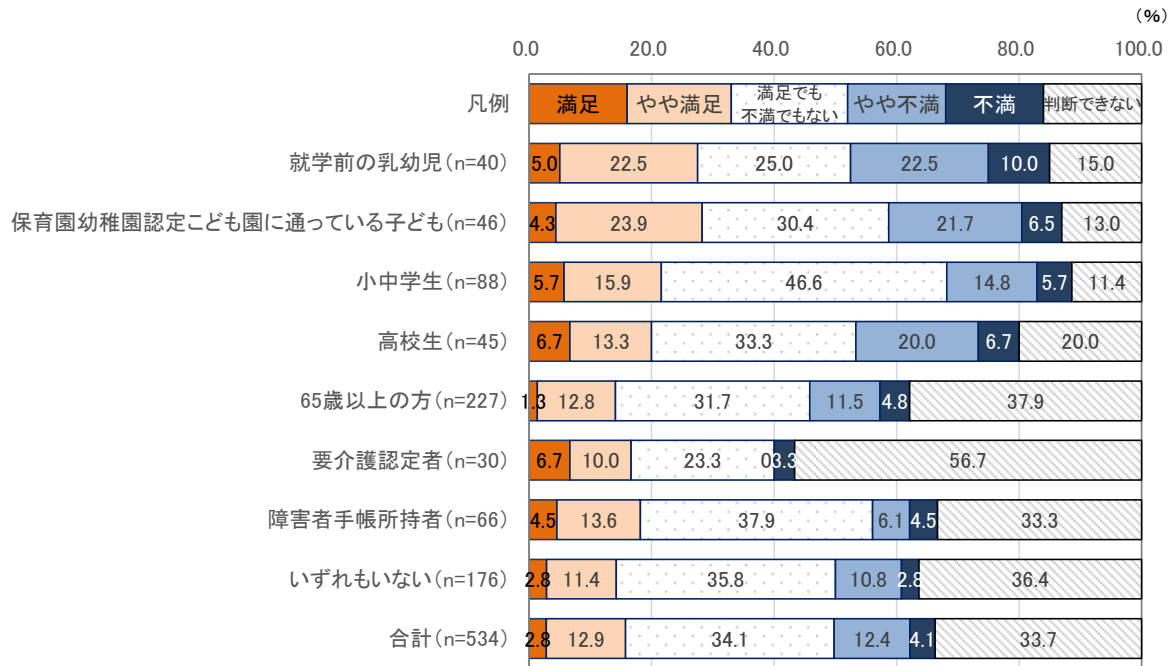


図表 51 同居家族別の満足度

「子どもたちが心身ともに健やかに育つことができる環境が整っている」



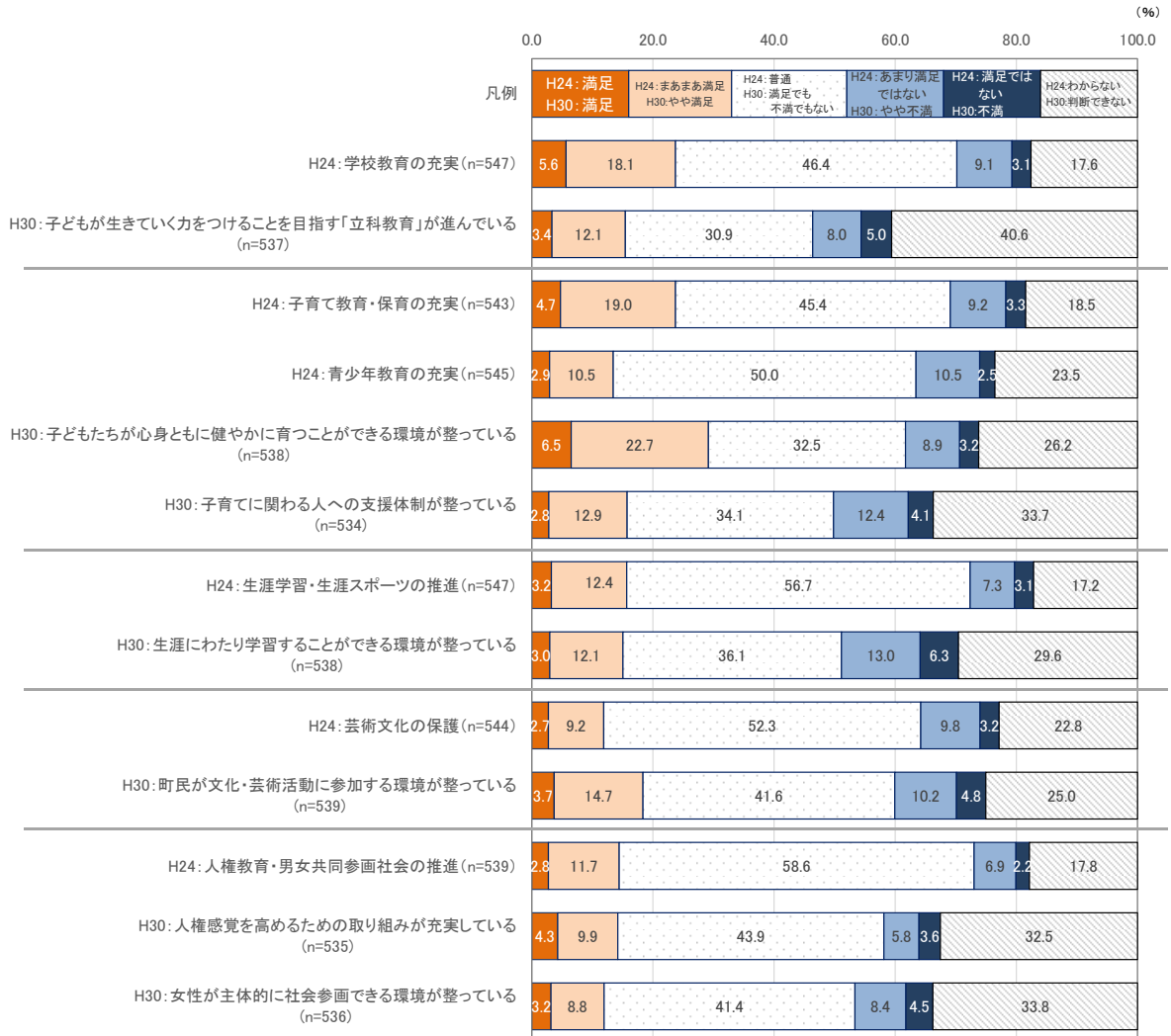
図表 52 同居家族別の満足度 「子育てに関わる人への支援体制が整っている」



3) 平成 24 年度調査との比較

- 平成 24 年度調査と比較すると「子どもたちが心身ともに健やかに育つことができる環境が整っている」「町民が文化・芸術活動に参加する環境が整っている」で満足度が上昇している。
- すべての項目で「判断できない」の割合が高くなっている。

図表 53 「郷土を愛し、心豊かな人を育むまちづくり」分野
における平成 24 年度調査結果との比較



(イ) 平均点による分析

- ・満足度の平均点をみると「子どもたちが心身ともに健やかに育つことができる環境が整っている」「人権感覚を高めるための取り組みが充実している」「町民の郷土への理解と愛情を深めるための取り組みが行われている」「地域において、除排雪の体制が整っている」「地域において、消防・救急の体制が十分に整っている」「町民が文化・芸術活動に参加する環境が整っている」が中間点 (3.00) を超えている。
- ・今後の重要度では、「子育てに関わる人への支援体制が整っている」「子どもたちが心身ともに健やかに育つことができる環境が整っている」「子どもが生きていく力をつけることを目指す「立科教育」が進んでいる」が高く 4.00 を超えている。

図表 54 満足度と重要度の平均点 郷土を愛し、心豊かな人を育むまちづくり

番号	項目	現在の満足度			今後の重要度		
		合計 回答数	判断できない 割合(%)	平均点	合計 回答数	判断できない 割合(%)	平均点
9	子どもが生きていく力をつけることを目指す「立科教育」が進んでいる	537	40.6	3.01	508	24.0	4.21
10	子どもたちが心身ともに健やかに育つことができる環境が整っている	538	26.2	3.28	505	15.4	4.33
11	子育てに関わる人への支援体制が整っている	534	33.7	2.97	508	19.7	4.35
12	生涯にわたり学習することができる環境が整っている	538	29.6	2.89	508	18.3	3.95
13	人権感覚を高めるための取り組みが充実している	535	32.5	3.08	505	19.8	3.81
14	生涯にわたりスポーツ活動や運動に取り組める環境が整っている	537	24.0	2.91	508	16.7	3.86
15	町民の郷土への理解と愛情を深めるための取り組みが行われている	534	27.3	3.12	505	16.4	3.76
16	町民が文化・芸術活動に参加する環境が整っている	539	25.0	3.03	509	16.3	3.71
17	女性が主体的に社会参画できる環境が整っている	536	33.8	2.97	503	18.9	3.89

(ウ) 評価が低い理由

9 : 子どもが生きていく力をつけることを目指す「立科教育」が進んでいる
立科教育でなく学習教育を推進してほしい。
教育長を校長退職者でなく、真に教育のプロである者を選任すべき。何か町長の仲良しグループという感じで、立科教育を改革していこうという意識が全く感じられない。
ダンスなど子供達の習い事がもう少し充実していただきたいと思います。
小中高ともっと農業体験をしてもらえれば農業に対する考え方とか、変わってくるのでは、収穫までの大変さから収穫の喜びとか、わかってくれれば農業をやってみたい子がでてくるかもしれないと思う
高校の学力向上を考えるべき。
立科教育とは具体的に何なのか分からない。
10 : 子どもたちが心身ともに健やかに育つことができる環境が整っている
少子化で子どもたちが野山で遊ぶ機会が減っているので。地域に共に遊べる子どもの人数が少ないのか通学時間以外では子どもたちに出会うことがほとんどない。
子どもの習い事において町内で経験させてあげられるものが限られている。
児童館をもっと使いやすい場所にしてほしい。
学校等で規則がありすぎ、または厳しすぎて生徒一人一人の個性があまり出ていないと思う。
11 : 子育てに関わる人への支援体制が整っている
児童館でイベントがあるときは、民生委員の方もいますが、休日の子供の居場所がなく、サポート体制もないと感じる。
保育園など人員配置が不安
仕事をしている母への対応。仕事をしながら育児をしている母の気持ちを分かってもらいたい。
子育てで悩んだとして学校以外で誰に相談すべきかわからない。知らない。
不登校の子がたくさんいます。学校、行政、家庭とのつながりがあまりうまくいっていない感じがします。
小学校までの通学が遠く、親が車で送迎になってしまう。
子育ては親だけではなくそれを支えているおじいちゃんやおばあちゃんにも経済的、精神的な支援が必要。
12 : 生涯にわたり学習することができる環境が整っている
図書館が小さい。もっといろんな本を置いてほしい。机が少ない。勉強するスペースがない。
子供の学習環境、塾や習い事は充実していないと感じる。
講座や講義が行われているかもしれないが、その知らせや内容が浸透していない もっと積極的にアピールすべき。
学びの場図書館、発表の場町民ホール双方無くして「立科教育」を語れない。教育文化振興の基盤が充実していない。
蓼科高校の偏差値をもっと上げるべき。子供も将来が結局町外の高校に通学して、通学が大変。
やはり高校に関しては町外で学ばせたい。その為には送り迎えが必要になり、かなり親の負担が大きい。交通機関の重要性が問われる。その事を考えると立科町は少し不便かと思う。

13：人権感覚を高めるための取り組みが充実している
人はかえられない。学習会(人権)に毎年参加しているが、参加者に変化無し。
人権に関することをこなしているが参加する人が少ない
人権とは何なのか。近隣の人々の言動を見ていて、理解が深まっていると思えないから。

14：生涯にわたりスポーツ活動や運動に取り組める環境が整っている
人口減からスポーツ、運動は町内のみの取り組みは限界がある。
立科町は高原地区のスキーやレジャーのできる地域を持っているので、環境を整えればもっと収入が増え若い世代が町に住むと思います。
体力の向上、維持は健康面から切り離せない。健康でいることは医療費の削減にも影響する。町には運動施設もある程度備えられている。その有効活用をもっと町が主体となって、住民の意向も反映させることが必要と考える。多種多様なスポーツスクールを開くなど。
体育館や運動場に行かなくても、地域で運動できる取り組みがない。

15：町民の郷土への理解と愛情を深めるための取り組みが行われている
生涯学習活動への参加者が限定され、広がりが感じられない。
立科に移住してきたが、東京では信州は知っているが、立科町の良さがPRされていない。郷土の発信を強くしていただきたい。
保科五無有や六川長三郎だけでなく市井の人々の歴史や町の成り立ちにも目を向けるべき。町の民族資料館の資材が紛失したり、放置されている現状を考えてほしい。豊かな自然をもっと大切にしなければならないと思うし、そういうものに触れないと愛情もわかないと思う。
保育園歌、小学校校歌、中学校歌、蓼高校歌など、すばらしい歌であり、町の財産と思っている。歌える人みんなで歌い合える機会があったら面白い。蓼科ケーブルビジョンの歌も郷土愛にあふれた親しみやすい歌と思う。

16：町民が文化・芸術活動に参加する環境が整っている
活動はしていると思うが、参加する人が決まっていて、それ以外の人はあまり参加しないし、させようと思わない。
機会は充分に有るが参加する事が出来ない
「スイングガールズ」の頃と比べると衰えを感じる
地区や町の行事への参加人数がとても少ない
生涯学習活動への参加者が限定され、広がりが感じられない
先日立科町合唱祭に行ったが、町としてコーラスだけではなく、多くの芸術推進を町として取り組んでほしい。
もともと文化や芸術活動の環境はないし、無関心。
文化・芸術活動がある事が参加するどころか知らない

17：女性が主体的に社会参画できる環境が整っている
町内の公的機関においていまだに女性蔑視をよく感じる。
女性が主体の活動が減少していると感じる
一部の女性が目立つのではなく、多くの女性が町政に参画できる企画が必要
女性だからこそできることなども多いと思うので、多くの事業も生み出してほしい。

(エ) 力を入れるべきと考えること

9 : 子どもが生きていく力をつけることを目指す「立科教育」が進んでいる
ひきこもり状態にある人が立科町では人口の割に多いと聞きます。子どもの頃の教育との因果関係はわかりませんが、「生きていく力」にもっと向き合っていかなければならないと思う。
立科の子供達は保育園～中学まで1つの学校しかなく、外部との交流や刺激を受ける機会が少ない。他の市町村との交流機会など作っていくことができると良いと思う。
東御市、佐久市への通勤は少し遠いが可能。通勤時間がかかっても、ベッドタウンとしての居住地とすれば魅力。週末は家の周りの田畑で米や野菜が作れる。親たちが守っている田畑を受け継ぎ、立科で暮らそう、をキャッチフレーズにして、子供たちを呼び戻したい。魅力ある立科教育も、もっと自信をもって発信できれば明るい未来が見えそうな気がする。

10 : 子どもたちが心身ともに健やかに育つことができる環境が整っている
子どもの環境を見守ることはとても大切だと思う。親の教育もそうだが地域で何をサポートすれば良いか、共に考えて行く必要がある。
図書館は、本の数だけでなく、学習室などの場所もつくるべき
子供の同級生で支援の必要なお友達がいました。6年間一緒にすごし中学校も一緒にすごすものだと思っていましたが、体制が整っていない為なのか理由はわかりませんが、それが叶わず残念でなりません。中学校での支援体制がもう少し整っていたならば、子供達も悲しい思いをする事もなかったのかと悔しくてなりません。
子供達が外で元気に遊べるような町でイベントを開催したり、動物と触れ合える場や、ドッグラン等を作り気軽に集まれる場等、自然が豊かなのでそういう環境を活かさないと損なうと思う。
児童館だけではなく、学習室を備えた図書館などがほしい。子供だけではなく大人も少し息をつける様なゆったりとした場所（図書館）などがあれば良いと思う。
保育園から中学まで1つで上がってしまうので、外の世界との関わりが増えると良いと思う。
母子家庭が増えていると聞いたことがありますが、低所得家庭の子供達にも、平等に教育が受けられるようになってほしい。特に中学生、高校生は、上を目指したくとも塾へなど行けないと思う。何かしらの形で学校以外での援助が受けられたらと思う。

11 : 子育てに関わる人への支援体制が整っている
子育てについて、0歳児からの保育園受け入れをしていく
図書館や児童館があり、とても助かってます。働いているお母さん達が増えている中で保母さん達の確保をお願いしたいと思います。
町を発展させるためには、子供・女性の力が必要。そのためには子供・女性をさらに伸ばすための施策が必要である。町の特徴にすべきである。
人口減少が歯止めがかからない。子育て世帯には手厚い支援を願いたい。
困った時などに相談したり気軽に利用できる支援があると良いと思う。
少子高齢化社会において、立科町の子供達は全員が町の財産だと思います。その子育てに関わる人への支援体制はとても重要だと思います
子育ては地域で育てるとの思いがあって皆で子育てできると負担が少なくなる
少子高齢化にともない人口も減少傾向にある。独身の方は安心して結婚し子育てできるように、もっと町からの支援があると良い気がする。結婚している方にとってももっと生活が楽になるような支援がほしい気がする。

12：生涯にわたり学習することができる環境が整っている
公民館を拠点とした生涯学習の充実が教育文化の発展に重要ではないか
図書室を各世代が利用したくなるような環境にしてほしい。例えば、寝転がって読めるような場所作りや飲食しながら読めるような場所作り
図書室で調べ物や学習できるようにスペースを広げてほしい。図書館と健康づくりの場をうまく合わせられないか。そうすれば幼児から高齢者が集まれる場所になる。
長期的に学習する為の環境づくりをする事で未来が変わると思う。
図書室ではなく、充実した図書館を。権限山一角辺りに作れないか。いこいの広場スペースも設けるなど、集える場所に。遊びスペース、グランド、ウォーキング、温泉、お地蔵さん、雄大な景色。子供から大人まで利用できるランド。老いても歩いて行ってみたいと思える里山文化ランド一帯になるといい。
図書館を作り、司書を常勤させ、町民が良書に触れやすい環境を作る事。本は知力を高める。同時に、知的好奇心が健康づくりの源となる。
図書館の蔵書も増やしてほしいですが、利用環境、施設の充実もはかってほしい。町内、文化財や史跡等のウォーキングを兼ねた散歩体験、企業・商業施設、介護施設等の訪問等、児童・一般の方限らずしては。町内案内ガイド等の養成につなげていく。図書館の利用の促進をはかってほしい。
中央公民館が暗く、もっと活用できる場にするとよいと思う。まず、図書室を新しく広く利用しやすく。2階等に学生向けの学習室を整備。カルチャースクールのように若い人からやってみたい講座をいくつか開催し町民の交流の場となるとよいと思う。

13：人権感覚を高めるための取り組みが充実している
人権等の学習会も、幅広い年齢層が興味を持って参加できるよう、アプローチ、工夫が必要と感じる。

14：生涯にわたりスポーツ活動や運動に取り組める環境が整っている
老人(70才上)専用のスポーツや温泉施設運動施設
子供達の生きていく力をつけること。大人の健康寿命を延ばすこと。生きがい、やりがいをもつために様々な活動に参加できる環境があることが重要。
スポーツ大会や運動にもっと多くの人が気軽に参加できる様に工夫してほしい。
スキー場をはじめ、もっといろんな仕事をしている人がみんな楽しめる企画を考えてほしい。
少子高齢化のまっただ中、今後ますますその傾向にある。うわべだけの取り組みに终えず、住民一人ひとりと向き合い、個々に対応できる取り組みが必要と考える
休日の体育館の利用を、休日・当日体育館が空いていたら体育館で申し込みができる様にしてもらいたい。
運動する事での健康効果は科学的にも証明されつつあるので大切
運動公園にしる女神湖グランドその他の施設についても、もっと専門知識を持った人が、整備したり環境を整えたりするべき。素人考えでやるにも限界がある様に思う。
スポーツなどを通して、多くの人が集まりコミュニケーションがとれる場があるといいと思います。

15：町民の郷土への理解と愛情を深めるための取り組みが行われている
町民が文化、郷土への理解出来る学習の場があればと。もっと立科町に安心して次の若い世代にも伝えて行けるのではと思います。
町民文化会館の新設(音楽・コンサート等の拡充)

16：町民が文化・芸術活動に参加する環境が整っている
広報での参画の呼びかけを充実するべきと思います
芸術活動として、公民館が古く披露する場所が小さいので、大きく多目的ホールがあったほうが良い。
毎年町内の行事を楽しみに参加されている方もおられると思いますが、参加して良かった、楽しかった、また来年も行こうという思いにはなれず、それが参加人数の少なさに繋がっていると思います。毎年同じではなく、多くの方々に参加してもらえる内容の工夫が重要だと思います。
子供達の生きていく力をつけること。大人の健康寿命を延ばすこと。生きがい、やりがいをもつために様々な活動に参加できる環境があることが重要。
気分が高まるような場所、施設が整っていない、アーティストや文化人が来てもらえるような施設がほしい。
高齢者の移動手段の確保の充実。特別な行事のある時など、高齢者も参加しやすい様、無料の送迎バスを出すなど。
町のイベントがいまいち。ニュースにもならない。せめてニュースにあがるくらいのをやってほしい。
蓼科高校ジャズクラブの高校生とOBの方の合同演奏はいいなと思います。町としても、一般の大人や中学生、高校生の参加できる楽団などあるといいなと思います。

17：女性が主体的に社会参画できる環境が整っている
公民館女性部の活動が時代の流れにのっていない。働く女性が増えているなかで、子育て中は、育成会等で親の交流もあるが、子供の成長と共に地域でのつながりが少なくなる。年代や時間帯の工夫で男女を問わず共に参加できることで一人暮らしになっても地域で安心して暮らせるように活動内容や予算の使い方を考えなおすべきではないでしょうか。
女性が主体的に活躍する事が出来たら変革する事も増えるはず
各種団体の役員に女性を半数登用する

③ 基本目標 3：活気ある経済を創造するまちづくり（産業振興）

基本目標 3：「活気ある経済を創造するまちづくり」の施策と調査項目（設問）は以下のとおりである。

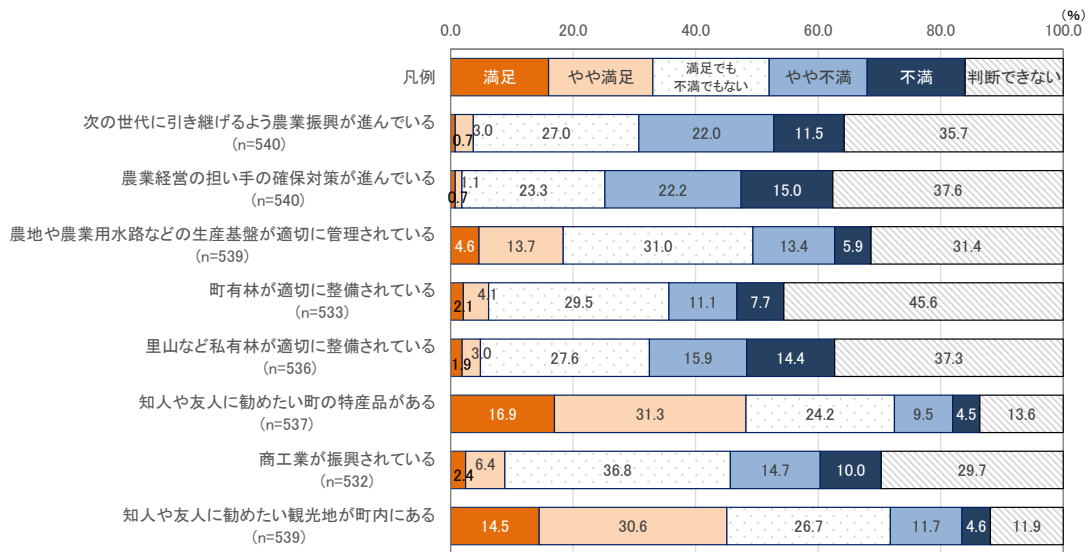
基本目標	町の環境・体制	設問
活気ある経済を創造するまちづくり	1 町の魅力が活かした農業・農村づくり	次の世代に引き継げるよう農業振興が進んでいる
		農業経営の担い手の確保対策が進んでいる
		農地や農業用水路などの生産基盤が適切に管理されている
	2 森林の整備と有効活用	町有林が適切に整備されている
		里山など私有林が適切に整備されている
	3 活力ある商工業の振興	商工業が振興されている
	4 魅力ある観光の振興	知人や友人に勧めたい観光地が町内にある
	5 異業種連携による立科ブランドの推進	知人や友人に勧めたい町の特産品がある

(ア) 度数分布による分析

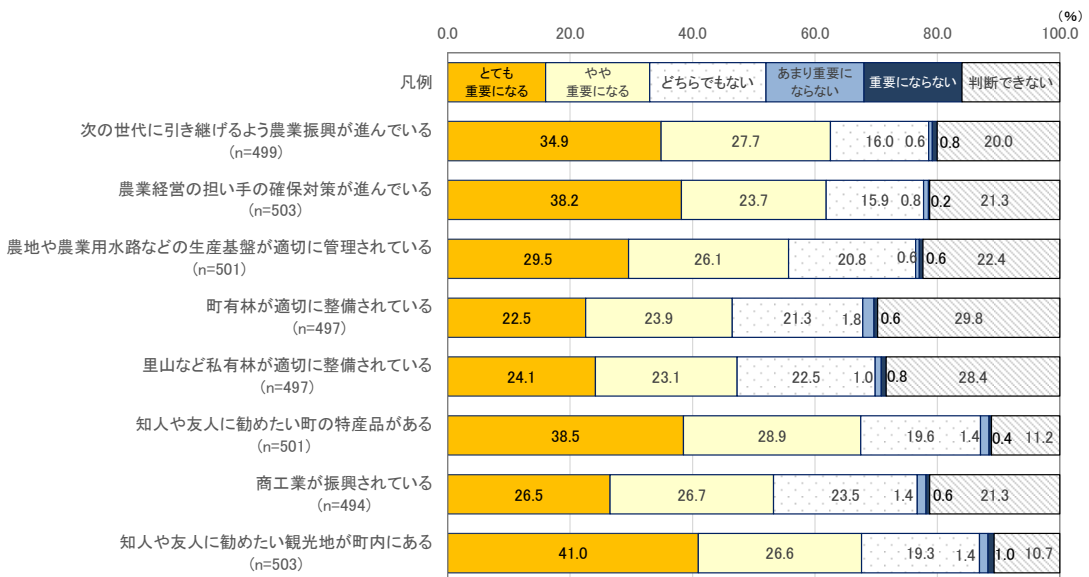
1) 町の環境・体制に対する満足度と今後の重要度（全回答者）

- ・町の環境・体制に対する満足度では、「知人、友人に勧めたい町の特産品がある」が48.2%であり、もっとも高い。次いで、「知人や友人に勧めたい観光地が町内にある」が続く。
- ・「町有林が適切に整備されている」「里山など私有林が適切に整備されている」は、「わからない」の割合が高くなっている。
- ・重要度では、「わからない」の割合が高い「町有林が適切に整備されている」「里山など私有林が適切に整備されている」以外の項目で50%を超えている。

図表 55 **満足度** 活気ある経済を創造するまちづくり



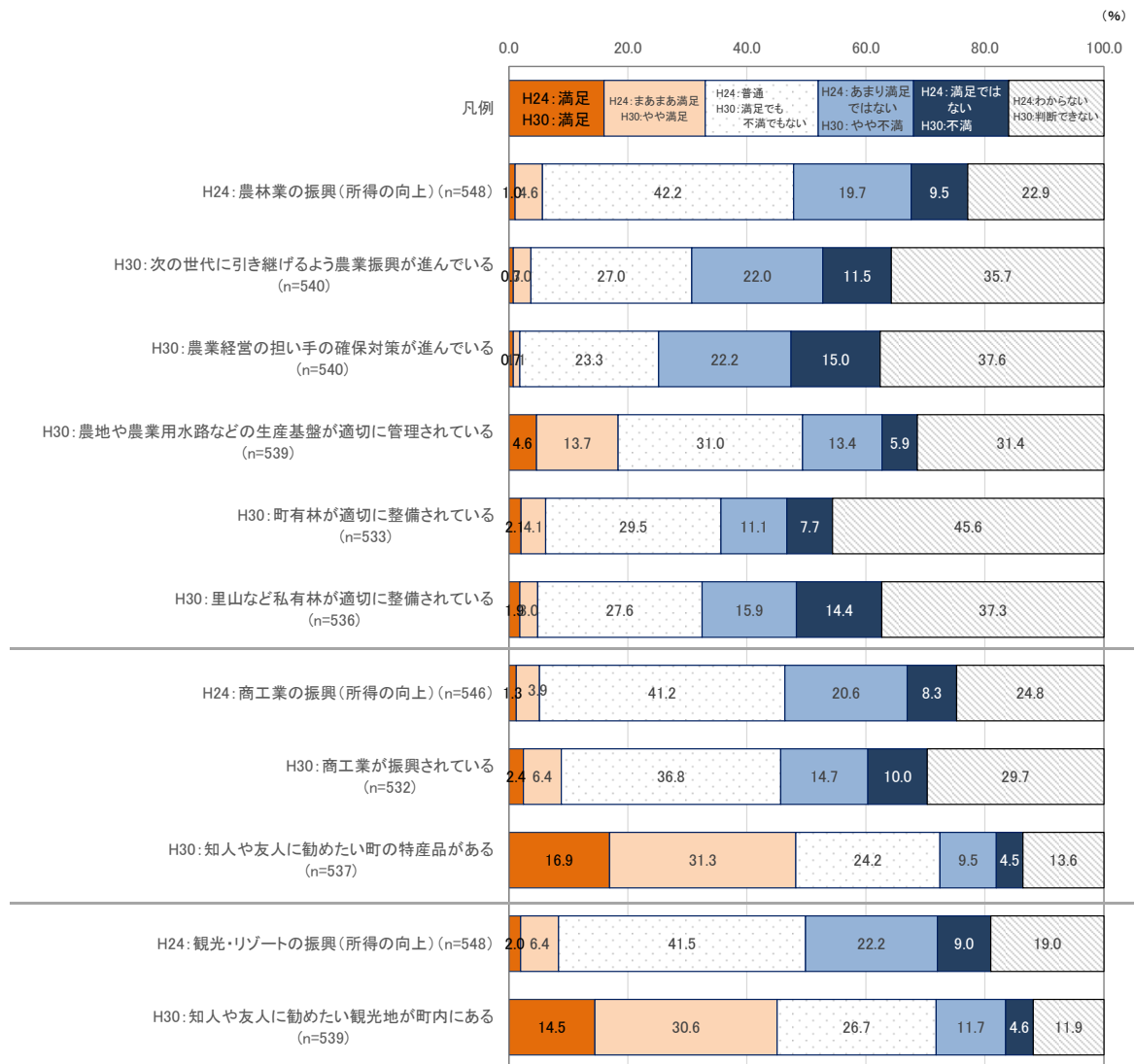
図表 56 **今後の重要度** 活気ある経済を創造するまちづくり



2) 平成 24 年度調査との比較

- 平成 24 年度調査と比較すると「農地や農業用水路などの生産基盤が適切に管理されている」「知人や友人に勧めたい町の特産品がある」「知人や友人に勧めたい観光地が町内にある」の満足度が上昇している。
- 農業振興に関する項目は、不満の割合が上昇している。

図表 57 「活気ある経済を創造するまちづくり」分野における平成 24 年度調査結果との比較



(イ) 平均点による分析

- ・町の環境・体制の満足度の平均点をみると「知人や友人に勧めたい町の特産品がある」「知人や友人に勧めたい観光地が町内にある」で3.0を超えている。
- ・今後の重要度では「次の世代に引き継げるよう農業振興が進んでいる」「農業経営の担い手の確保対策が進んでいる」「知人や友人に勧めたい町の特産品がある」「知人や友人に勧めたい観光地が町内にある」が高くなっている。

図表 58 **満足度と重要度** 地域の環境を活かした産業のまちづくり

番号	項目	現在の満足度			今後の重要度		
		合計 回答数	判断できない 割合(%)	平均点	合計 回答数	判断できない 割合(%)	平均点
18	次の世代に引き継げるよう農業振興が進んでいる	540	35.7	2.37	499	20.0	4.19
19	農業経営の担い手の確保対策が進んでいる	540	37.6	2.20	503	21.3	4.26
20	農地や農業用水路などの生産基盤が適切に管理されている	539	31.4	2.97	501	22.4	4.07
21	町有林が適切に整備されている	533	45.6	2.67	497	29.8	3.94
22	里山など私有林が適切に整備されている	536	37.3	2.40	497	28.4	3.96
23	知人や友人に勧めたい町の特産品がある	537	13.6	3.54	501	11.2	4.17
24	商工業が振興されている	532	29.7	2.67	494	21.3	3.98
25	知人や友人に勧めたい観光地が町内にある	539	11.9	3.44	503	10.7	4.18

(ウ) 評価が低い理由

18：次の世代に引き継げるよう農業振興が進んでいる
後継者不足、町が主体となって集落営農に取り組むべき
農業で生計をたてるのは無理な状況であり、若者の農業離れが進んでしまっている。
ささやかな農作業にも関わっているが振興、基盤整備が充実している実感がわからない
施策的には取り組みがされていても、それ以上に遊休農地、荒廃地が増えている。
遊休農地の増加。個人経営での農業になっており後継者がいない。環境に配慮しているのではなく産業がない。
町としても農地の集積化を推し進めて立科ブランドの美味しいお米を守り続けてほしい。
地域の農業担い手確保がまったなしの時期で、やる気のある人には補助金を出してあげる、又荒廃農地復旧費用等も補助金額を増加させる等が必要。
農業経営のみでは現状生活できないため担い手の確保はできない
若手がなく、高齢者は農地を手ばなしているところが多い。
移住者が農地を借りたくても、地主がOKを出さない。
農地の原野化が多く見られる。
使っていない田畑が多くみられるし、担い手はずいぶんいる様には思えない。
農業のみで生活していくことがとても困難な時代となっている。兼業農家も多様な仕事、職種がある為負担が多いことはたしかである。支援もさることながら農産物のPRの場（県外など）がもっとほしい。

19：農業経営の担い手の確保対策が進んでいる
農業の担い手が高齢者ばかりでないから
農業も高齢化し荒廃地が増えて来て、農地を有効に利用出来る方法はないか。ソーラーパネルが増えて来て景観も悪くなって来た
立科町に住み10年近く農業をしてきましたが、近所で若い人が作業をしていない
高齢化により農業の後継者不足が深刻な問題となっていると思う。これ以上荒地を増やさないと何かする必要がある
ささやかな農作業にも関わっているが振興、基盤整備が充実している実感がわからない
施策的には取り組みがされていても、それ以上に遊休農地、荒廃地が増えている。
農地はあるが会社務めとの両立ができないので耕作できない。米作っても経費がかかる
年々農地が減少し、不耕作地が増え、担い手が減っているのではないか
次の担い手対策は各家庭に任されており、町全外の農業振興とは言えない。町林/里山も区・部落活動が中心で追いついていない。
新規就農者への支援が、移住者を増やすほどに充実していない。

20：農地や農業用水路などの生産基盤が適切に管理されている
用水路が古く田んぼに水がしみ出し、新しくしてほしい
ささやかな農作業にも関わっているが振興、基盤整備が充実している実感がわからない
田の土手が、構造改善後年月とともに崩れてきて対処されない（急傾斜が多い）。
用水路の改修等、予算面でできないことが多い。
用水路の整備が下流域で不備。
農業用水路が破損している所が多い
今時、U字工も入っていない用水路なんてありえないのでは
魅力のある農産物がない。農業で生活ができない。用水路はできていても水がない。用水の使い方に無駄が多い。農産物のコストが高い。
農業用水路などの老朽化が目立ってきており、適切な管理がされているとは思えない
耕作放棄地が増えて、かつての畑、田んぼが農繁期に雑草、雑木林等に変わっていく姿は寂しく思います。緑豊かな立木の景観というものは、人の手によって守られてきたことに改めて気づかされています。
田の周りの立ち木を切ったりすることが必要

21：町有林が適切に整備されている
綺麗にされている所とされていない所の差があると感じるから。
間伐後の後始末が雑。
間伐がされていないため、強い木が育たなく倒木が多い。
白樺林が整備されておらず、白樺高原という観光地名にふさわしくないとと思う。
林の栽培等いき届かず光の入らないお宅があるときくので
町有林の整理、荒れた耕作地の放置が増えている。
雪により木（枝）が道に倒れかかっているから。
松くい虫対策が不十分。

22：里山など私有林が適切に整備されている
里山の雑木林が竹林になりつつある。地すべり危険。
山など荒れている。ゴミがある。これは町民だけの問題ではなく、人間1人1人のモラルの問題になるが。
自然がきれいで山がすばらしいこの土地も、この頃木の手入れができていず、倒れてきそうだったり、若者がいなくなっただのかなと思います。でも農家の人達の美しく整備された畑や田んぼを見るとすばらしいと思う。
里山が荒れている。対策してほしい。こんなに荒れている町はない。
農地、里山などの私有地が荒れているので心配です。
協力して整備をしている様だが、特に鹿に対する対策は満足する結果が出ていない。
町有林の整理、荒れた耕作地の放置が増えている。
森林整備が進んでいない
雑木林をきれいにする。
山が荒れて鹿等の居場所になり、周りの農作物の被害。
荒はいに畑など景観によくない
私有林はもっと手入れをするべき。畑も手を入れるべき

23：知人や友人に勧めたい町の特産品がある
農ん喜村の経営方針が全く感じられない。どうしたいのか、どうなりたいのか、従業員は考えているのか。ここを拠点に立科町ブランドを、日本全国、世界に発信する発信所にべき。そのために若者技術者や最新の環境整備を整え、Web 発信や町のキャラクターなど「打って出る」をしないと町は無くなります。
町の特産品を前端的に売り出す。PR すること。知られていないので積極的対応要
立科町にとっては農業、観光振興基幹産業であり、自然環境、生活環境は地方創成取り組みのキモである。立科町の特性、特色を生かし、他町村との差別化を明確にし、さらに優位性のあるアイデンティティを発揮すべきである。
賞味期限の切れかけたにんじんジュースとか売るのであれば、違うことに予算をまわした方が良い様に思う。結局やりたい1番を選んでやる。他は無視するぐらい多方面に色々やらない方がよいのでは。
特産品はりんごだけでしょうか、もっと開発するべき
立科町の特産品がなにか知らない

24：商工業が振興されている
空き家や古民家、旧商店などを使って、移住者が新しい取り組みをしてくれると良いと思う。そのためのPR をしてはどうか。商店街の活気が感じられない。
一定の地区に商工業が集中しすぎている。
多くの住民を町内に定着させるには町内の企業誘致がもっと必要なのでは
各々が活動しているので、町としての統一感がない。
若者が働ける場所が多くあるように、企業や町の商業（宿泊施設観光用など）を活発に誘致したら良いと思う
工業が少なく働く場がない
町内で大型店以外定常的に開店している店が少ない
若者が就職出来る企業が少なく感じます
町営のスキー場ですが、もう少し本気を出して営業してほしい。色々工夫すれば、来場者もまだまだ増やす事のできる良いスキー場だと思います。

25：知人や友人に勧めたい観光地が町内にある
観光地としてまだまだ中途半端だと感じるから。
自然環境は勧められるが、その他に勧められる所に心あたりがない
せっかく美しい女神湖などあるのにいまひとつ魅力がない
一番の観光地である山の女神湖通りが閑散としているのが良くないと思う。空き物件が観光地に多すぎる。
観光地の現状を町民が知らない、知ろうとしていないのではないか

(エ) 力を入れるべきと考えること

18：次の世代に引き継げるよう農業振興が進んでいる
農業の法人化による規模の拡大。農産物、観光の海外戦略。開発する観光でなく、自然と共存し、自然を活かす観光への変革
農業が衰退しているが、田んぼ、畑の土地が多く、その土地が枯渇してしまうのは町全体が衰退しているイメージがついてしまう。
TPP などにより関税が大幅に引き下げられ、ますます日本農業は競争力を失い衰退し荒廃が増加、大変厳しい。
農業は重労働であるため、高齢化、担い手不足が深刻。
次の世代に引き継げるような振興が進んでいるか知ることが分からない。
将来の担い手となる非高齢者への支援を厚くすべきだと思う。
自然を破壊しない農業を推興してほしい。
新規就農者が安心して立科町で農業ができる支援が必要

19：農業経営の担い手の確保対策が進んでいる
農業の法人化による規模の拡大。農産物、観光の海外戦略。開発する観光でなく、自然と共存し、自然を活かす観光への変革
農業が衰退しているが、田んぼ、畑の土地が多く、その土地が枯渇してしまうのは町全体が衰退しているイメージがついてしまう。
若い人が農業をしてもなんの得にもならないと思っている。土地が豊かなのにもったいない。
TPP などにより関税が大幅に引き下げられ、ますます日本農業は競争力を失い衰退し荒廃が増加、大変厳しい。
立科町のためにも、別の町にない特産品をアピールすることで担い手に農業を分かってもらい、立科町に移住してもらいやすいので。
当方も数年後には自分で農業ができなくなります。
高齢者社会になり、農業が自分の代になってきている現在、「会社勤め」と両立できるか不安。
新規就農者が安心して立科町で農業ができる支援が必要

20：農地や農業用水路などの生産基盤が適切に管理されている
農業地域、りんご畑、ブドウ畑等が観光地、みてふれて、こんなところで仕事をしてみたい。住んでみたい。と思われる町づくりに力を入れる。そのためには、畑、周辺の道路整備、個人から協同事業、負担を減らし、生産性を上げ、きれいな環境で、こだわりの作物を作る。
国産、付加価値のためにもっと何かすべき。
農業が衰退しているが、田んぼ、畑の土地が多く、その土地が枯渇してしまうのは町全体が衰退しているイメージがついてしまう。
土地改良区まかせでなく町として対応を。
農産物の集団化。用水の上流と下流の平準化。
遊休農地活用や農地集積化を行うには、大型機械や合理化を行うには地方道や農道の整備が必要不可欠となる。

21：町有林が適切に整備されている
町有林、道に面した木々を切るべきである。太陽が当たり、雪も溶け走りやすくなる
観光地として森林の整備や景観の整備に力を入れるべきだと思う。
畑にハクビシンやキツネが来て農作物をあらしている

22：里山など私有林が適切に整備されている
町で松くい虫伐採だけでなく、倒れそうな危ない木もなんとかしてもらいたいです
全国でも問題になっている太陽光発電の設置について、里山の景観を守る為厳しく管理すべき。
私有地内の枯木が多く倒れる寸前で危険度が高い。
ソーラーの開発には規制をすべき
少なくとも観光に力を入れることが大切ならば、女神湖、白樺湖に通じる道路脇は町民の力で手入れをすることが望ましい

23：知人や友人に勧めたい町の特産品がある
町の特産品はりんごをはじめ色々あるが他県の方に手土産として持っていく物があまりないので菓子等(たてしなブランド品)があってもいいのでは
町の特産品であるりんごの栽培により力を入れてもらいたい
蓼科牛はもっとアピールした方が良いでしょう。とてもおいしいのに、知名度が低い。
特産品を使ったお菓子とかコンテストとかやってみたらいかが
特産品目当てで、町外から観光客が来れば町のアピールにつながるのではないかと。
立科のりんごは誰に勧めてもおいしいとの声がかえってくる。ただそれだけでいいのかと感じる。りんごの加工品、菓子は開発に難しいが一年中食べることができる、おいしいりんごを使った特産品があればと感じる。たてしなアップルのシードルも今の販売方法だけではもったいない。
立科町にとって米、水、りんごは変えがたい財産である。絶対守りたいもの。そして観光にはもっともっと力を入れ町の大きな収入源となるような政策がのぞましい。

24：商工業が振興されている
企業誘致が人口増加率が最も早い
観光に頼りすぎ。各々のウリが必要。
企業を誘致してほしい

25：知人や友人に勧めたい観光地が町内にある
自然が魅力的な立科町だと感じていますが、天候で左右される観光地だと思います。天候でも左右されない勧めたくなる場所などあればと思います。半日か1日単位で滞在できる事など。
町外から来た人の立科町の第一印象をよくすることで観光客や移住者の増加にもつながるのではないかと思います
観光に尽力しないと、農村地というだけでは生き残れない。そもそも観光地への交通手段が少なすぎる(バスが少ない)。
すばらしい自然環境があり、もっとアピールする。都会からの自然体験、農業体験、民宿の世話など。

外国人にも来てもらえる様な観光振興

立科といたら「りんご」「白樺湖」「女神湖」「スキー」「避暑」など、他県の人が挙げるものがあるならばその特徴は大切に力を入れていくべきだと思います。

④ 基本目標 4：豊かな自然とともに暮らす安全・安心なまちづくり

(住環境・自然環境・交通網・防災・減災・安全)

基本目標 4：「豊かな自然とともに暮らす安全・安心なまちづくり」の施策と調査項目（設問）は以下のとおりである。

基本目標	町の環境・体制	設問	
豊かな自然とともに暮らす安全・安心なまちづくり	1 おいしい水の安定供給	おいしい水が安定的に供給されている	
	2 排水処理事業の維持	—	
	3 住環境の整備と定住・移住の促進	移住者が地域に定着できる環境が整っている	
	4 自然環境・景観の保全と土地利用	美しい景観が保たれている	
	5 循環型社会の推進	環境に配慮した循環型社会が推進されている	
	6 交通網の総合的整備	道路や橋が整備され、適切に維持管理されている	
	7 河川整備の促進	—	
	8 公共交通の充実	交通弱者に必要な公共交通網が整備されている	
	9 防災・減災対策の充実	地域において防災・減災対策が十分に行われている	
	10 日常生活の安全確保		地域において防犯対策が十分に行われている
			交通安全の意識が向上している
消費者保護の対策が進んでいる			
11 高度情報化への対応	町民が安全に情報通信技術を活用できるよう支援されている		

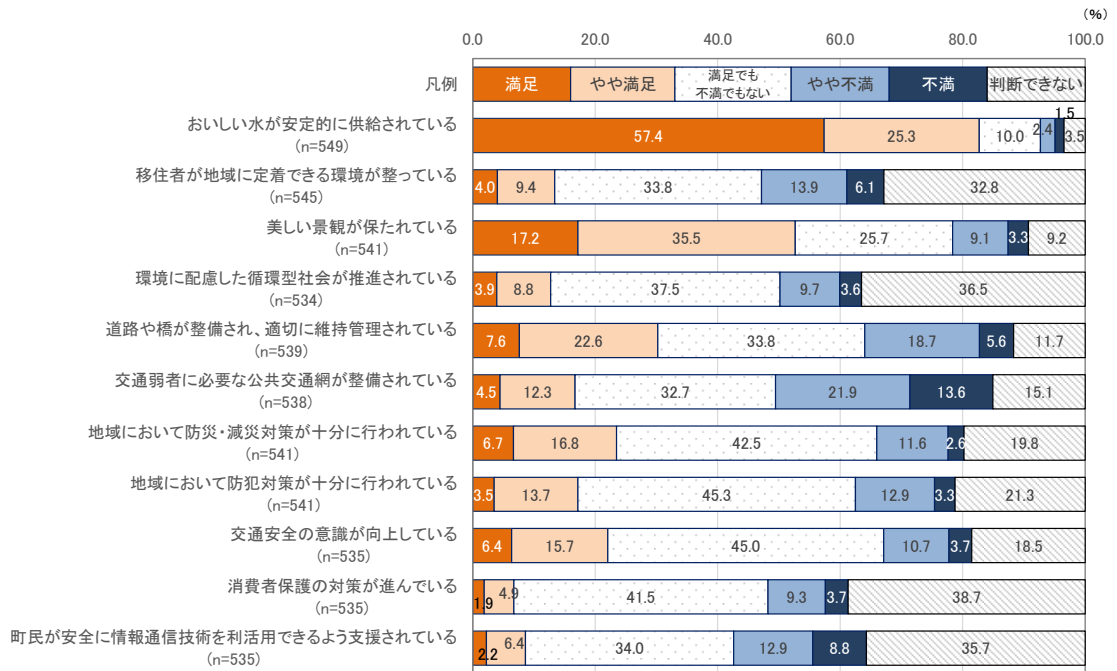
(ア) 度数分布による分析

1) 町の環境・体制に対する満足度と今後の重要度（全回答者）

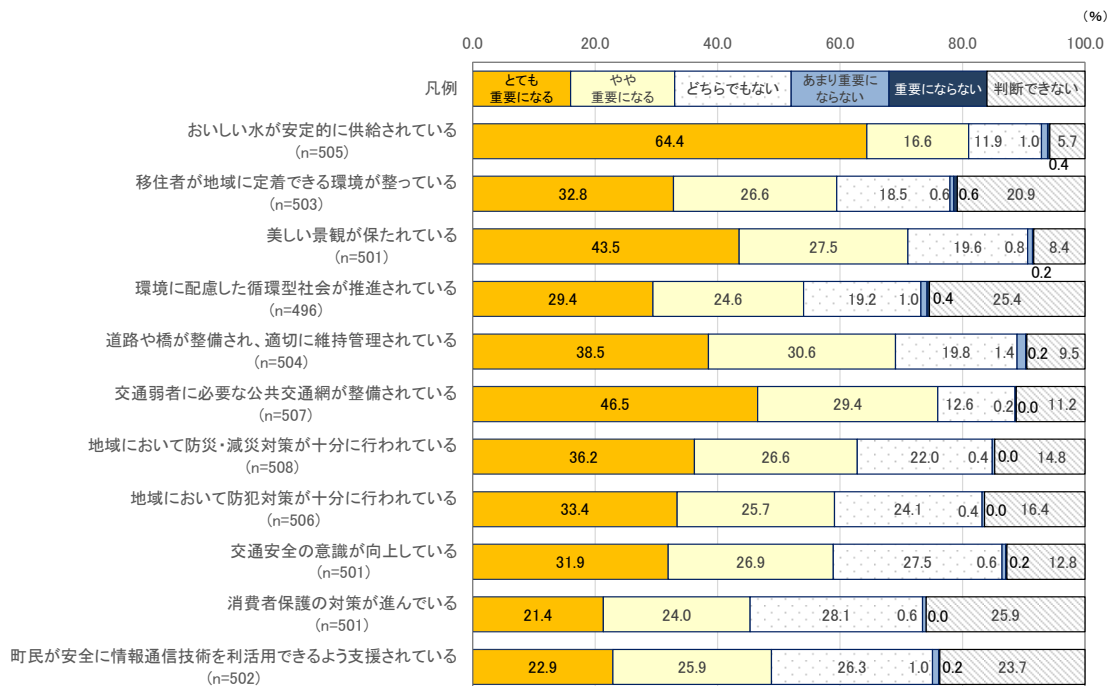
・町の環境・体制に対する満足度では「おいしい水が安定的に供給されている」が82.7%と圧倒的に高くなっている。次いで「美しい景観が保たれている」が続く。

・今後の重要度でも「おいしい水が安定的に供給されている」が高くなっている。次いで、「交通弱者に必要な公共交通網が整備されている」が続く。

図表 59 **満足度** 豊かな自然とともに暮らす安全・安心なまちづくり



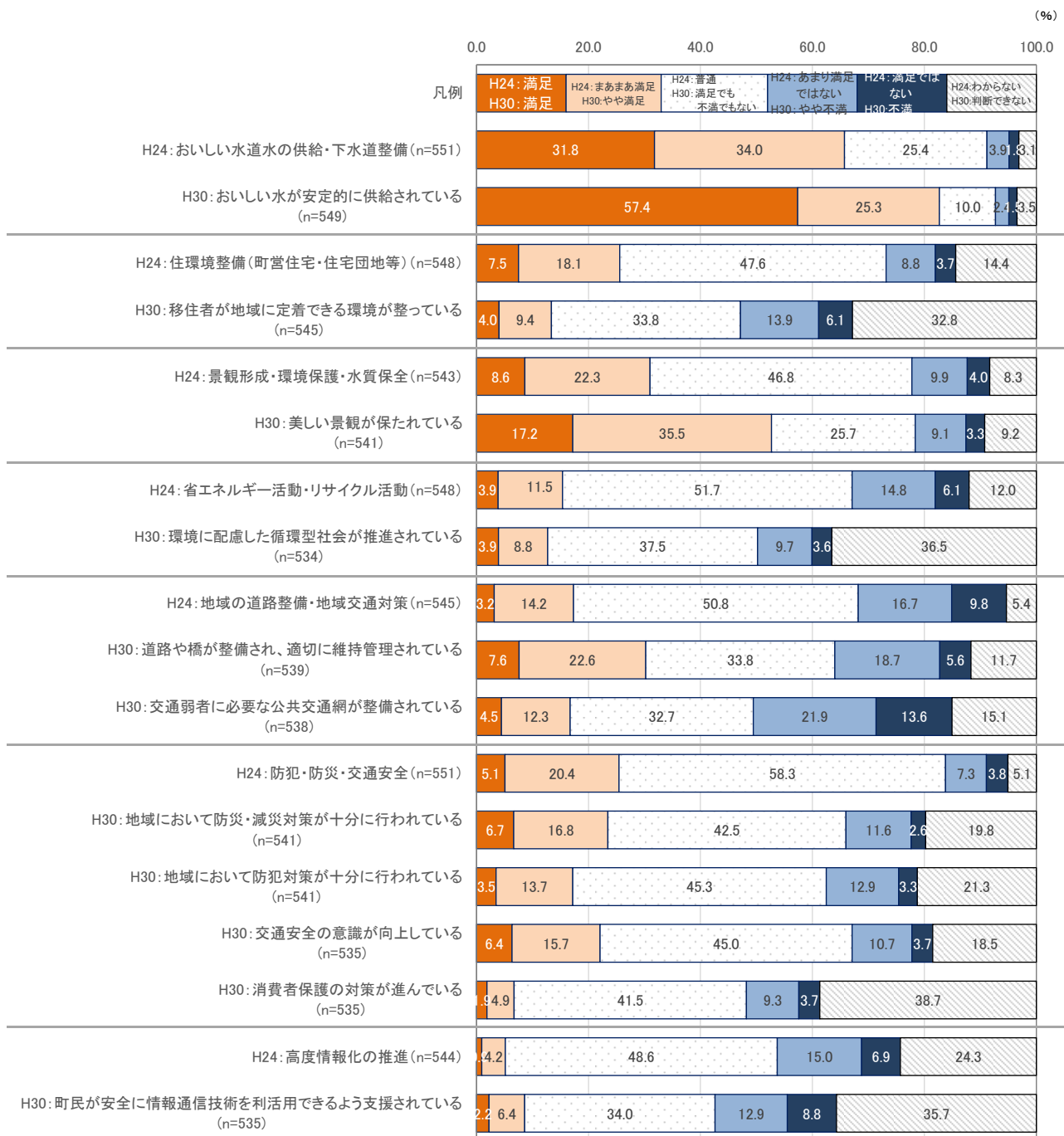
図表 60 **今後の重要度** 豊かな自然とともに暮らす安全・安心なまちづくり



2) 平成 24 年度調査との比較

- ・平成 24 年度調査と比較すると「おいしい水が安定的に供給されている」「美しい景観が保たれている」「道路や橋が整備され、適切に維持管理されている」知人や友人に勧めたい町の特産品がある」「知人や友人に勧めたい観光地が町内にある」「町民が安全に情報通信技術を活用できるよう支援されている」において満足度が上昇している。

図表 61 「豊かな自然とともに暮らす安全・安心なまちづくり」分野における
平成 24 年度調査結果との比較



(イ) 平均点による分析

・満足度の平均点が3.0以上の項目は「おいしい水が安定的に供給されている」「美しい景観が保たれている」「環境に配慮した循環型社会が推進されている」「道路や橋が整備され、適切に維持管理されている」「地域において防災・減災対策が十分に行われている」「地域において防犯対策が十分に行われている」「交通安全の意識が向上している」である。

図表 62 **満足度と重要度** 全国に誇れる教育・文化のまちづくり

番号	項目	現在の満足度			今後の重要度		
		合計 回答数	判断できない 割合(%)	平均点	合計 回答数	判断できない 割合(%)	平均点
26	おいしい水が安定的に供給されている	549	3.5	4.40	505	5.7	4.52
27	移住者が地域に定着できる環境が整っている	545	32.8	2.87	503	20.9	4.14
28	美しい景観が保たれている	541	9.2	3.60	501	8.4	4.24
29	環境に配慮した循環型社会が推進されている	534	36.5	3.00	496	25.4	4.09
30	道路や橋が整備され、適切に維持管理されている	539	11.7	3.09	504	9.5	4.17
31	交通弱者に必要な公共交通網が整備されている	538	15.1	2.67	507	11.2	4.38
32	地域において防災・減災対策が十分に行われている	541	19.8	3.17	508	14.8	4.16
33	地域において防犯対策が十分に行われている	541	21.3	3.01	506	16.4	4.10
34	交通安全の意識が向上している	535	18.5	3.13	501	12.8	4.03
35	消費者保護の対策が進んでいる	535	38.7	2.87	501	25.9	3.89
36	町民が安全に情報通信技術を活用できるよう支援されている	535	35.7	2.69	502	23.7	3.92

(ウ) 評価が低い理由

26：おいしい水が安定的に供給されている
水の味には不満はないが、料金を半額にし、町が補助すべき。
お風呂の水が塩素なのか、白くにごった水が出るのが気になる。
昔は水がおいしかったと思う

27：移住者が地域に定着できる環境が整っている
空き家や古民家、旧商店などを使って、移住者が新しい取り組みをしてくれると良いと思う。そのためのPRをしてはどうか。商店街の活気が感じられない。
空き家が増えている状況で古民家の活用がすすんでいない
移住者も移住者な部分はあるが、移住者であるとして見ている人が多い
外から入ってきた人を受け入れる気持ちがない
よそ物扱いをしている人が多いよう見受けられる。
田舎独特の余所者を受け入れない風潮が「芦田八ヶ野」よりも「町」の方に残っていると思う
産業がないから人が集まらない。これだけ土地があるのに工場が少なくてもったいない。
町内地域自治会の多くは全国的平均値に比較すると年間負担金が高過ぎる傾向にある。移住者は驚きと過度負担に困惑させられている。

28：美しい景観が保たれている
観光地なのにらしからぬぼり旗や料金表示がみっともない
廃屋が多すぎて、景観を著しく損なっていると感じる。
美しい自然の景観は立科の魅力の重要な要素。景観を損ねることのないよう一定の制限は必要ではないか。
車で道を走っていると、道路にゴミが捨てられていることが多い。いつも決まった道。対策が必要では。
太陽光パネルだらけになりそう。
景観保護と産業開発は対立関係にある。景観法の順守は厳しい罰則制度および基準が必要となる。
清い水や美しい景観はあっても移住者に魅力がない。

29：環境に配慮した循環型社会が推進されている
山の木の伐採が多すぎる。
どこかの工場からビニールが焼けたような臭いが流れてくる。
必要以上の太陽光発電、自然が少なくなる
農薬等の使用で土壌の汚染が心配

30：道路や橋が整備され、適切に維持管理されている
通勤に使う道が細く、すれ違いづらい所がある。
立科町の道路は細いもの（せまい）が多い。通学路位は安全な道にしてほしい。また道が傷んでいる所も多い。
道路に穴があいたり、傷んでいてもなかなか舗装されず車を運転していて、危険を感じる事が多々ある。

31：交通弱者に必要な公共交通網が整備されている
町内だけでなく町外へ出る交通手段が少なくて不便だ
蓼科高校のスクールバス、片道カラ輸送はいかがなものか。有料でも一般の方の利用も可能とした方が良い。立科は交通の便が悪すぎる。それが町民が増加しない一因でもある。こんなに住み良い場所なのに。
バスはあるけれど町内だけ、600円のタクシーはあるけれど町内だけ。医療も広域になっているのに、バスが病院に行っていないなんておかしい。佐久にも小諸にも行けるように、乗り合いタクシーとか乗り合いバスとか考えてほしい。
デマンドタクシーの利用で免許証の返納者だけがOKで最初から免許証を持たない人が利用できないのは差別ではないでしょうか。高齢になれば利用したい状況は同じではないでしょうか。
高齢者の免許返納には、特に地方では難しいことだと思います。公共交通網の整備ははかられていると思いますが、しっかり考えていかなければならないかと、地域社会というのはもっと広く、区ごとではなく全体的に協力し合える交流をもっと増やして、他区の良い所を取り入れたりしたい。

32：地域において防災・減災対策が十分に行われている
各家庭に災害時に知らせる何か設備があれば助かると思う。年寄りの見守りも町として考えてもらえれば。他の地方にはいろいろな知恵があったようだけれど。
結局何も起こらないだろうという油断しか感じる事ができない。本当に何か起きたらと考えると不安しかない。
消防団の活動について、大会前など負担が大きい
消防団員の育成が進んでいない、形だけの訓練
全般的に施策、周知が不十分、住民の関心も低い。当事者意識の欠落を感じる
大きな川がないなどから、町民の防災意識は薄く感じる。
災害も少ないため危機感がない。

33：地域において防犯対策が十分に行われている
防犯対策が十分でない。暗い夜道が多い。
最近、不審者がよく出るのでこわい。小学校からのメールはあるが解決しましたというメールはくるが、つかまったのかどうなのかわからず不安。
立科だけではないと思うが、田舎は防犯意識が薄いと思う。
他国の人達が増加する中、無防備が多い。

34 : 交通安全の意識が向上している
町というより個人の問題である
よく事故の起きる場所を早く改善してほしい
交通安全に関して、交通事故が多発している、ツルヤの交差点と野方田中タイヤさん入口の交差点ですが、警察と連携して時々街頭に立って注意を促してほしい
りんごの自販機にするのはいいが安全ではない所があるのでよく考えてほしい
信号無視、速度オーバー、ウインカー出さないなど車のマナーが悪い
老人の車の運転が危なすぎる。意識を向上させたいなら、もっと交通手段を増やすべき。
電動車いす利用者のマナーが悪い。道路中央を走行していたりする。

36 : 町民が安全に情報通信技術を活用できるよう支援されている
災害などネットを使った情報発信がされていない
光ケーブルをさらに導入し充実してほしい。
データ通信方法が周辺地域と比べると格差がありすぎる
特にインターネットが非常に不便である。いくつか問い合わせても開設未定なので町外への移住を考える。
光通信が町全体に整備されていない

※「35 : 消費者保護の対策が進んでいる」には具体的な理由がなかった。

(エ) 力を入れるべきと考えること

26：おいしい水が安定的に供給されている
水の質を保ちながら、水道料金の値下げも、視野に入れてほしい
旅先から帰ると、立科のお水のおいしさを実感します。守り続けてほしい
水は立科が誇る素晴らしい資源。さらなる有効活用を。
立科の水はおいしいと定評のようなので、これからもかわらず供給されるべき
大切な「水」が安定的に供給されているアピールしたい事項でもあるが料金が高い気もする
立科町はほんとうにおいしい水と空気、自然豊かですばらしいと思っています。これからも地域の住民一人一人が心して汚さないよう、とても大切な事だと意識させるよう勉強出来る場、話し合いが出来れば、自然環境に目を向けてもらえるのではと思います。
当町の上下水道の設備は安心できる状況なのか、情報提供を定期的に発信してほしい。
27：移住者が地域に定着できる環境が整っている
政策で基盤をしっかりしても後は町民の意識の問題だと思う
観光客や移住希望の人達が訪れた時に、いい印象を与えられるよう整備することが重要だと思っています。
移住者が定着できるように各所に空き家が多くあるので有効利用を役場で積極的に進める。空き家内片付け、空き家解体等について施主と交渉を進める。
桐原の町営アパートや、新しく家を建てた人への受け入れ方はとても住みやすく思う。ただ他はよく分からないが、嫁に来た人達がよく言うのは、良くも悪くも誰々さんのところの嫁とすぐにみんなが分かっているのに驚くようです。それがまた息苦しくもあるよう。年寄りの方も受け入れる気持ちも持ってほしい。
現状はなかなか厳しいと思うが、空き家バンクの拡充、移住者を受け入れる環境づくりが大切だと思う
28：美しい景観が保たれている
移住者を増やそうと思うなら、町の景観も大きいと思う。
町外から来た人の立科町の第一印象をよくすることで観光客や移住者の増加にもつながるのではないかと思います
観光地として森林の整備や景観の整備に力を入れるべきだと思う。
観光地であるので、景観は大切だと思う。車で通過する際、空き家の家の中、庭がみだれているのを見ると所有者もきれいにしてほしいです。所有者に言うことはむずかしいですね。
住人が住み良いきれいな空気の町を失わないようにしてください。
産業開発は常に失行状況になり規制制度の方が後手になりがちである。自然景観を保護するためには手遅れにならない考慮が必要だ。
空いたところを太陽光エネルギーにしている所がけっこうあるけど、田舎って感じ。なにか立科町らしく鈴蘭を広く植えてみるとか、もっときれいな街のイメージがあったら良いかと思っています。
山々がソーラーに変わり景観が壊されて、この先はどのように変わって行くのか不安に思っている

29：環境に配慮した循環型社会が推進されている
太陽光など利用出来る、耕作されていない土地活用

30：道路や橋が整備され、適切に維持管理されている
普段なにげなくあたり前に利用している道路にもっと感謝の気持ちが地域住民に必要なだし、地域住民による環境整備も重要だと思う
交通量や人の歩行がある所は調査をして道や歩道を作るべきである
道路標識はきちんとされているが、道路の線や止まれ等の表記が消えかかっている場所があり、分かりづらく危険と感ずることがあった。
冬の道路の管理、雪かき凍結防止をまめに行い、安全に交通できるようにする。歩行者道路は整備されてきているものの、雪の日は雪かきがされていない。子供達が安全に通学できるような配慮が必要。
女神湖方面に行く道路で、路肩の幅が狭く、運転しにくい場所があるので、広くしてほしい。路肩が崩れている。
住民の意識改革に力を入れて自分達が出来る事に参加してもらって道路不請や草刈りなど 回りの村などより劣っていると思う。自立を選んだのでお金をかける所を選択する

31：交通弱者に必要な公共交通網が整備されている
公共交通が町外でも安く利用できるようにしてください。
高齢時代はすでに始まっている土地のため、移動が不便である。車のない生活がムリである。交通、移動手段の確保が私は整っていないので、不安である。
免許が無い人達が安心して生活できるよう交通網を維持するべき
町内の公共交通網はだいぶ良くなってきていると感じるので継続して行ってほしいと思いますが外部から交通を利用する際、まだまだ明確ではなく車での移動以外の方法をどの様に利用したら良いか、アピールできるといいなと思います。
電車が通っていないのが不便。電車がだめならその他の交通機関を充実させるべき。
公共交通（バス）は利益が出ているとは思わないので、本数をもっと減らしてよい。その代わり、タクシー補助をもっと進めるべき。
他の地町村のバス運行などを参考にしたら良いと思う。小諸市などはあいのりくんというバスがとても市民の足になっている。
駅もない、高速もない、高齢や傷病で自家用車を使えなくなったら出られず、不健康になりやすい。バスの増便やタクシー券のようなものがあるとよいのでは。
地域の「足」として現在運行されている「たてしなスマイル交通」は交通弱者にとってなくてはならない存在だと思う。立科町も維持改善には努力されていると思うが、より利用者増加につながる対策が必要になってくると思う

32：地域において防災・減災対策が十分に行われている
お年寄りには特に、防災訓練など取り組む必要があると思う。
地すべり地帯の防御。交通安全については皆法定スピード内で運転し良好。歩行者の為の歩道設置が必要。芦田川の豪雨等の対策が必要と思う。
特に冬場の降雪時、道路脇の竹や木がしだれて道をふさいでいることがある。また雪かきの協力があまりなく、いつも雪かきをしている家は決まってくる。皆が住みやすいよう、もっと協力が得られるよう町からも発信していく必要があると思う。
個人ではやっている人もいるが、もしもの時の準備が1人1人しているか心配。自分も大切なのはわかるが、災害の少ない立科なのでいろいろ準備していない。
防災無線の活用をもっと積極的に利用できないものか。防災的なものだけなのか。
十分とは言えないかもしれないが、Jアラート、通信機器を活用した訓練を行ってほしい
消防団員の減少、負担の多さは結果として防災、減災とは反比例してしまうのではないか。

33：地域において防犯対策が十分に行われている
田舎のせいか鍵をしていない家庭が多いと思うので、何か呼び掛け等をした方がいいと思う。
地域で、防犯や防災の対策が、将来も維持できるように町民だけではなく、町で営業している店舗の社員さんなどにも協力して頂けたらと思う

34：交通安全の意識が向上している
交通安全に関してもう少し細い道路等、スピードの出しすぎでとても危険を感じます。
安協にも協力している。向上しているのか、良くわからない。
高齢者の交通安全意識対策が必要。

36：町民が安全に情報通信技術を利用できるよう支援されている
山部地域のフレッツ光のインターネットがいつまでも入らない。仕事で情報通信を沢山使うので早くしてほしい。CATVのサービスでは遅くて使いがってが悪い。早急に光インターネットへ整備を町として進めてほしい。
町民が情報通信技術そのものを理解していない。
町内の情報通信網の現状を周知し、光ケーブル等先進的な技術を活用したネットワークを整備し、多面的な活用が求められる(情報の共有化、弱者の安否等)
情報通信技術、パソコン・スマホ等を使えない人もいることを念頭に、従来のアナログ的広報活動も小さくないでほしい。

※「35：消費者保護の対策が進んでいる」には具体的な記述がなかった。

⑤ 基本目標 5 : 地域の力で活力あふれるまちづくり

(住民協働・町政情報・広域連携・行財政)

基本目標 5 : 「地域の力で活力あふれるまちづくり」の施策と調査項目 (設問) は以下のとおりである。

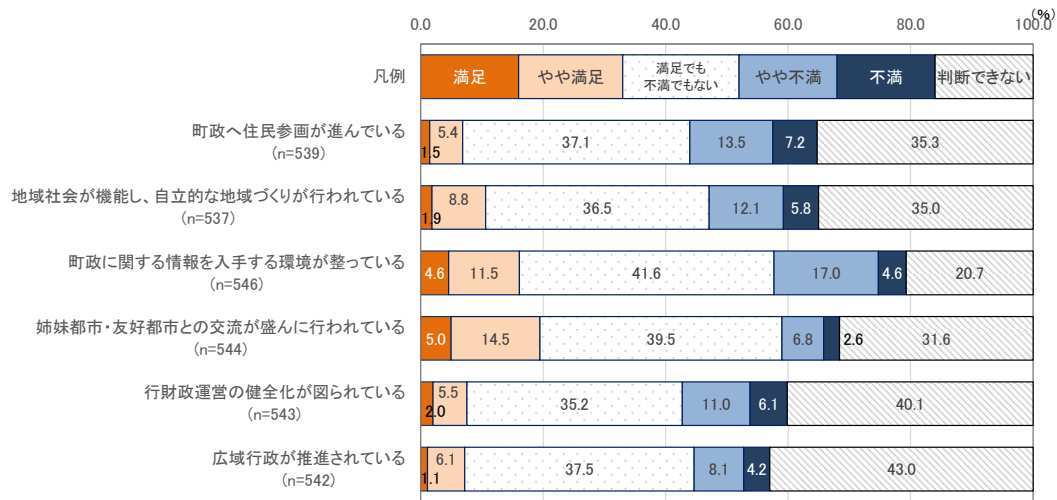
基本目標	町の環境・体制	設問
地域の力で活力あふれるまちづくり	1 協働のまちづくりの促進	町政へ住民参画が進んでいる
	2 地域コミュニティ活動の促進・支援	地域社会が機能し、自立的な地域づくりが行われている
	3 行政の透明化	町政に関する情報を入手する環境が整っている
	4 地域間交流・連携の推進	姉妹都市・友好都市との交流が盛んに行われている
		広域行政が推進されている
	5 計画的・効率的・効果的な行政運営	行財政運営の健全化が図られている
6 健全で持続可能な財政運営		

(ア) 度数分布による分析

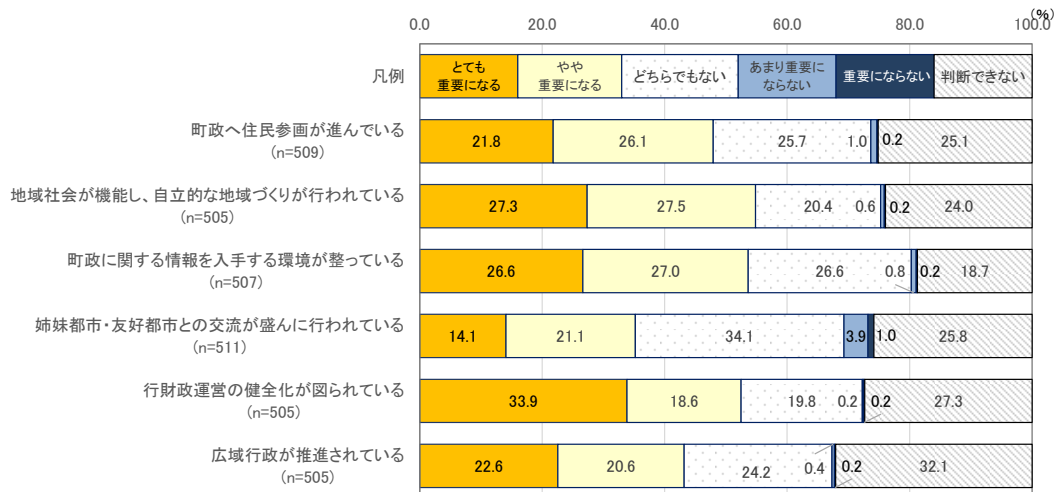
1) 町の環境・体制に対する満足度と今後の重要度（全回答者）

- ・町の環境・体制の満足度では、どの項目も満足度が20%に満たない。
- ・今後の重要度では、「姉妹都市・友好都市との交流が盛んに行われている」以外の項目で高くなっている。
- ・満足度、今後の重要度どちらも「わからない」の割合が高くなっており、住民の関心や理解が低い分野となっている。

図表 63 **満足度** 地域ので活力あふれるまちづくり
(住民協働・町政情報・広域連携・行財政)



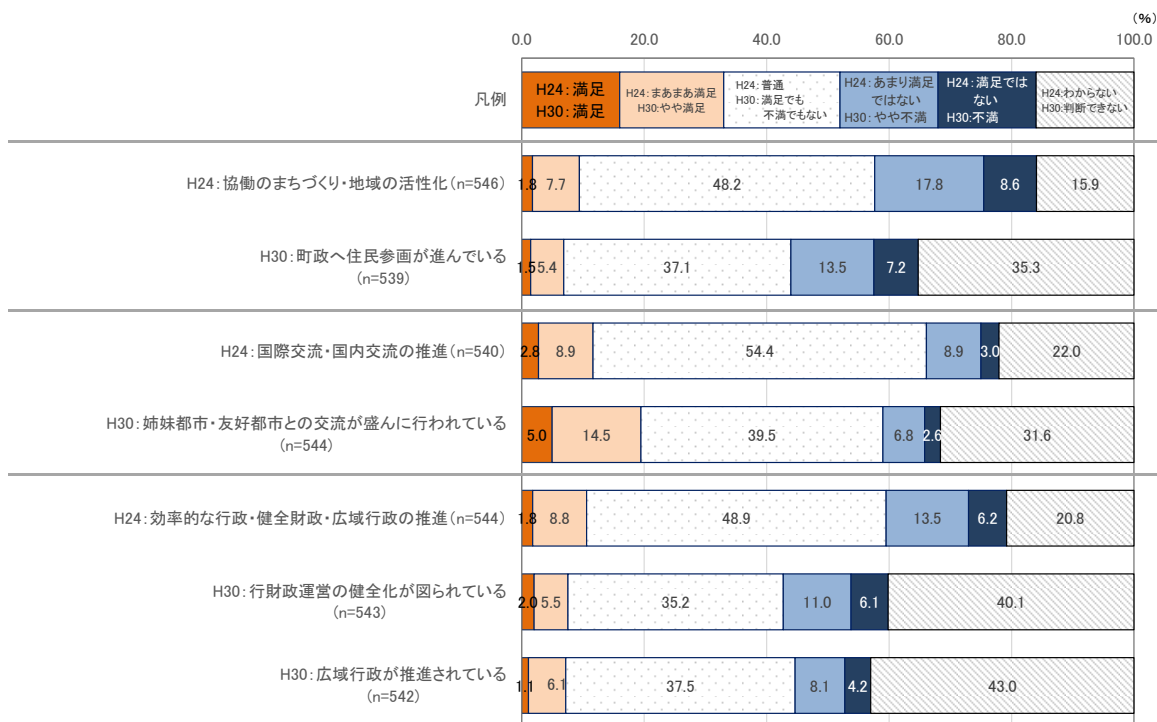
図表 64 **今後の重要度** 地域ので活力あふれるまちづくり
(住民協働・町政情報・広域連携・行財政)



2) 平成 24 年度調査との比較

- ・平成 24 年度調査と比較すると「姉妹都市・友好都市との交流が盛んに行われている」の満足度が上昇している。
- ・その他の項目は、満足度は低いものの、不満の割合は低下している。

図表 65 「地域の力で活力あふれるまちづくり」分野における平成 24 年度調査結果との比較



(イ) 平均点による分析

- ・満足度の平均点をみると、「姉妹都市・友好都市との交流が盛んに行われている」は 3.00 を超えているが、その他の項目は、3.00 未満である。
- ・今後の重要度では、「行財政の健全化が図られている」以外の項目で平均点が 4.15 未満となっている。

図表 66 満足度と重要度 住みたい・住み続けたい住民主体のまちづくり

番号	項目	現在の満足度			今後の重要度		
		合計回答数	判断できない割合 (%)	平均点	合計回答数	判断できない割合 (%)	平均点
37	町政へ住民参画が進んでいる	539	35.3	2.70	509	25.1	3.91
38	地域社会が機能し、自立的な地域づくりが行われている	537	35.0	2.83	505	24.0	4.07
39	町政に関する情報を入手する環境が整っている	546	20.7	2.93	507	18.7	3.97
40	姉妹都市・友好都市との交流が盛んに行われている	544	31.6	3.18	511	25.8	3.59
41	行財政運営の健全化が図られている	543	40.1	2.77	505	27.3	4.18
42	広域行政が推進されている	542	43.0	2.85	505	32.1	3.96

(ウ) (評価低い項目のみ) 評価が低い理由

37: 町政へ住民参画が進んでいる
一部の人達だけで行われているような気がする。個人的に参加したくても情報が来ない。
皆関心がないと思う。何も変化がないから。
町長、議会の”密室” ”独裁” 的な印象がある。(2020、ウガンダ誘致やクロスカントリーコースの造設など。いつ決定したのか、ほとんどの町民が知らなかったのでは)
町民の意見を取り入れてこそ町政、町議会だと思うのだが
議員の意向であって町民の意向でないことが多いように感じる。体質が古い
町民の声を聞く、というスローガンを掲げていたはず。話を聞く機会は設けたかもしれないが実際町民の声が町政に反映することは少なかったような気がする。結果的に無視されたことがらもある。
若者の参画が進んでいない。

38: 地域社会が機能し、自立的な地域づくりが行われている
当区では役員の持ち回りが仕事をしている者にとっては大変きつい。仕事を犠牲にしてまでやらなければならないのか。役員の押し付け合いが激しい部分もあり、ここに住みたいと思わなくなる時がある。
若年層の関心が全くない。
自立の意識が低い。行政依存。
役場が余計なことをやりすぎる。自主自立の教育をするべき。
地域がそれぞれになり同じ方向を向いていない
若い人が減り、活躍していた年代が高齢となっていく中で、地区の係決めが大変と感じる。積極的なことはよいと思うが、将来を見据えて慎重に決定し、進めるのが良い。思い切った見直しや統合改善も良い。古いものは切り捨てる、なども。地域集落の統合もありか。
小さい町なので、全員参加型の恒例の業事が必要。区・部落ごとのみこし競い合い等。
町政や自立に対する意識が鈍感。
4年に一度の運動会が地域の負担が多すぎる

39: 町政に関する情報を入手する環境が整っている
広報だけでは不十分だと思う。ホームページも見ようとする人の目にしか頼れない。
重要な内容と思われる事は文章に限定せず各地区等で直接説明するなどの工夫を。
小学校のポプラの木の件のように、情報公開が遅く、議論が手遅れといったような案件がある。
ケーブルテレビでみる以外の方法を知らない
関心がないというか町政について情報を入手しづらいように思う、町も詳しく知らせたくはないのでしょうか
行政チャンネル(11ch)の活用が不十分と感じる(知りたい情報が流れていない)
いろいろな環境を作っただけでも、その存在を町民が知れていないこと、参加する人が限られる。
知ろうとしないと手に入られない情報は、不勉強と思われるだろうが、日々の生活に追われている者にとっては無いに等しい。わからない、知らない事。知る余裕が無い人も居る事を考えてほしい。
町政、行財政が1人歩きをしている。町や町政が広報や有線、テレビ、ネットで知るのみで対話がない。
約5年間、佐久市に在住したが、立科町の話入手できなかった。町外への発信も必要

40：姉妹都市・友好都市との交流が盛んに行われている
姉妹都市、友好都市との交流をすることで、町へ還元されることがよく分からない。そのために税金が使われているが、そのメリットが分からない。
1部の人だけで活動しているように見受けられる
姉妹都市や友好都市との交流ですが、最近増えてきて良い事だと思います。もっと交流して立科町をアピールしてほしい
交流して実際の程度町民に好影響があるのか疑問。今現在、予算かけてやりすぎなイメージがある
姉妹都市の人は立科に来るとき町から補助が出て立科町の人も友好都市へ行く宿泊補助などがあると役職者やある一定の人だけでもない人が興味をもつと思う。
外国・他県との異文化交流はよいことと思うが、夏休み、児童館への入館を拒否された経験がある。他者を受け入れられない地域性が、根強く残っていると感じた。数年前のことであるが、それ以来冷めた気持ちで広報などを見ている。
姉妹都市や友好都市との交流をもっと盛んに
友好都市との交流の利点がわからない
1部の人間しか交流されていない
遠くの市との交流に多額の税金を使うより、もっと他に町内のことに充実してほしいことがある。

41：行財政運営の健全化が図られている
何事も前例がないと片づけてしまう役所の姿勢は直してもらいたい。もっと町民目線で、前例は作るものですから、役場の人の一生懸命な姿が見えてくるようにしてもらいたい。
4年前より行政の運営が悪くなったと感じる。立科町の単独では運営できないゴミ処分など近隣行政とうまく連携できているのか
健全化が図られていない。無駄な投資が散見される。
ある物を使うのはだれでも出来る。増す事が必要である。
実質公債比率は問題ないが、自主財源比率の低下や財産区の運営に、将来的に不安を隠せない。国や県からの交付税にも限界があることから、環境・衛生・医療の点から広域行政連携がさらに重要。
職員の公務員としての意識をもってほしいと思いました。報道されるような案件は論外です。
少子高齢化および人口減少状況で町財政が減少する中、町自立の選択のままで良いのだろうか。情緒だけに流されず現実を踏まえ身の程に見合った行政運営にしぼり込む計画性を持つべきだろう。

42：広域行政が推進されている
人事は広域ですべき。そうすればプロを養成できる。
他市町村や県外とのつながりをあまり感じないため。
佐久広域等と連携すれば競争意識、相乗効果が増し得られるものも多い事項があるのでは
実質公債比率は問題ないが、自主財源比率の低下や財産区の運営に、将来的に不安を隠せない。国や県からの交付税にも限界があることから、環境・衛生・医療の点から広域行政連携がさらに重要。
立科町の市町村合併も視野に入れたらと考える。

(エ)力を入れるべきと考えること

37：町政へ住民参画が進んでいる
町民誰でもこうしたら良いのでは…等の意見を持っていると思うので、その声を聞こうとする努力も必要と思う。町民が参画できるような町政になってほしい。
町民の生の声を拾ってほしい
役場と町民の対話がない。町会議員だけの会議に片寄、町民の意見を聞く機会がない。会議は、政党の為に動いているような人々が見受けられる。
町長の交代などで各セクションの方針がその都度変わってしまっは長期的なビジョンなど持てないと思う。住民からも代表やオブザーバーを立て、長期的に住民の意志を反映できるよう変えていってほしい。
町職員も町民との対話を増す。町議員も対等で謙虚な態度で町民に接する。町民との隔たりをなくす。
何事も役所頼みではなく、住民1人1人が自分自身の問題として考え行動する。昔の人はそうやっていろいろな苦難を乗り越えてきたと思うから。

38：地域社会が機能し、自立的な地域づくりが行われている
これをやりたい、と手を挙げた住民が町からそのためのお金をもらえる仕組み、元気づくり支援金みたいに半分とかでなく全額とか。町がやることはインフラ整備だけで良い。
今後町の行事の参加者をつのるのは難しくなっていくと思われます。特に文化体育部員の負担は大変です。どうしてそうなるのか深く考える必要がある。
町の独自の行政、教育、文化などは地域社会を活性化させ、ひいては人を呼ぶ魅力ある町作りに役立つと思う。
取り組み対象が近視眼ではだめ。ゴミひろい、花植、弱者のお世話、これは重要ではあるがこれだけでは将来の展望も希望も生まれぬ。将来の農業、林業、集落をどうするか徹底議論すべき。
独立していくために、自分達が地域を作る意識が大切。
各種の共同イベントに参加する事を通じて、地域の人々がかかわり合いを持つ様にする。
地域社会のPRがない。町のホームページも古すぎて内容がない。もっと見て楽しくなるような発信が必要。
町行政にすべてを任せるのではなくて、住民自ら主体的に自分たちの生活を自立できる様に、参画していく意識改革が必要だと思ふ。
逆の意味で、あまり推進すると若い人や移住者は敬遠します。私も住み始め当初は嫌でした。

39：町政に関する情報を入手する環境が整っている
色々と企画立案されていると思いますが自身が接する時間、必要性もないのか、伝わって来ない。行政に頼るだけでなく各地域内での取組みも大切ですし、取組みの必要性も感じます。
「Facebook」や「Twitter」は活用すべきだと思う
情報発信の仕方をもうすこし考えていただきたい
情報量が少なく日頃仕事をしていると全然わからない。
立科町の今を知るためには、広報たてしなや議会だよりは全町民へ向けた大切な情報機関紙だと思う。それと同時に各世代にむけたおいしい食事場所とか運動できる場所、リフレッシュできる場所などの生活情報誌等もあったら良いと思う
お年寄りも多く、SNSだと若者向けになるので、立科ケーブルや広報誌、回覧板で多くの情報を知らせてほしいです。

41：行財政運営の健全化が図られている
人口減少や財源確保が厳しくなる中、優先順位をつけ、投資すべき項目を絞り、将来を見据えた行政運営が求められる。
実質公債比率は問題ないが、自主財源比率の低下や財産区の運営に、将来的に不安を隠せない。国や県からの交付税にも限界があることから、環境・衛生・医療の点から広域行政連携がさらに重要。
行財政運営について、もっと多くの方に知ってもらうべき。
町民が町政に関してどのように考えているかのこうした意識調査を続け、結果を公表していくこと。
何をするにも、財政が健全に保たれていないといけないので、不採算事業や部門を減らす努力が必要。
町職員のレベルアップ、モラルアップ、人材育成が町の行政の質を上げるために不可欠だと思う。
財政が健全でないなら佐久市になっても仕方ない。

42：広域行政が推進されている
立科町単独で体制や環境を整えるのは限りがある。近隣市町村との共同連携を模索することも必要
交通機関の不便さは、広域でもっと検討すべきではないか
立科町単独での行政は近い将来限界が来るのではないか
実質公債比率は問題ないが、自主財源比率の低下や財産区の運営に、将来的に不安を隠せない。国や県からの交付税にも限界があることから、環境・衛生・医療の点から広域行政連携がさらに重要。
将来的にしりつぼみから限界に至るかもしれないことも想定して、隣接市町との広域行政との再合併とした提案も考えるべきだ

4. 施策全体の分析

(1) 回答者の満足度と重要度の分析

次の図は、項目ごとの各施策の満足度（横軸）と重要度（縦軸）の平均点を散布図にしたものである。

全ての項目の今後の重要度の平均点は 4.15 であった。この重要度の平均点と満足度の中間点 3.00 によって各項目を 10 ページに示した 4 つのグループに分類した。

- ・満足度が平均点未満、重要度が平均点以上である「②重点課題」に 12 項目が該当した。
- ・基本目標 1：健やかに、いつまでも地域で暮らせるまちづくりに含まれる項目が多く該当している。
「1：年代に応じて健康づくりに取り組みやすい環境が整っている」「2：安心して妊娠・出産・育児ができる体制が整っている」「3：安心して暮らせる地域医療体制が整っている」「5：高齢者が生きがいを感じ、暮らしていける環境が整っている」「6：質の高い介護サービスが受けられる」「7：障がい者が安心して生活していける環境が整っている」「8：社会保障・医療費助成が充実している」が該当している。
- ・そのほかには、子育ての「11：子育てに関わる人への支援体制が整っている」、農業振興の「18：次の世代に引き継げるよう農業振興が進んでいる」「19：農業経営の担い手の確保対策が進んでいる」、公共交通の「31：交通弱者に必要な公共交通網が整備されている」や「41：行財政運営の健全化が図られている」が該当している

図表 67 満足度と重要度（全回答者）（再掲）



番号	項目	満足度	今後の重要度
1	年代に応じて健康づくりに取り組みやすい環境が整っている	2.85	4.34
2	安心して妊娠・出産・育児ができる体制が整っている	2.80	4.63
3	安心して暮らせる地域医療体制が整っている	2.56	4.64
4	ご近所において、お互いに支え合える人間関係を築けている	3.32	4.20
5	高齢者が生きがいを感じ、暮らしていける環境が整っている	2.85	4.36
6	質の高い介護サービスが受けられる	2.90	4.54
7	障がい者が安心して生活していける環境が整っている	2.64	4.41
8	社会保障・医療費助成が充実している	2.94	4.54
9	子どもが生きていく力をつけることを目指す「立科教育」が進んでいる	3.01	4.21
10	子どもたちが心身ともに健やかに育つことができる環境が整っている	3.28	4.33
11	子育てに関わる人への支援体制が整っている	2.97	4.35
12	生涯にわたり学習することができる環境が整っている	2.89	3.95
13	人権感覚を高めるための取り組みが充実している	3.08	3.81
14	生涯にわたりスポーツ活動や運動に取り組める環境が整っている	2.91	3.86
15	町民の郷土への理解と愛情を深めるための取り組みが行われている	3.12	3.76
16	町民が文化・芸術活動に参加する環境が整っている	3.03	3.71
17	女性が主体的に社会参画できる環境が整っている	2.97	3.89
18	次の世代に引き継げるよう農業振興が進んでいる	2.37	4.19
19	農業経営の担い手の確保対策が進んでいる	2.20	4.26
20	農地や農業用水路などの生産基盤が適切に管理されている	2.97	4.07
21	町有林が適切に整備されている	2.67	3.94
22	里山など私有林が適切に整備されている	2.40	3.96
23	知人や友人に勧めたい町の特産品がある	3.54	4.17
24	商工業が振興されている	2.67	3.98
25	知人や友人に勧めたい観光地が町内にある	3.44	4.18
26	おいしい水が安定的に供給されている	4.40	4.52
27	移住者が地域に定着できる環境が整っている	2.87	4.14
28	美しい景観が保たれている	3.60	4.24
29	環境に配慮した循環型社会が推進されている	3.00	4.09
30	道路や橋が整備され、適切に維持管理されている	3.09	4.17
31	交通弱者に必要な公共交通網が整備されている	2.67	4.38
32	地域において防災・減災対策が十分に行われている	3.17	4.16
33	地域において防犯対策が十分に行われている	3.01	4.10
34	交通安全の意識が向上している	3.13	4.03
35	消費者保護の対策が進んでいる	2.87	3.89
36	町民が安全に情報通信技術を活用できるよう支援されている	2.69	3.92
37	町政へ住民参画が進んでいる	2.70	3.91
38	地域社会が機能し、自立的な地域づくりが行われている	2.83	4.07
39	町政に関する情報を入手する環境が整っている	2.93	3.97
40	姉妹都市・友好都市との交流が盛んに行われている	3.18	3.59
41	行財政運営の健全化が図られている	2.77	4.18
42	広域行政が推進されている	2.85	3.96
・・・②重要課題に該当する施策		平均点が3.0未満	平均点が4.15以上

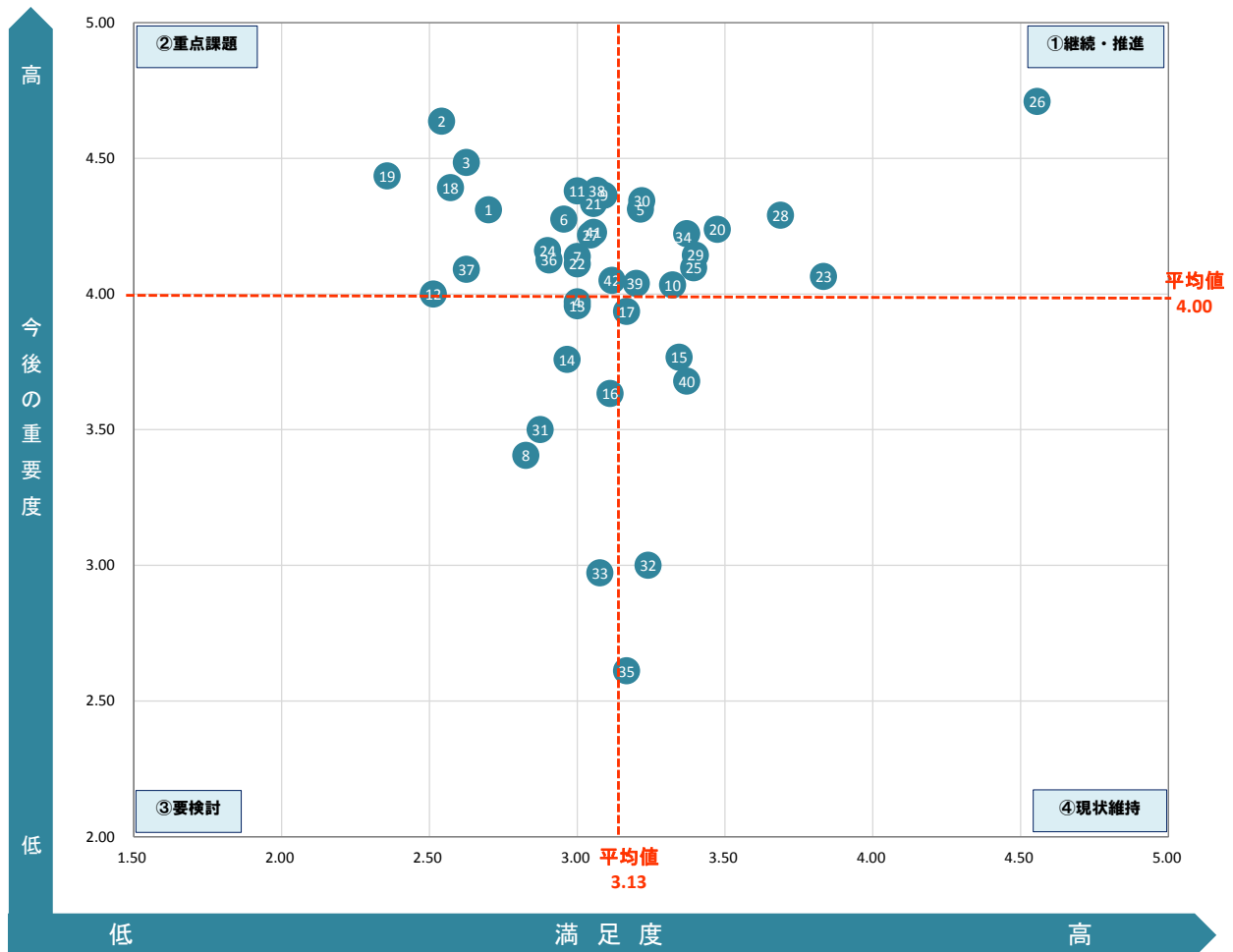
(2) 年代別の傾向

ここでは、満足度と重要度の散布図を年代ごとに示す。

(ア) 18~24歳の満足度と重要度

- ・ 下図は 18~24 歳の回答を示したものである。
- ・ 重要課題に「1：年代に応じて健康づくりに取り組みやすい環境が整っている」「2：安心して妊娠・出産・育児ができる体制が整っている」「3：安心して暮らせる地域医療体制が整っている」「6：質の高い介護サービスが受けられる」「7：障がい者が安心して生活していける環境が整っている」「9：子どもが生きていく力をつけることを目指す「立科教育」が進んでいる」「11：子育てに関わる人への支援体制が整っている」「18：次の世代に引き継げるよう農業振興が進んでいる」「19：農業経営の担い手の確保対策が進んでいる」「21：町有林が適切に整備されている」「22：里山など私有林が適切に整備されている」「24：商工業が振興されている」「27：移住者が地域に定着できる環境が整っている」「37：町民が安全に情報通信技術を活用できるよう支援されている」「38：町政へ住民参画が進んでいる」「38：地域社会が機能し、自立的な地域づくりが行われている」「41：行財政運営の健全化が図られている」「42：広域行政が推進されている」が該当している。

図表 68 【18~24歳】満足度と重要度

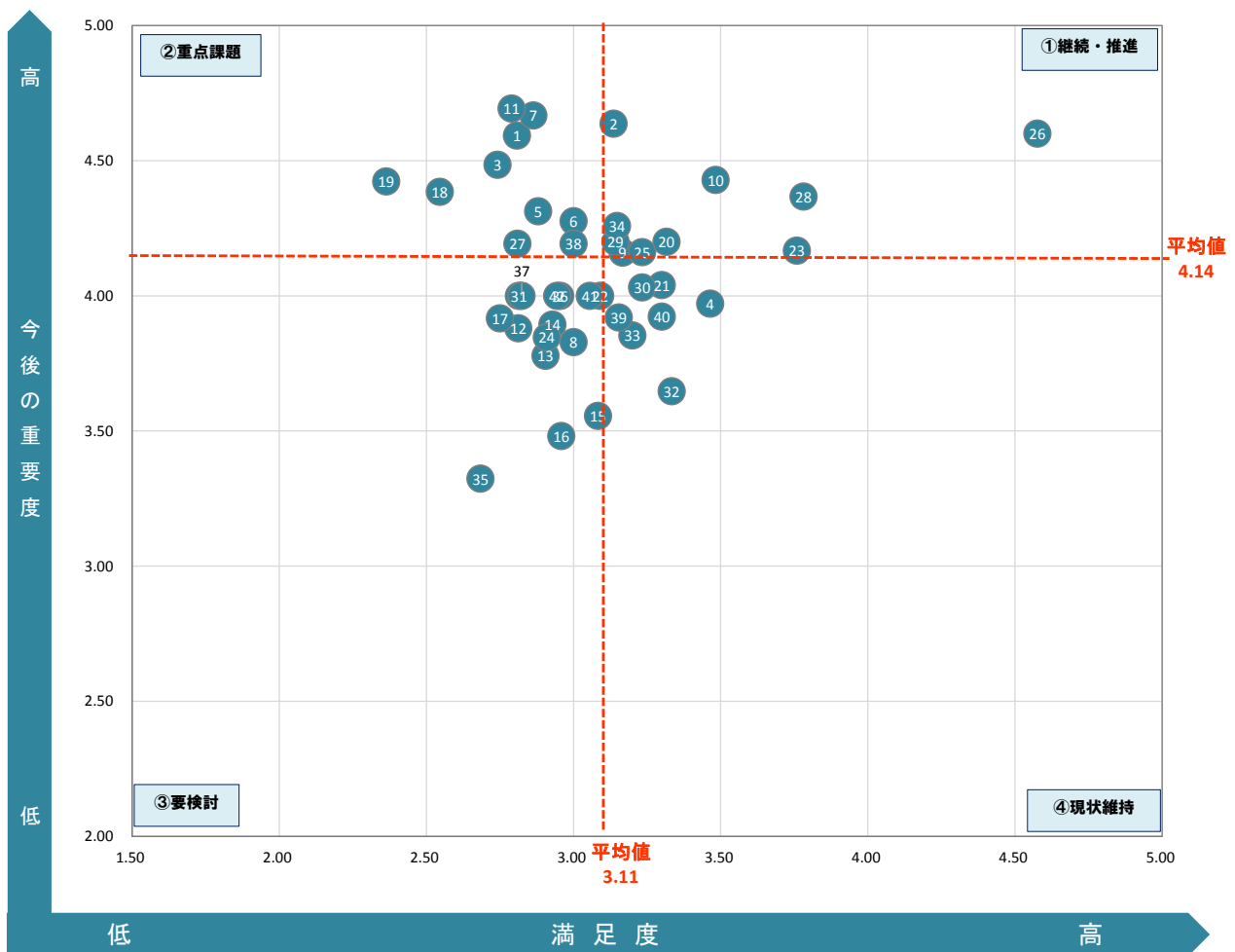


番号	項目	満足度	今後の重要度
1	年代に応じて健康づくりに取り組みやすい環境が整っている	2.70	4.31
2	安心して妊娠・出産・育児ができる体制が整っている	2.54	4.64
3	安心して暮らせる地域医療体制が整っている	2.63	4.48
4	ご近所において、お互いに支え合える人間関係を築けている	3.00	3.97
5	高齢者が生きがいを感じ、暮らしていける環境が整っている	3.21	4.31
6	質の高い介護サービスが受けられる	2.95	4.28
7	障がい者が安心して生活していける環境が整っている	3.00	4.14
8	社会保障・医療費助成が充実している	2.83	3.41
9	子どもが生きていく力をつけることを目指す「立科教育」が進んでいる	3.09	4.36
10	子どもたちが心身ともに健やかに育つことができる環境が整っている	3.32	4.03
11	子育てに関わる人への支援体制が整っている	3.00	4.38
12	生涯にわたり学習することができる環境が整っている	2.51	4.00
13	人権感覚を高めるための取り組みが充実している	3.00	3.96
14	生涯にわたりスポーツ活動や運動に取り組める環境が整っている	2.97	3.76
15	町民の郷土への理解と愛情を深めるための取り組みが行われている	3.34	3.77
16	町民が文化・芸術活動に参加する環境が整っている	3.11	3.63
17	女性が主体的に社会参画できる環境が整っている	3.17	3.94
18	次の世代に引き継げるよう農業振興が進んでいる	2.57	4.39
19	農業経営の担い手の確保対策が進んでいる	2.36	4.43
20	農地や農業用水路などの生産基盤が適切に管理されている	3.47	4.24
21	町有林が適切に整備されている	3.06	4.33
22	里山など私有林が適切に整備されている	3.00	4.11
23	知人や友人に勧めたい町の特産品がある	3.83	4.06
24	商工業が振興されている	2.90	4.16
25	知人や友人に勧めたい観光地が町内にある	3.39	4.10
26	おいしい水が安定的に供給されている	4.56	4.71
27	移住者が地域に定着できる環境が整っている	3.05	4.22
28	美しい景観が保たれている	3.69	4.29
29	環境に配慮した循環型社会が推進されている	3.40	4.14
30	道路や橋が整備され、適切に維持管理されている	3.22	4.34
31	交通弱者に必要な公共交通網が整備されている	2.88	3.50
32	地域において防災・減災対策が十分に行われている	3.24	3.00
33	地域において防犯対策が十分に行われている	3.08	2.97
34	交通安全の意識が向上している	3.37	4.22
35	消費者保護の対策が進んでいる	3.17	2.61
36	町民が安全に情報通信技術を活用できるよう支援されている	2.90	4.13
37	町政へ住民参画が進んでいる	2.63	4.09
38	地域社会が機能し、自立的な地域づくりが行われている	3.07	4.38
39	町政に関する情報を入手する環境が整っている	3.20	4.04
40	姉妹都市・友好都市との交流が盛んに行われている	3.37	3.68
41	行財政運営の健全化が図られている	3.06	4.23
42	広域行政が推進されている	3.12	4.05
・・・②重要課題に該当する施策		全体の平均点未満	全体の平均点以上

(イ)25~29 歳の満足度と重要度

- 25~29 歳の回答を示す。
- 重要課題に「1：年代に応じて健康づくりに取り組みやすい環境が整っている」「3：安心して暮らせる地域医療体制が整っている」「5：高齢者が生きがいを感じ、暮らしていける環境が整っている」「6：質の高い介護サービスが受けられる」「7：障がい者が安心して生活していける環境が整っている」「11：子育てに関わる人への支援体制が整っている」「18：次の世代に引き継げるよう農業振興が進んでいる」「19：農業経営の担い手の確保対策が進んでいる」「27：移住者が地域に定着できる環境が整っている」「38：地域社会が機能し、自立的な地域づくりが行われている」が該当している。

図表 69 【25~29 歳】満足度と重要度

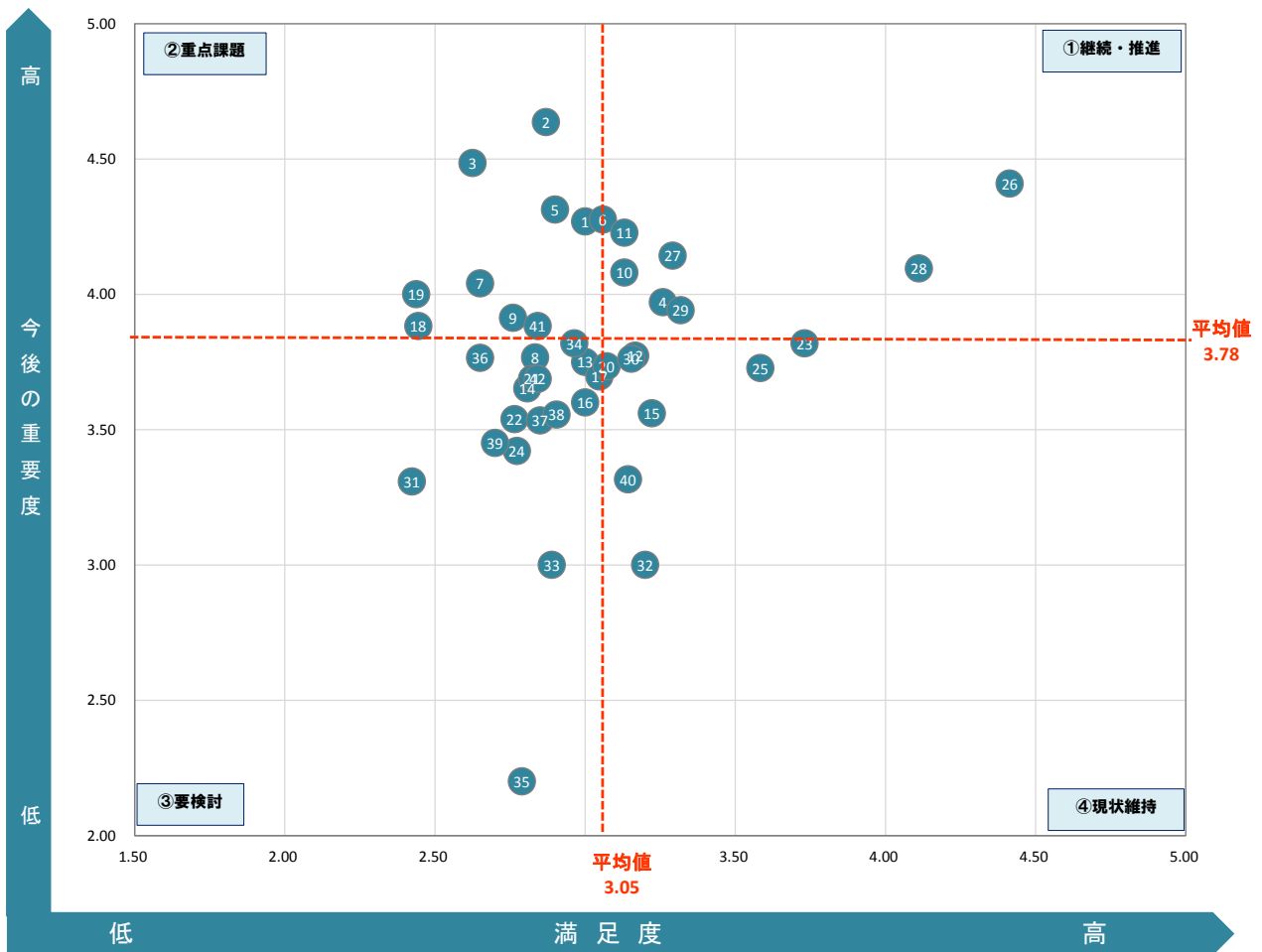


番号	項目	満足度	今後の重要度
1	年代に応じて健康づくりに取り組みやすい環境が整っている	2.81	4.59
2	安心して妊娠・出産・育児ができる体制が整っている	3.14	4.64
3	安心して暮らせる地域医療体制が整っている	2.74	4.48
4	ご近所において、お互いに支え合える人間関係を築けている	3.46	3.97
5	高齢者が生きがいを感じ、暮らしていける環境が整っている	2.88	4.31
6	質の高い介護サービスが受けられる	3.00	4.28
7	障がい者が安心して生活していける環境が整っている	2.86	4.67
8	社会保障・医療費助成が充実している	3.00	3.83
9	子どもが生きていく力をつけることを目指す「立科教育」が進んでいる	3.17	4.16
10	子どもたちが心身ともに健やかに育つことができる環境が整っている	3.48	4.43
11	子育てに関わる人への支援体制が整っている	2.79	4.69
12	生涯にわたり学習することができる環境が整っている	2.81	3.88
13	人権感覚を高めるための取り組みが充実している	2.90	3.78
14	生涯にわたりスポーツ活動や運動に取り組める環境が整っている	2.93	3.89
15	町民の郷土への理解と愛情を深めるための取り組みが行われている	3.08	3.56
16	町民が文化・芸術活動に参加する環境が整っている	2.96	3.48
17	女性が主体的に社会参画できる環境が整っている	2.75	3.92
18	次の世代に引き継げるよう農業振興が進んでいる	2.55	4.38
19	農業経営の担い手の確保対策が進んでいる	2.36	4.42
20	農地や農業用水路などの生産基盤が適切に管理されている	3.32	4.20
21	町有林が適切に整備されている	3.30	4.04
22	里山など私有林が適切に整備されている	3.09	4.00
23	知人や友人に勧めたい町の特産品がある	3.76	4.17
24	商工業が振興されている	2.91	3.85
25	知人や友人に勧めたい観光地が町内にある	3.23	4.16
26	おいしい水が安定的に供給されている	4.58	4.60
27	移住者が地域に定着できる環境が整っている	2.81	4.19
28	美しい景観が保たれている	3.78	4.37
29	環境に配慮した循環型社会が推進されている	3.14	4.20
30	道路や橋が整備され、適切に維持管理されている	3.23	4.03
31	交通弱者に必要な公共交通網が整備されている	2.81	4.00
32	地域において防災・減災対策が十分に行われている	3.33	3.65
33	地域において防犯対策が十分に行われている	3.20	3.85
34	交通安全の意識が向上している	3.15	4.26
35	消費者保護の対策が進んでいる	2.68	3.32
36	町民が安全に情報通信技術を利活用できるよう支援されている	2.95	4.00
37	町政へ住民参画が進んでいる	2.82	4.00
38	地域社会が機能し、自立的な地域づくりが行われている	3.00	4.19
39	町政に関する情報を入手する環境が整っている	3.15	3.92
40	姉妹都市・友好都市との交流が盛んに行われている	3.30	3.92
41	行財政運営の健全化が図られている	3.06	4.00
42	広域行政が推進されている	2.94	4.00
・・・②重要課題に該当する施策		全体の平均点未満	全体の平均点以上

(ウ)30～34 歳の満足度と重要度

- 30～34 歳の回答を示す。
- 重要課題に「1：年代に応じて健康づくりに取り組みやすい環境が整っている」「2：安心して妊娠・出産・育児ができる体制が整っている」「3：安心して暮らせる地域医療体制が整っている」「5：高齢者が生きがいを感じ、暮らしていける環境が整っている」「6：質の高い介護サービスが受けられる」「7：障がい者が安心して生活していける環境が整っている」「18：次の世代に引き継げるよう農業振興が進んでいる」「19：農業経営の担い手の確保対策が進んでいる」「34：交通安全の意識が向上している」「41：行財政運営の健全化が図られている」が該当している。

図表 70 【30～34 歳】満足度と重要度



番号	項目	満足度	今後の重要度
1	年代に応じて健康づくりに取り組みやすい環境が整っている	3.00	4.27
2	安心して妊娠・出産・育児ができる体制が整っている	2.87	4.64
3	安心して暮らせる地域医療体制が整っている	2.63	4.48
4	ご近所において、お互いに支え合える人間関係を築けている	3.26	3.97
5	高齢者が生きがいを感じ、暮らしていける環境が整っている	2.90	4.31
6	質の高い介護サービスが受けられる	3.06	4.28
7	障がい者が安心して生活していける環境が整っている	2.65	4.04
8	社会保障・医療費助成が充実している	2.83	3.77
9	子どもが生きていく力をつけることを目指す「立科教育」が進んでいる	2.76	3.91
10	子どもたちが心身ともに健やかに育つことができる環境が整っている	3.13	4.08
11	子育てに関わる人への支援体制が整っている	3.13	4.23
12	生涯にわたり学習することができる環境が整っている	3.17	3.77
13	人権感覚を高めるための取り組みが充実している	3.00	3.75
14	生涯にわたりスポーツ活動や運動に取り組める環境が整っている	2.81	3.65
15	町民の郷土への理解と愛情を深めるための取り組みが行われている	3.22	3.56
16	町民が文化・芸術活動に参加する環境が整っている	3.00	3.60
17	女性が主体的に社会参画できる環境が整っている	3.05	3.70
18	次の世代に引き継げるよう農業振興が進んでいる	2.44	3.88
19	農業経営の担い手の確保対策が進んでいる	2.44	4.00
20	農地や農業用水路などの生産基盤が適切に管理されている	3.07	3.73
21	町有林が適切に整備されている	2.82	3.69
22	里山など私有林が適切に整備されている	2.76	3.54
23	知人や友人に勧めたい町の特産品がある	3.73	3.82
24	商工業が振興されている	2.77	3.42
25	知人や友人に勧めたい観光地が町内にある	3.58	3.73
26	おいしい水が安定的に供給されている	4.41	4.41
27	移住者が地域に定着できる環境が整っている	3.29	4.14
28	美しい景観が保たれている	4.11	4.10
29	環境に配慮した循環型社会が推進されている	3.32	3.94
30	道路や橋が整備され、適切に維持管理されている	3.15	3.76
31	交通弱者に必要な公共交通網が整備されている	2.42	3.31
32	地域において防災・減災対策が十分に行われている	3.20	3.00
33	地域において防犯対策が十分に行われている	2.89	3.00
34	交通安全の意識が向上している	2.96	3.82
35	消費者保護の対策が進んでいる	2.79	2.20
36	町民が安全に情報通信技術を活用できるよう支援されている	2.65	3.76
37	町政へ住民参画が進んでいる	2.85	3.53
38	地域社会が機能し、自立的な地域づくりが行われている	2.90	3.56
39	町政に関する情報を入手する環境が整っている	2.70	3.45
40	姉妹都市・友好都市との交流が盛んに行われている	3.14	3.32
41	行財政運営の健全化が図られている	2.84	3.88
42	広域行政が推進されている	2.84	3.69

…②重要課題に該当する施策

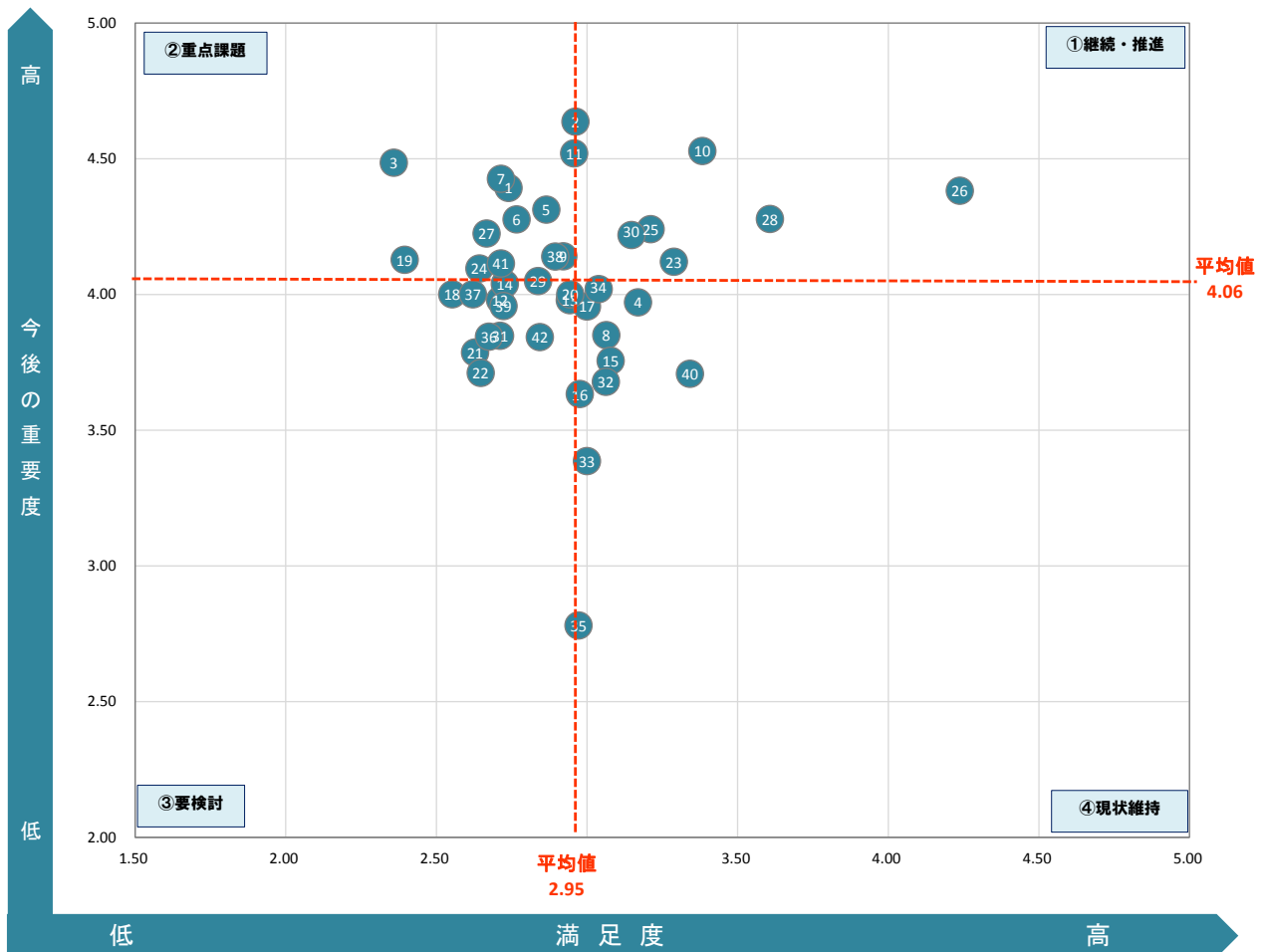
全体の平均点未満

全体の平均点以上

(エ)35～39 歳の満足度と重要度

- 35～39 歳の回答を示す。
- 重要課題に「1：年代に応じて健康づくりに取り組みやすい環境が整っている」「3：安心して暮らせる地域医療体制が整っている」「5：高齢者が生きがいを感じ、暮らしていける環境が整っている」「6：質の高い介護サービスが受けられる」「7：障がい者が安心して生活していける環境が整っている」「9：子どもが生きていく力をつけることを目指す「立科教育」が進んでいる」「19：農業経営の担い手の確保対策が進んでいる」「38：地域社会が機能し、自立的な地域づくりが行われている」「41：行財政運営の健全化が図られている」が該当している。

図表 71 【35～39 歳】満足度と重要度

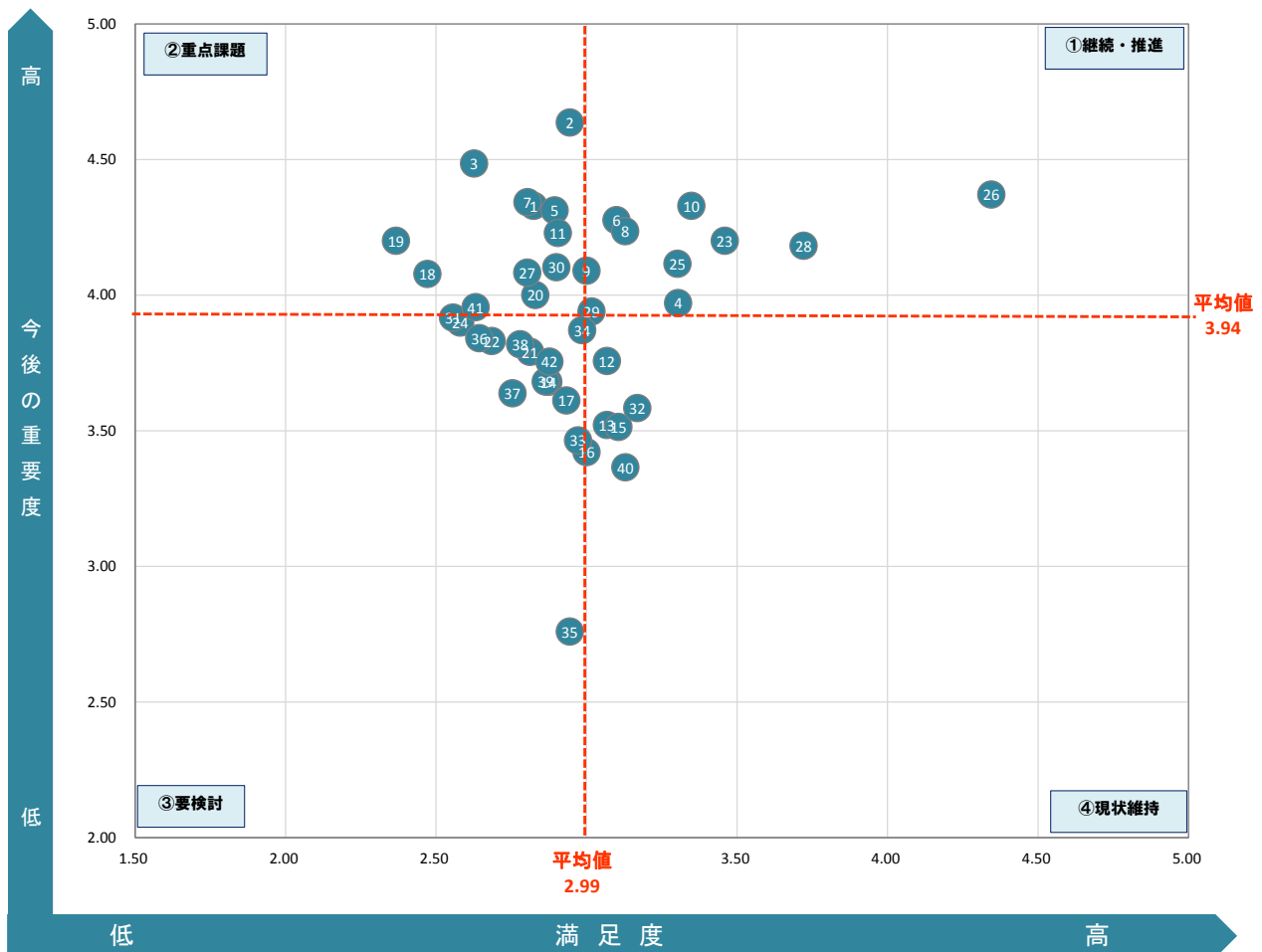


番号	項目	満足度	今後の重要度
1	年代に応じて健康づくりに取り組みやすい環境が整っている	2.74	4.39
2	安心して妊娠・出産・育児ができる体制が整っている	2.96	4.64
3	安心して暮らせる地域医療体制が整っている	2.36	4.48
4	ご近所において、お互いに支え合える人間関係を築けている	3.17	3.97
5	高齢者が生きがいを感じ、暮らしていける環境が整っている	2.86	4.31
6	質の高い介護サービスが受けられる	2.77	4.28
7	障がい者が安心して生活していける環境が整っている	2.71	4.43
8	社会保障・医療費助成が充実している	3.06	3.85
9	子どもが生きていく力をつけることを目指す「立科教育」が進んでいる	2.92	4.14
10	子どもたちが心身ともに健やかに育つことができる環境が整っている	3.38	4.53
11	子育てに関わる人への支援体制が整っている	2.96	4.52
12	生涯にわたり学習することができる環境が整っている	2.71	3.98
13	人権感覚を高めるための取り組みが充実している	2.94	3.98
14	生涯にわたりスポーツ活動や運動に取り組める環境が整っている	2.73	4.04
15	町民の郷土への理解と愛情を深めるための取り組みが行われている	3.08	3.76
16	町民が文化・芸術活動に参加する環境が整っている	2.98	3.63
17	女性が主体的に社会参画できる環境が整っている	3.00	3.96
18	次の世代に引き継げるよう農業振興が進んでいる	2.55	4.00
19	農業経営の担い手の確保対策が進んでいる	2.39	4.13
20	農地や農業用水路などの生産基盤が適切に管理されている	2.94	4.00
21	町有林が適切に整備されている	2.63	3.79
22	里山など私有林が適切に整備されている	2.65	3.71
23	知人や友人に勧めたい町の特産品がある	3.29	4.12
24	商工業が振興されている	2.64	4.10
25	知人や友人に勧めたい観光地が町内にある	3.21	4.24
26	おいしい水が安定的に供給されている	4.24	4.38
27	移住者が地域に定着できる環境が整っている	2.67	4.22
28	美しい景観が保たれている	3.61	4.28
29	環境に配慮した循環型社会が推進されている	2.84	4.05
30	道路や橋が整備され、適切に維持管理されている	3.15	4.22
31	交通弱者に必要な公共交通網が整備されている	2.71	3.85
32	地域において防災・減災対策が十分に行われている	3.06	3.68
33	地域において防犯対策が十分に行われている	3.00	3.39
34	交通安全の意識が向上している	3.04	4.02
35	消費者保護の対策が進んでいる	2.97	2.78
36	町民が安全に情報通信技術を活用できるよう支援されている	2.68	3.84
37	町政へ住民参画が進んでいる	2.62	4.00
38	地域社会が機能し、自立的な地域づくりが行われている	2.89	4.14
39	町政に関する情報を入手する環境が整っている	2.72	3.96
40	姉妹都市・友好都市との交流が盛んに行われている	3.34	3.71
41	行財政運営の健全化が図られている	2.71	4.11
42	広域行政が推進されている	2.84	3.84
・・・②重要課題に該当する施策		全体の平均点未満	全体の平均点以上

(オ)40 歳代の満足度と重要度

- ・ 40 歳代の回答を下図に示す。
- ・ 重要課題に「1：年代に応じて健康づくりに取り組みやすい環境が整っている」「2：安心して妊娠・出産・育児ができる体制が整っている」「3：安心して暮らせる地域医療体制が整っている」「5：高齢者が生きがいを感じ、暮らしていける環境が整っている」「7：障がい者が安心して生活していける環境が整っている」「11：子育てに関わる人への支援体制が整っている」「18：次の世代に引き継げるよう農業振興が進んでいる」「19：農業経営の担い手の確保対策が進んでいる」「20：農地や農業用水路などの生産基盤が適切に管理されている」「27：移住者が地域に定着できる環境が整っている」「30：道路や橋が整備され、適切に維持管理されている」「41：行財政運営の健全化が図られている」が該当している。

図表 72 【40 歳代】満足度と重要度

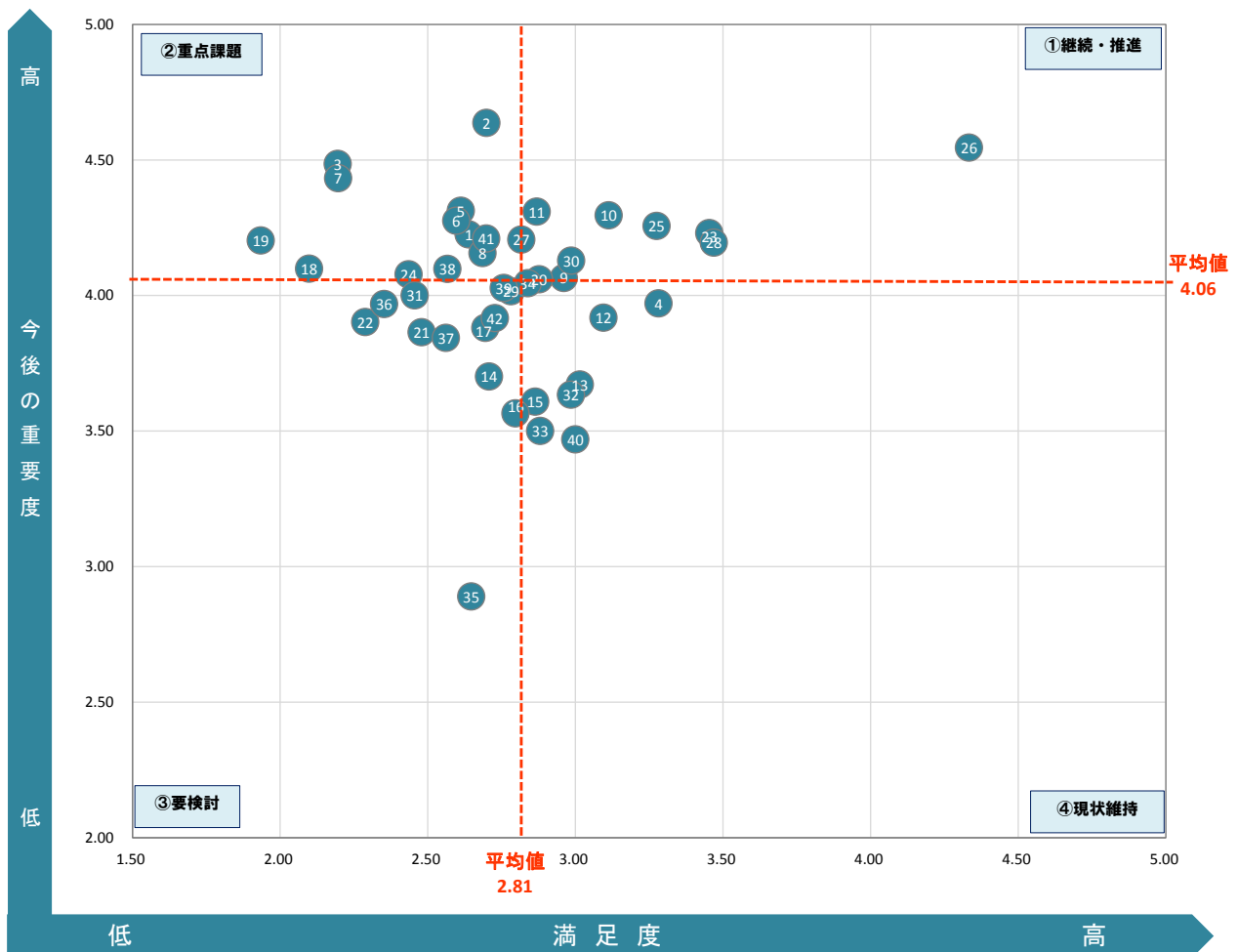


番号	項目	満足度	今後の重要度
1	年代に応じて健康づくりに取り組みやすい環境が整っている	2.82	4.33
2	安心して妊娠・出産・育児ができる体制が整っている	2.94	4.64
3	安心して暮らせる地域医療体制が整っている	2.63	4.48
4	ご近所において、お互いに支え合える人間関係を築けている	3.30	3.97
5	高齢者が生きがいを感じ、暮らしていける環境が整っている	2.89	4.31
6	質の高い介護サービスが受けられる	3.10	4.28
7	障がい者が安心して生活していける環境が整っている	2.80	4.34
8	社会保障・医療費助成が充実している	3.13	4.24
9	子どもが生きていく力をつけることを目指す「立科教育」が進んでいる	3.00	4.09
10	子どもたちが心身ともに健やかに育つことができる環境が整っている	3.35	4.33
11	子育てに関わる人への支援体制が整っている	2.90	4.23
12	生涯にわたり学習することができる環境が整っている	3.07	3.76
13	人権感覚を高めるための取り組みが充実している	3.07	3.52
14	生涯にわたりスポーツ活動や運動に取り組める環境が整っている	2.87	3.68
15	町民の郷土への理解と愛情を深めるための取り組みが行われている	3.11	3.51
16	町民が文化・芸術活動に参加する環境が整っている	3.00	3.42
17	女性が主体的に社会参画できる環境が整っている	2.93	3.61
18	次の世代に引き継げるよう農業振興が進んでいる	2.47	4.08
19	農業経営の担い手の確保対策が進んでいる	2.37	4.20
20	農地や農業用水路などの生産基盤が適切に管理されている	2.83	4.00
21	町有林が適切に整備されている	2.81	3.79
22	里山など私有林が適切に整備されている	2.69	3.83
23	知人や友人に勧めたい町の特産品がある	3.46	4.20
24	商工業が振興されている	2.58	3.90
25	知人や友人に勧めたい観光地が町内にある	3.30	4.12
26	おいしい水が安定的に供給されている	4.35	4.37
27	移住者が地域に定着できる環境が整っている	2.80	4.08
28	美しい景観が保たれている	3.72	4.18
29	環境に配慮した循環型社会が推進されている	3.02	3.94
30	道路や橋が整備され、適切に維持管理されている	2.90	4.10
31	交通弱者に必要な公共交通網が整備されている	2.56	3.92
32	地域において防災・減災対策が十分に行われている	3.17	3.58
33	地域において防犯対策が十分に行われている	2.97	3.46
34	交通安全の意識が向上している	2.99	3.87
35	消費者保護の対策が進んでいる	2.94	2.76
36	町民が安全に情報通信技術を活用できるよう支援されている	2.64	3.84
37	町政へ住民参画が進んでいる	2.75	3.64
38	地域社会が機能し、自立的な地域づくりが行われている	2.78	3.82
39	町政に関する情報を入手する環境が整っている	2.86	3.68
40	姉妹都市・友好都市との交流が盛んに行われている	3.13	3.37
41	行財政運営の健全化が図られている	2.63	3.96
42	広域行政が推進されている	2.88	3.75
・・・②重要課題に該当する施策		全体の平均点未満	全体の平均点以上

(カ)50 歳代の満足度と重要度

- 50 歳代の回答を示す。
- 重要課題に「1：年代に応じて健康づくりに取り組みやすい環境が整っている」「2：安心して妊娠・出産・育児ができる体制が整っている」「3：安心して暮らせる地域医療体制が整っている」「5：高齢者が生きがいを感じ、暮らしていける環境が整っている」「6：質の高い介護サービスが受けられる」「7：障がい者が安心して生活していける環境が整っている」「8：社会保障・医療費助成が充実している」「18：次の世代に引き継げるよう農業振興が進んでいる」「19：農業経営の担い手の確保対策が進んでいる」「24：商工業が振興されている」「27：移住者が地域に定着できる環境が整っている」「38：地域社会が機能し、自立的な地域づくりが行われている」「41：行財政運営の健全化が図られている」が該当している。
- 基本目標 1 の分野（健康づくり・医療・福祉）の項目の多くが重要課題に該当している。

図表 73 【50 歳代】満足度と重要度



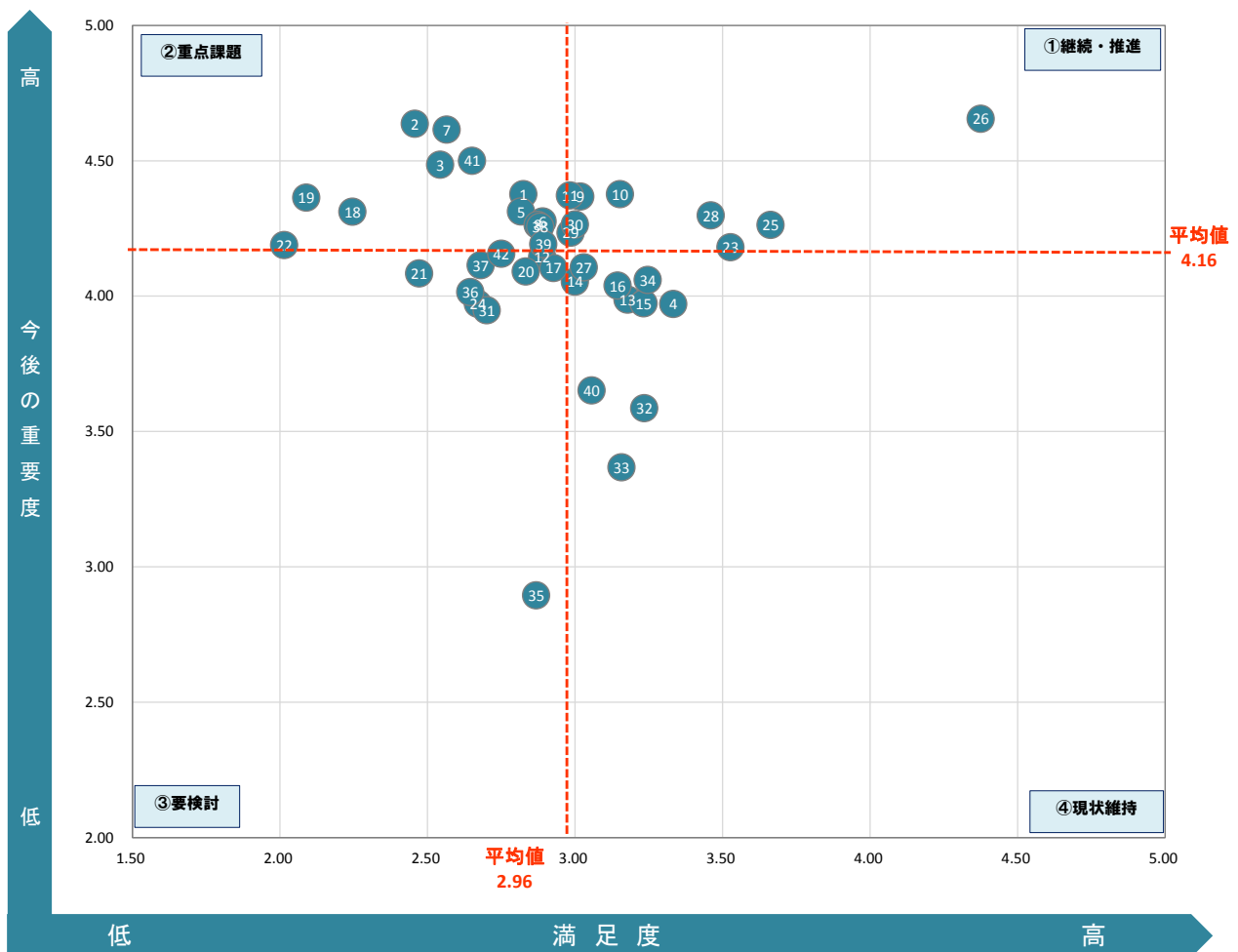
番号	項目	満足度	今後の重要度
1	年代に応じて健康づくりに取り組みやすい環境が整っている	2.64	4.23
2	安心して妊娠・出産・育児ができる体制が整っている	2.70	4.64
3	安心して暮らせる地域医療体制が整っている	2.19	4.48
4	ご近所において、お互いに支え合える人間関係を築けている	3.28	3.97
5	高齢者が生きがいを感じ、暮らしていける環境が整っている	2.61	4.31
6	質の高い介護サービスが受けられる	2.60	4.28
7	障がい者が安心して生活していける環境が整っている	2.20	4.43
8	社会保障・医療費助成が充実している	2.69	4.16
9	子どもが生きていく力をつけることを目指す「立科教育」が進んでいる	2.96	4.06
10	子どもたちが心身ともに健やかに育つことができる環境が整っている	3.11	4.30
11	子育てに関わる人への支援体制が整っている	2.87	4.31
12	生涯にわたり学習することができる環境が整っている	3.10	3.92
13	人権感覚を高めるための取り組みが充実している	3.02	3.67
14	生涯にわたりスポーツ活動や運動に取り組める環境が整っている	2.71	3.70
15	町民の郷土への理解と愛情を深めるための取り組みが行われている	2.86	3.61
16	町民が文化・芸術活動に参加する環境が整っている	2.80	3.57
17	女性が主体的に社会参画できる環境が整っている	2.69	3.88
18	次の世代に引き継げるよう農業振興が進んでいる	2.10	4.10
19	農業経営の担い手の確保対策が進んでいる	1.93	4.20
20	農地や農業用水路などの生産基盤が適切に管理されている	2.88	4.06
21	町有林が適切に整備されている	2.48	3.86
22	里山など私有林が適切に整備されている	2.29	3.90
23	知人や友人に勧めたい町の特産品がある	3.45	4.23
24	商工業が振興されている	2.44	4.08
25	知人や友人に勧めたい観光地が町内にある	3.28	4.26
26	おいしい水が安定的に供給されている	4.33	4.55
27	移住者が地域に定着できる環境が整っている	2.82	4.21
28	美しい景観が保たれている	3.47	4.19
29	環境に配慮した循環型社会が推進されている	2.78	4.02
30	道路や橋が整備され、適切に維持管理されている	2.99	4.13
31	交通弱者に必要な公共交通網が整備されている	2.46	4.00
32	地域において防災・減災対策が十分に行われている	2.99	3.63
33	地域において防犯対策が十分に行われている	2.88	3.50
34	交通安全の意識が向上している	2.84	4.05
35	消費者保護の対策が進んでいる	2.65	2.89
36	町民が安全に情報通信技術を活用できるよう支援されている	2.35	3.97
37	町政へ住民参画が進んでいる	2.56	3.84
38	地域社会が機能し、自立的な地域づくりが行われている	2.57	4.10
39	町政に関する情報を入手する環境が整っている	2.76	4.03
40	姉妹都市・友好都市との交流が盛んに行われている	3.00	3.47
41	行財政運営の健全化が図られている	2.70	4.21
42	広域行政が推進されている	2.73	3.92
・・・②重要課題に該当する施策		全体の平均点未満	全体の平均点以上

(キ)60 歳代の満足度と重要度

60 歳代以上の回答を示す。

- 重要課題に「1：年代に応じて健康づくりに取り組みやすい環境が整っている」「2：安心して妊娠・出産・育児ができる体制が整っている」「3：安心して暮らせる地域医療体制が整っている」「5：高齢者が生きがいを感じ、暮らしていける環境が整っている」「6：質の高い介護サービスが受けられる」「7：障がい者が安心して生活していける環境が整っている」「8：社会保障・医療費助成が充実している」「18：次の世代に引き継げるよう農業振興が進んでいる」「19：農業経営の担い手の確保対策が進んでいる」「22：里山など私有林が適切に整備されている」「38：地域社会が機能し、自立的な地域づくりが行われている」「39：町政に関する情報を入手する環境が整っている」「41：行財政運営の健全化が図られている」が該当している。
- 50 歳代と同様に基本目標 1 の分野（健康づくり・医療・福祉）の項目の多くが重要課題に該当している。

図表 74 【60 歳代以上】満足度と重要度

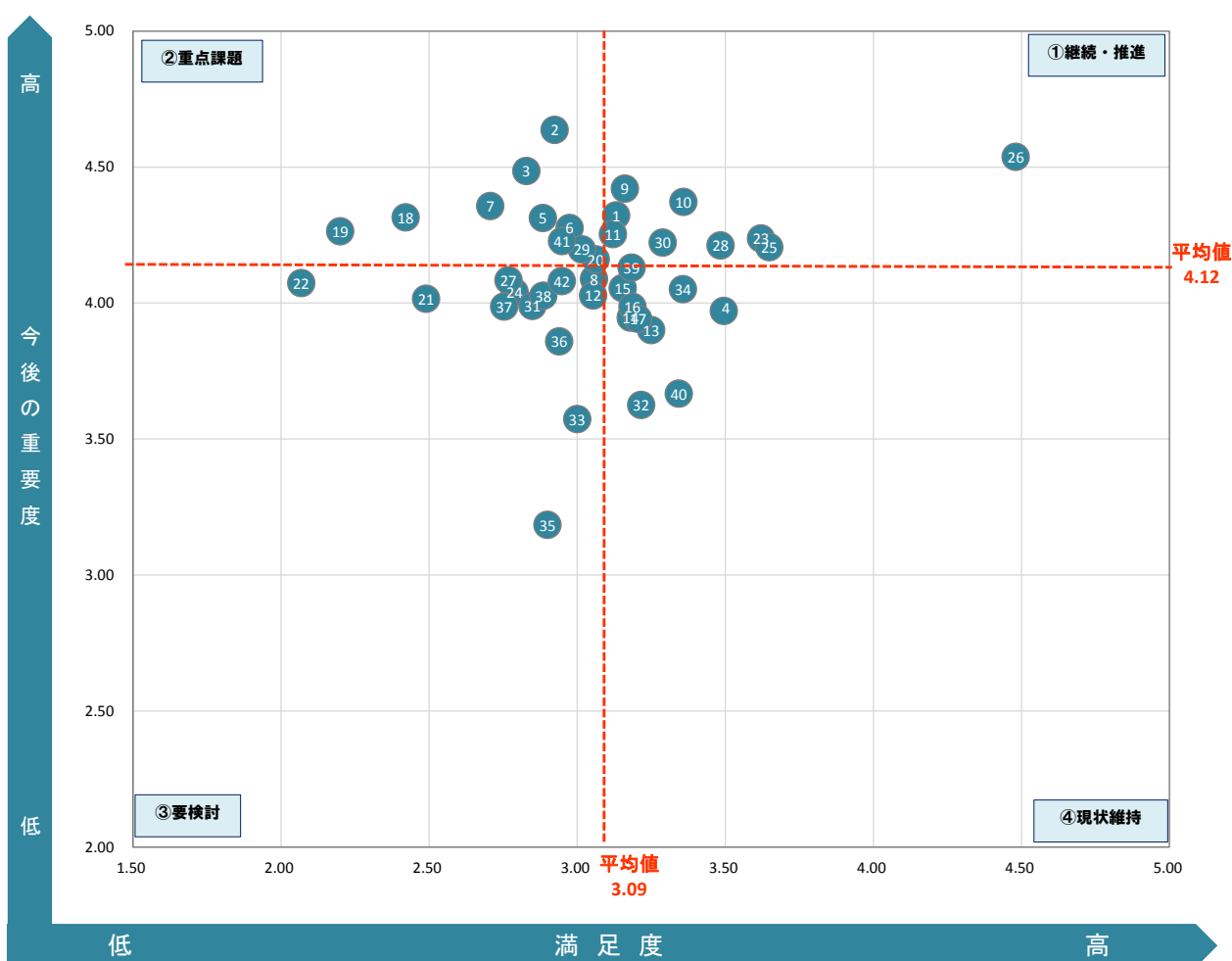


番号	項目	満足度	今後の重要度
1	年代に応じて健康づくりに取り組みやすい環境が整っている	2.83	4.38
2	安心して妊娠・出産・育児ができる体制が整っている	2.46	4.64
3	安心して暮らせる地域医療体制が整っている	2.54	4.48
4	ご近所において、お互いに支え合える人間関係を築けている	3.33	3.97
5	高齢者が生きがいを感じ、暮らしていける環境が整っている	2.82	4.31
6	質の高い介護サービスが受けられる	2.89	4.28
7	障がい者が安心して生活していける環境が整っている	2.57	4.61
8	社会保障・医療費助成が充実している	2.87	4.26
9	子どもが生きていく力をつけることを目指す「立科教育」が進んでいる	3.02	4.37
10	子どもたちが心身ともに健やかに育つことができる環境が整っている	3.15	4.38
11	子育てに関わる人への支援体制が整っている	2.98	4.37
12	生涯にわたり学習することができる環境が整っている	2.89	4.14
13	人権感覚を高めるための取り組みが充実している	3.18	3.99
14	生涯にわたりスポーツ活動や運動に取り組める環境が整っている	3.00	4.05
15	町民の郷土への理解と愛情を深めるための取り組みが行われている	3.23	3.97
16	町民が文化・芸術活動に参加する環境が整っている	3.14	4.04
17	女性が主体的に社会参画できる環境が整っている	2.93	4.10
18	次の世代に引き継げるよう農業振興が進んでいる	2.25	4.31
19	農業経営の担い手の確保対策が進んでいる	2.09	4.36
20	農地や農業用水路などの生産基盤が適切に管理されている	2.83	4.09
21	町有林が適切に整備されている	2.47	4.08
22	里山など私有林が適切に整備されている	2.01	4.19
23	知人や友人に勧めたい町の特産品がある	3.53	4.18
24	商工業が振興されている	2.67	3.97
25	知人や友人に勧めたい観光地が町内にある	3.66	4.26
26	おいしい水が安定的に供給されている	4.38	4.66
27	移住者が地域に定着できる環境が整っている	3.03	4.11
28	美しい景観が保たれている	3.46	4.30
29	環境に配慮した循環型社会が推進されている	2.99	4.23
30	道路や橋が整備され、適切に維持管理されている	3.00	4.26
31	交通弱者に必要な公共交通網が整備されている	2.70	3.95
32	地域において防災・減災対策が十分に行われている	3.24	3.59
33	地域において防犯対策が十分に行われている	3.16	3.37
34	交通安全の意識が向上している	3.25	4.06
35	消費者保護の対策が進んでいる	2.87	2.89
36	町民が安全に情報通信技術を活用できるよう支援されている	2.65	4.02
37	町政へ住民参画が進んでいる	2.68	4.11
38	地域社会が機能し、自立的な地域づくりが行われている	2.88	4.26
39	町政に関する情報を入手する環境が整っている	2.89	4.19
40	姉妹都市・友好都市との交流が盛んに行われている	3.06	3.65
41	行財政運営の健全化が図られている	2.65	4.50
42	広域行政が推進されている	2.75	4.16
・・・②重要課題に該当する施策		全体の平均点未満	全体の平均点以上

(ク)70歳以上の満足度と重要度

- ・70歳以上の回答を示す。
- ・重要課題に「2：安心して妊娠・出産・育児ができる体制が整っている」「3：安心して暮らせる地域医療体制が整っている」「5：高齢者が生きがいを感じ、暮らしていける環境が整っている」「6：質の高い介護サービスが受けられる」「7：障がい者が安心して生活していける環境が整っている」「18：次の世代に引き継げるよう農業振興が進んでいる」「19：農業経営の担い手の確保対策が進んでいる」「20：農地や農業用水路などの生産基盤が適切に管理されている」「29：環境に配慮した循環型社会が推進されている」「41：行財政運営の健全化が図られている」が該当している。

図表 75 【70歳以上】満足度と重要度



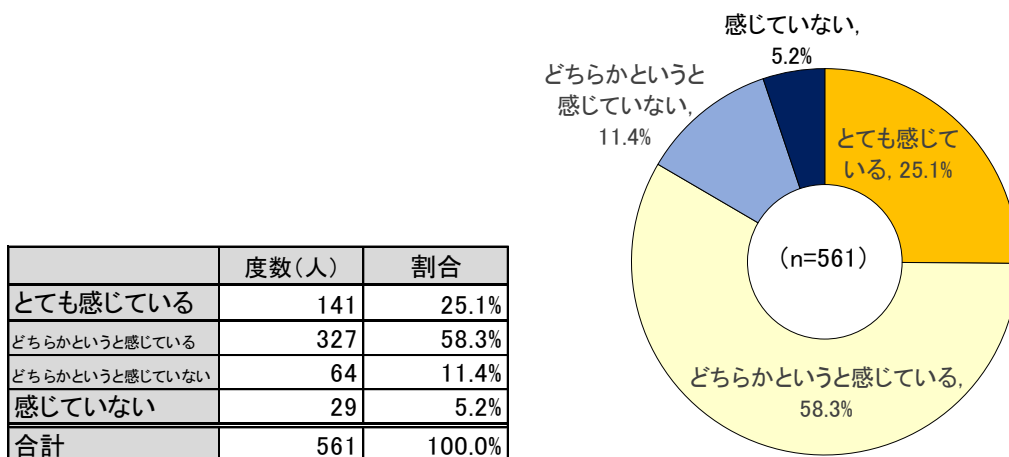
番号	項目	満足度	今後の重要度
1	年代に応じて健康づくりに取り組みやすい環境が整っている	3.13	4.32
2	安心して妊娠・出産・育児ができる体制が整っている	2.92	4.64
3	安心して暮らせる地域医療体制が整っている	2.83	4.48
4	ご近所において、お互いに支え合える人間関係を築けている	3.50	3.97
5	高齢者が生きがいを感じ、暮らしていける環境が整っている	2.88	4.31
6	質の高い介護サービスが受けられる	2.97	4.28
7	障がい者が安心して生活していける環境が整っている	2.71	4.36
8	社会保障・医療費助成が充実している	3.06	4.09
9	子どもが生きていく力をつけることを目指す「立科教育」が進んでいる	3.16	4.42
10	子どもたちが心身ともに健やかに育つことができる環境が整っている	3.36	4.37
11	子育てに関わる人への支援体制が整っている	3.12	4.25
12	生涯にわたり学習することができる環境が整っている	3.05	4.03
13	人権感覚を高めるための取り組みが充実している	3.25	3.90
14	生涯にわたりスポーツ活動や運動に取り組める環境が整っている	3.18	3.95
15	町民の郷土への理解と愛情を深めるための取り組みが行われている	3.15	4.05
16	町民が文化・芸術活動に参加する環境が整っている	3.19	3.99
17	女性が主体的に社会参画できる環境が整っている	3.21	3.94
18	次の世代に引き継げるよう農業振興が進んでいる	2.42	4.32
19	農業経営の担い手の確保対策が進んでいる	2.20	4.26
20	農地や農業用水路などの生産基盤が適切に管理されている	3.06	4.16
21	町有林が適切に整備されている	2.49	4.02
22	里山など私有林が適切に整備されている	2.07	4.07
23	知人や友人に勧めたい町の特産品がある	3.62	4.24
24	商工業が振興されている	2.79	4.04
25	知人や友人に勧めたい観光地が町内にある	3.65	4.20
26	おいしい水が安定的に供給されている	4.48	4.54
27	移住者が地域に定着できる環境が整っている	2.77	4.08
28	美しい景観が保たれている	3.48	4.21
29	環境に配慮した循環型社会が推進されている	3.02	4.20
30	道路や橋が整備され、適切に維持管理されている	3.29	4.22
31	交通弱者に必要な公共交通網が整備されている	2.85	3.99
32	地域において防災・減災対策が十分に行われている	3.22	3.63
33	地域において防犯対策が十分に行われている	3.00	3.57
34	交通安全の意識が向上している	3.36	4.05
35	消費者保護の対策が進んでいる	2.90	3.18
36	町民が安全に情報通信技術を活用できるよう支援されている	2.94	3.86
37	町政へ住民参画が進んでいる	2.75	3.99
38	地域社会が機能し、自立的な地域づくりが行われている	2.89	4.03
39	町政に関する情報を入手する環境が整っている	3.18	4.13
40	姉妹都市・友好都市との交流が盛んに行われている	3.34	3.67
41	行財政運営の健全化が図られている	2.95	4.23
42	広域行政が推進されている	2.95	4.08
・・・②重要課題に該当する施策		全体の平均点未満	全体の平均点以上

5. 立科町への意識や暮らし全般に関する分析

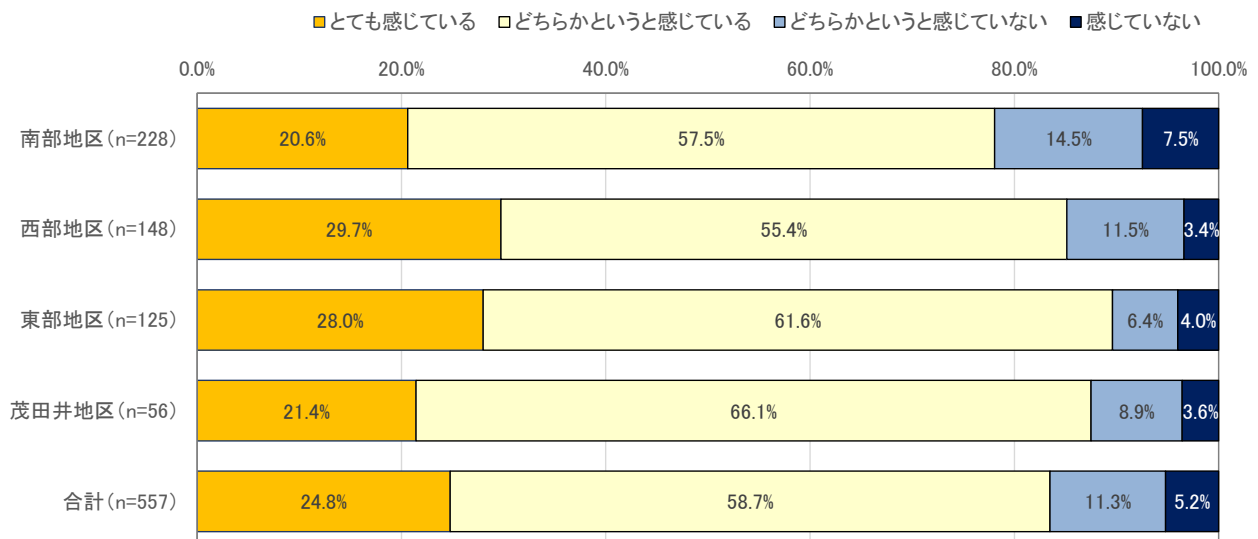
(1) 立科町への愛着

- 立科町に対する愛着を感じている割合（「とても感じている」、「どちらかというと感じている」をあわせた割合）は83.4%である。
- 居住地区別でみると南部地区で愛着を感じている割合がやや低いものの、おおむね全体と同じ傾向にある。
- 年代別にみると、18歳～24歳で愛着を感じている割合が全体よりも20ポイント以上低くなっている。30～34歳、60歳以上では愛着を感じている割合が全体より高い。

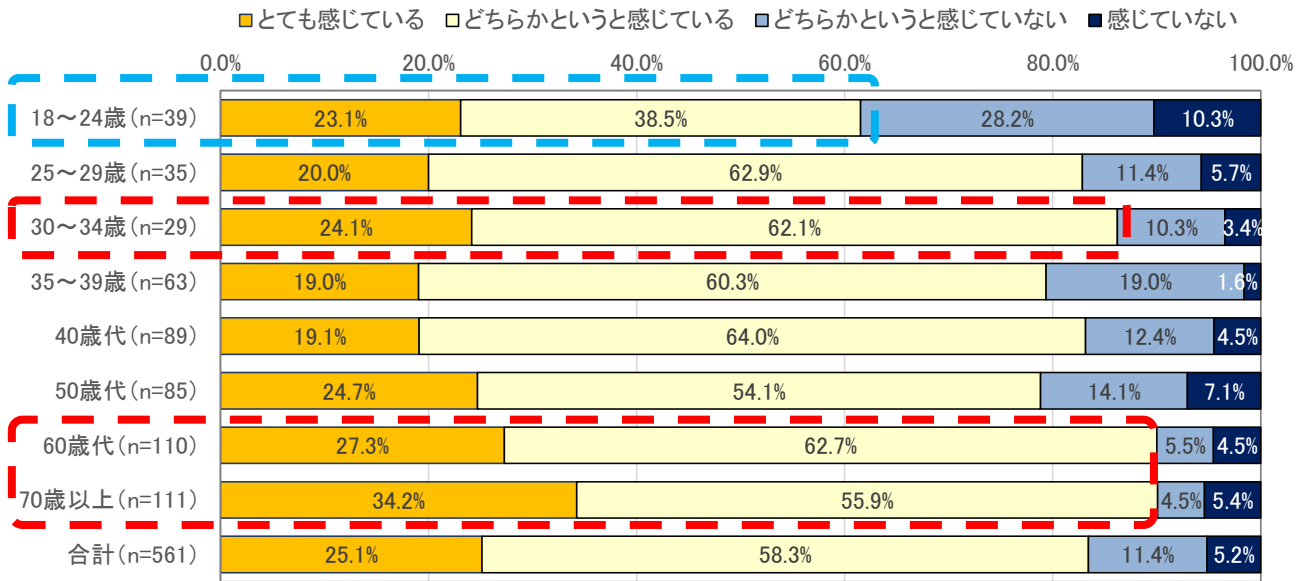
図表 76 立科町への愛着



図表 77 【居住地区別】立科町への愛着



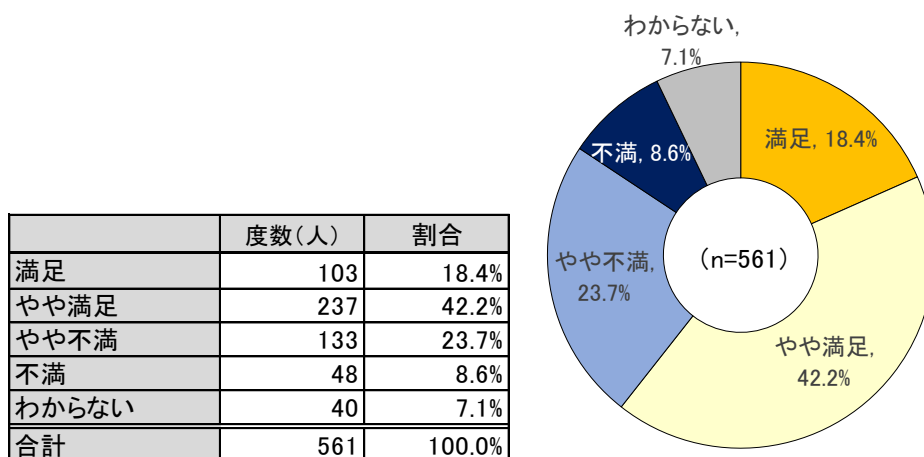
図表 78 【年代別】立科町への愛着



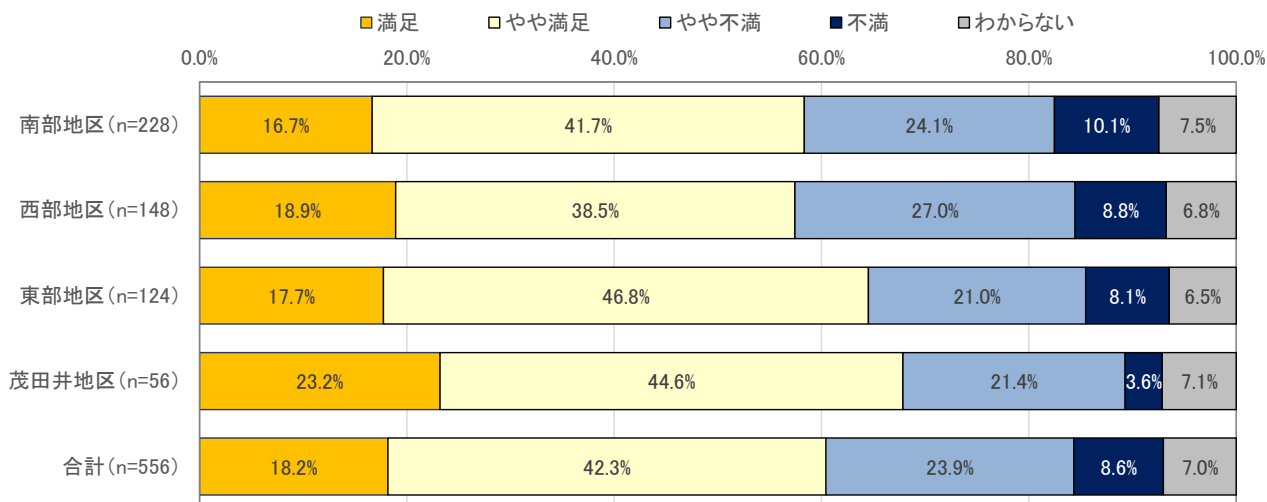
(2) 立科町での暮らしの満足度

- 立科町の暮らしに満足している割合（「満足している」、「どちらかという満足している」をあわせた割合）は60.6%である。
- 地域別では、南部地区、西部地区において満足している割合がやや低いものの、おおむね全体と同様の傾向である。
- 年代別では、60歳代で満足している割合がもっとも高い。また、25～29歳、70歳以上でも満足している割合が高くなっている。
- 18～24歳では満足している割合がもっとも低く、不満の割合も高くなっている。

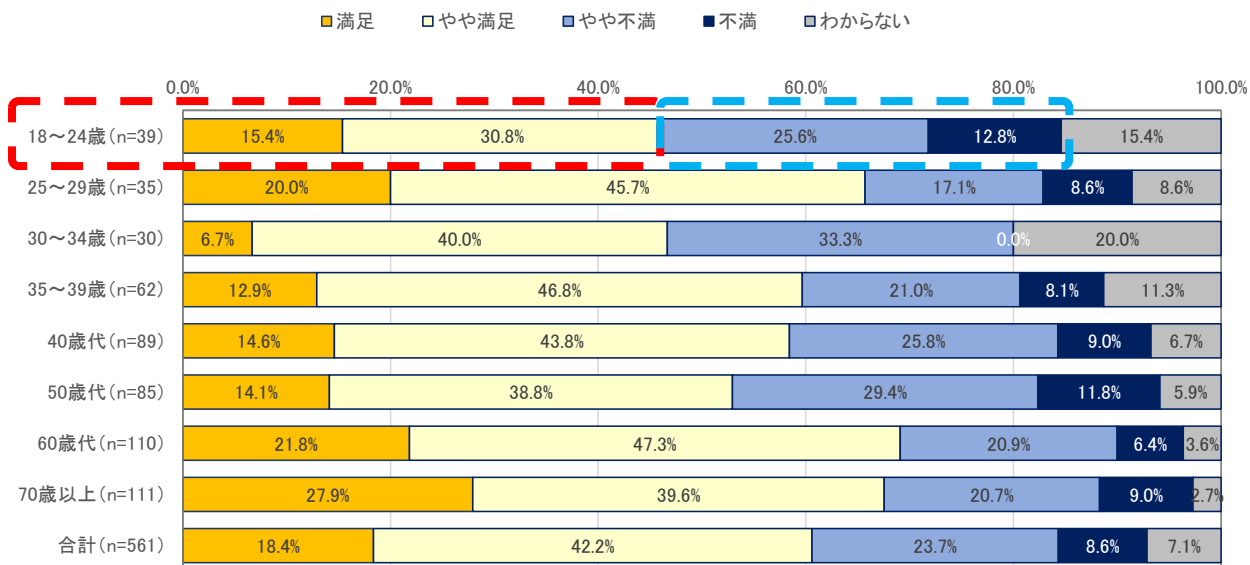
図表 79 立科町の暮らしの満足度



図表 80 【居住地区別】立科町の暮らしの満足度



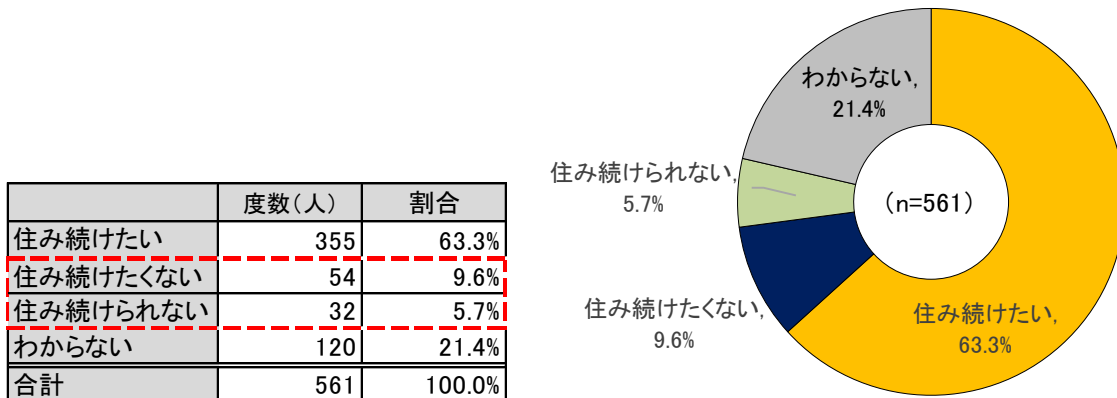
図表 81 【年代別】立科町の暮らしの満足度



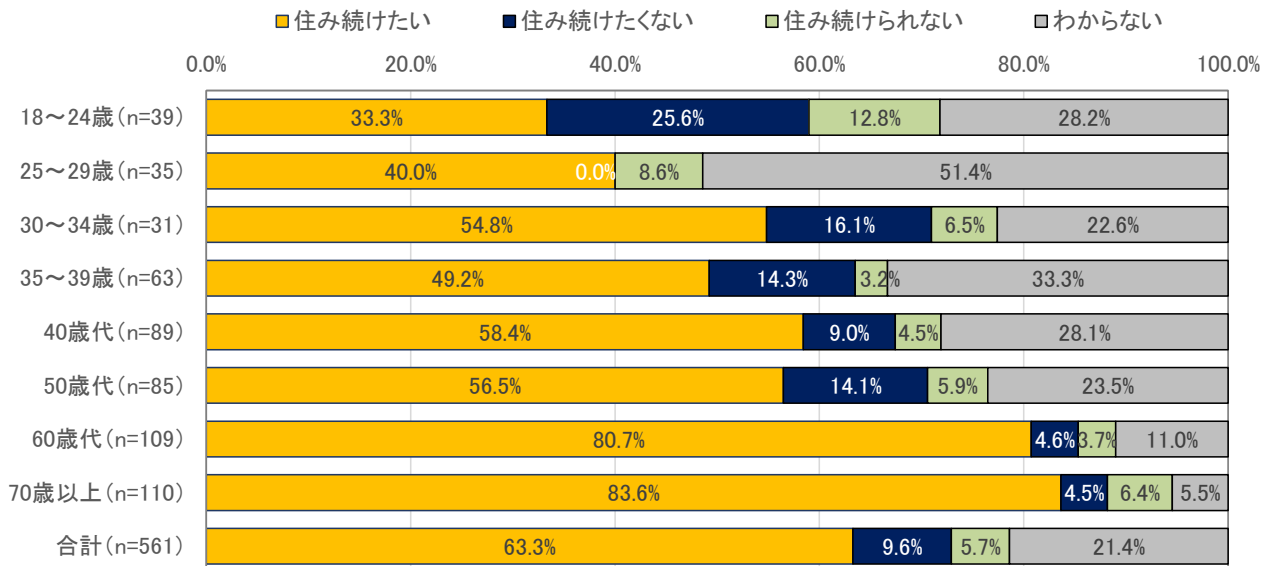
(3) 立科町への定住意向

- 立科町への定住意向では、「住みたい」が63.3%であった。「住みたくない」が9.6%、「住み続けられない」が5.7%、「わからない」が21.4%となっている。
- 年代別にみると、若い世代ほど定住意向は低い。18～24歳、30歳代、50歳代では「住みたくない」の割合が全体よりも高い。また、若い世代ほど「わからない」割合が高く、定住・転出の意向が定まっていない者が多いことがうかがえる。特に25～29歳は半数以上が「わからない」と回答している。

図表 82 立科町に住み続けたいか

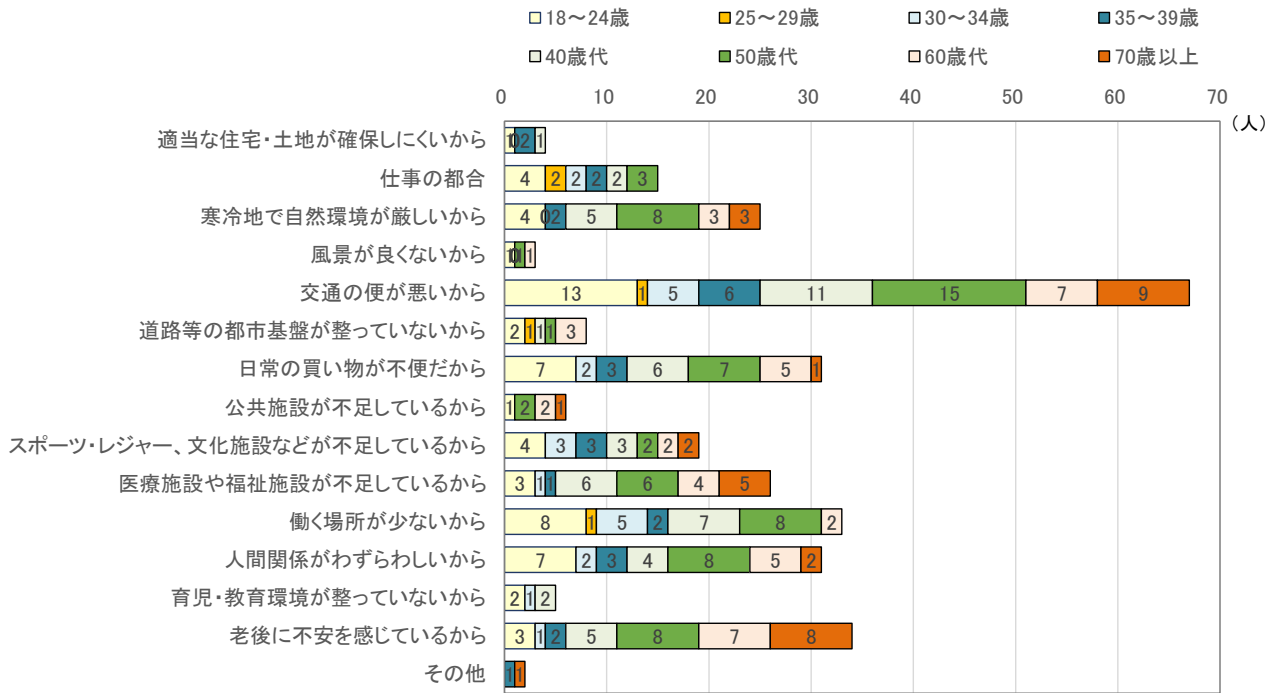


図表 83 【年代別】立科町に住み続けたいか



- ・「住み続けたくない」、「住み続けられない」理由としては、「交通の便が悪いから」がひとときわ多い。次いで、「老後に不安を感じているから」「働く場所が少ないから」が続く。
- ・「交通の便が悪いから」は18～24歳、40歳代以上の回答が目立つ。
- ・「老後に不安を感じているから」は40歳代以上の回答が多い。
- ・「働く場所が少ないから」は18～24歳、40～50歳代の回答が多い。

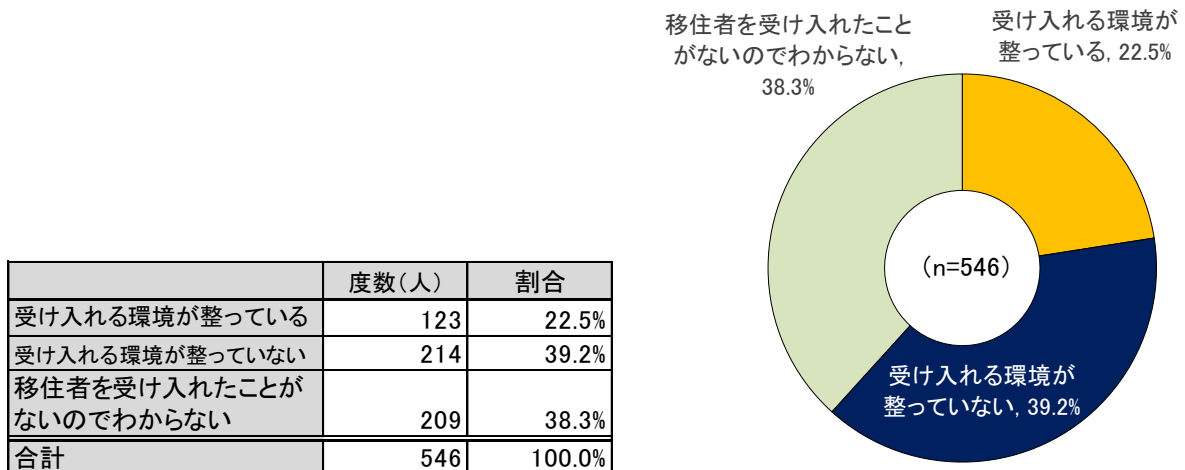
図表 84 【「住み続けたくない」「住み続けられない」回答者のみ】理由 [複数回答]



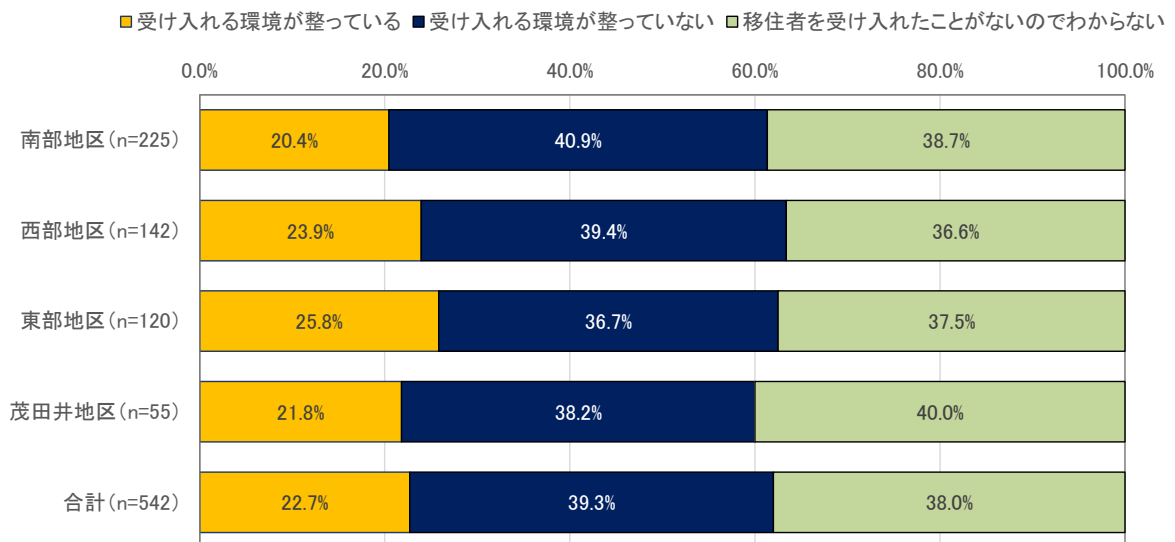
(4) 移住者に対する意識について

・居住地域における移住者の受け入れ環境の整備状況については、「受け入れ環境が整っていない」が39.2%でもっとも多くなっている。「移住者を受け入れたことがないのでわからない」が38.3%で続く。居住地域別にみてもほぼ同様の傾向である。

図表 85 居住地域における移住者を受け入れ環境整備状況

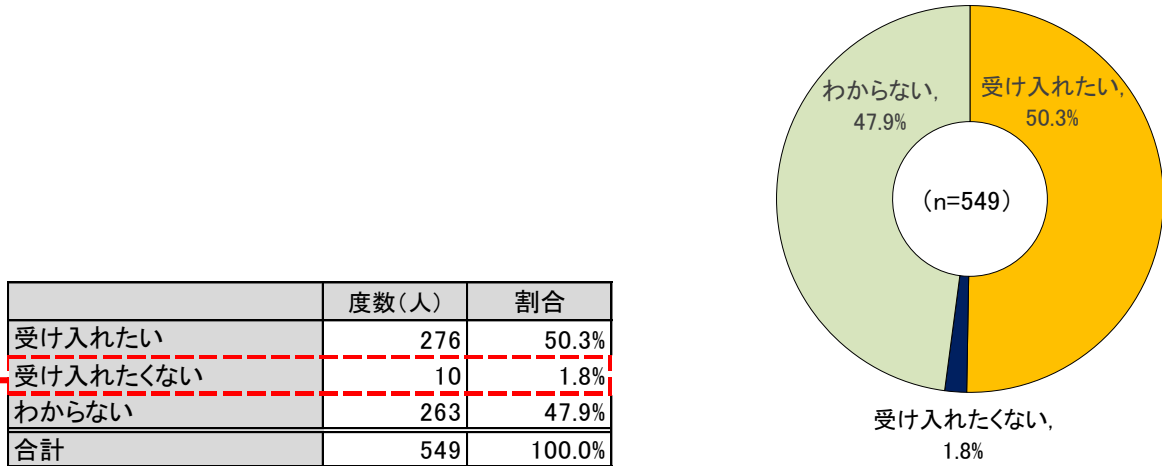


図表 86 居住地域別 居住地域における移住者を受け入れ環境整備状況



- ・移住者の受け入れ意向としては「受け入れたい」が 50.3%と過半数を占めている。「わからない」は 47.9%、「受け入れたくない」が 1.8%となっている。
- ・「受け入れたくない」理由としては、「地区になじまない人が多い」などがあげられている。
- ・移住希望者に対して希望することとしては、「地域の活動に積極的に参加してほしい」「ごみ捨てなど地域のルールを守ってほしい」が同数でもっとも多くなっている。

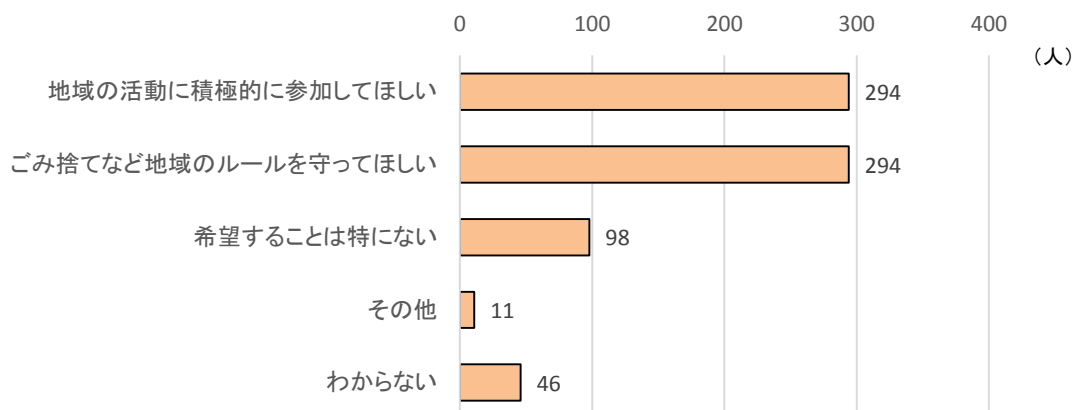
図表 87 今後、移住者を積極的に受け入れたいと思うか



図表 88 移住者を積極的に受け入れたくない理由

理由	件数
地区になじまない人が多い。	3
地域に協力意識が少ない。	1
地区の風習が変わる。	1

図表 89 移住希望者に対して希望すること



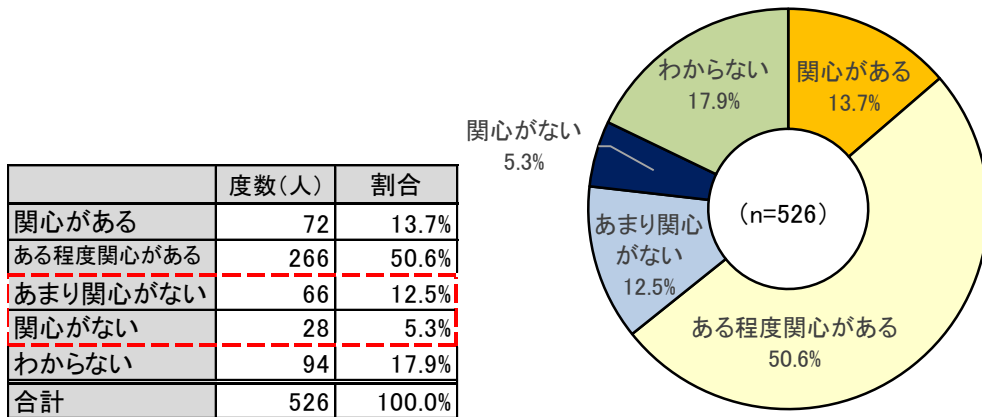
6. 町政や地域への関わりに関する分析

町政や地域への関する分析結果を示す。

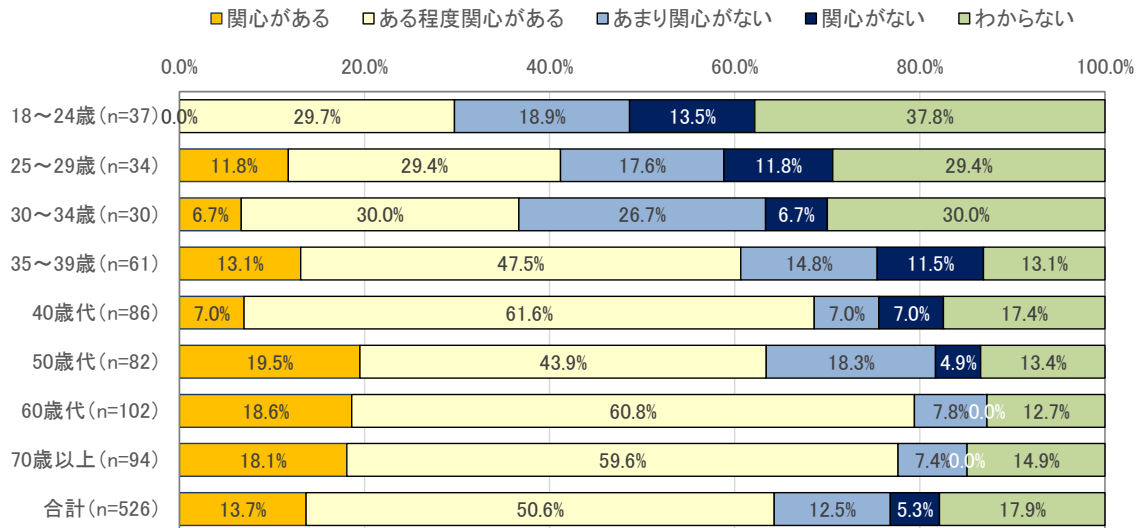
(1) 町政への関心

- ・行政に関心がある割合（「関心がある」「ある程度関心がある」をあわせた割合）は64.3%である。反面、関心がない割合（「あまり関心がない」「関心がない」をあわせた割合）は17.8%である。
- ・年代別にみると34歳以下では関心がある割合が全体よりも低くなっている。また、関心がない割合と「わからない」の割合が高い。
- ・60歳以上では関心がある割合が高くなっている。
- ・町政に関心がない理由としては、「興味がない」「よく知らない」などがあげられている。

図表 90 町政への関心



図表 91 年代別町政への関心



図表 92 町政に関心がない理由

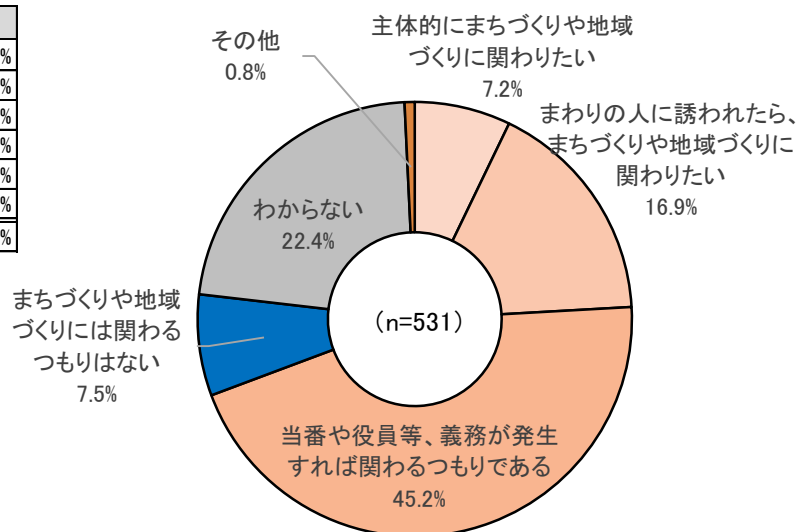
理由	度数(人)
興味が無い	12
町政に関してよく知らないから。	8
一生住むつもりはないから。	5
意見を出しても反映されない	4
余裕がありません	4
なる様にしかならない	3
自分が参加できていない。	3
町外で働いているので。	3
今の立科町に希望がない	2
職員が聞いてくれない。対応がない。	2
特別職（町長他）の熱意が感じられない	2
議会と行政がなれあっている。文章、言葉がわかりづらい。	1
結論を先送りしている事例が多すぎる気がします。	1
町会議員など熱心に取り組んでいる人とそうでない人の差がある	1
良い町づくりが進んでいないと思う。	1

(2) 希望するまちづくりや地域づくりへの関わり方

- 希望するまちづくりや地域づくりへの関わり方としては、「当番や役員等、義務が発生すれば関わるつもりである」が 45.2%でもっとも多い。次いで、「まわりの人に誘われたら、まちづくりや地域づくりに関わりたい」が続く。積極的ではないが、周りからの働きかけがあれば、まちづくりや地域づくりに参加したい意向を持つ者が多いと考えられる。
- 具体的に取り組みたいこととしては「地域の行事」「ボランティア」「地域、住民同士で支え合うための取り組み」などがあげられている。

図表 93 希望するまちづくりや地域づくりへの関わり方

	度数(人)	割合
主体的にまちづくりや地域づくりに関わりたい	38	7.2%
まわりの人に誘われたら、まちづくりや地域づくりに関わりたい	90	16.9%
当番や役員等、義務が発生すれば関わるつもりである	240	45.2%
まちづくりや地域づくりに関わるつもりはない	40	7.5%
わからない	119	22.4%
その他	4	0.8%
合計	531	100.0%



図表 94 まちづくりや地域づくりに具体的に関わりたいこと

「主体的にまちづくりや地域づくりに関わりたい」「まわりの人に誘われたら、まちづくりや地域づくりに関わりたい」と回答した人のみ

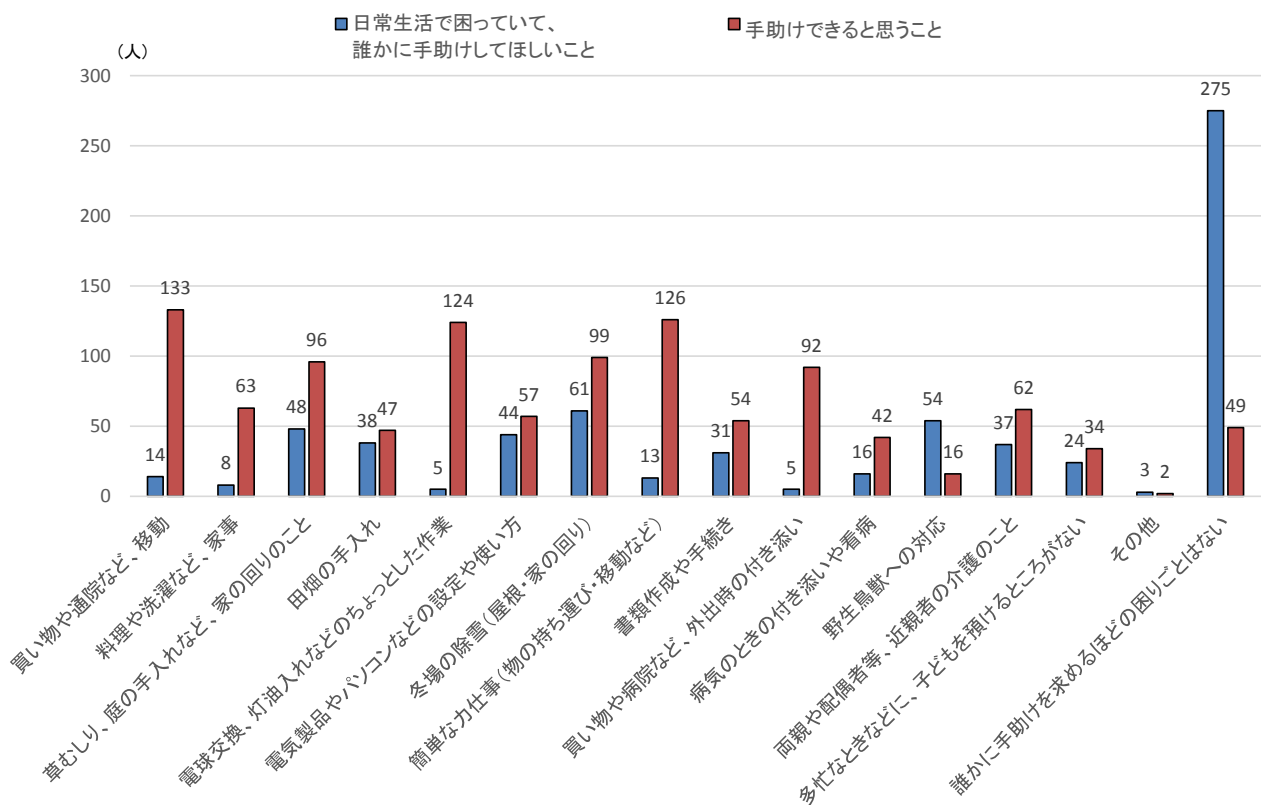
主体的にまちづくりや地域づくりに関わりたい
地域行事
地域、住民同士で支え合うための取り組み。
立科町の PR 活動
企業誘致
森林資源の有効利用と、森林資源を活用した観光
介護、健康
農林業、まちづくりの将来ビジョン
ボランティア作業やイベントに参加する。
新たな時代に向かったの町づくり
行政運営に関心を持つこととチェック機能を生かし、意見や提言等の参画意識を持つことに努める
農林業、まちづくりの将来ビジョン
地域役員
町づくり協議会

まわりの人に誘われたら、まちづくりや地域づくりに関わりたい
地域行事
ボランティア作業やイベントに参加する。
地域、住民同士で支え合うための取り組み。
区、町内のパトロール
子育て支援や高齢者支援、障がい者支援
放課後の子供の居場所
趣味活動
立科町の PR 活動
アイデアを出す。意見を言う
地域消防団
地域の環境保全
地域役員
特産品の開発、販売
文化や伝統をつなげていく活動。

(3) 現在と10年後の日常生活での困りごと

- ・下図は、日常生活で困っていて手助けしてほしいこと（ニーズ量）と、これから手助けできること（住民同士の支え合いでサポートできる量）を比較したものである。
- ・「野生鳥獣への対応」以外の項目、サポート量がニーズを上回っている。これらの項目については、住民同士の支え合いで対応できるものと考えられる。
- ・他方、「野生鳥獣への対応」については、サポート量がニーズ量を下回っていることから、行政による介入が必要と考えられる。

図表 95 日常生活での困っていて手助けしてほしいことと手助けできそうなこと [複数回答]



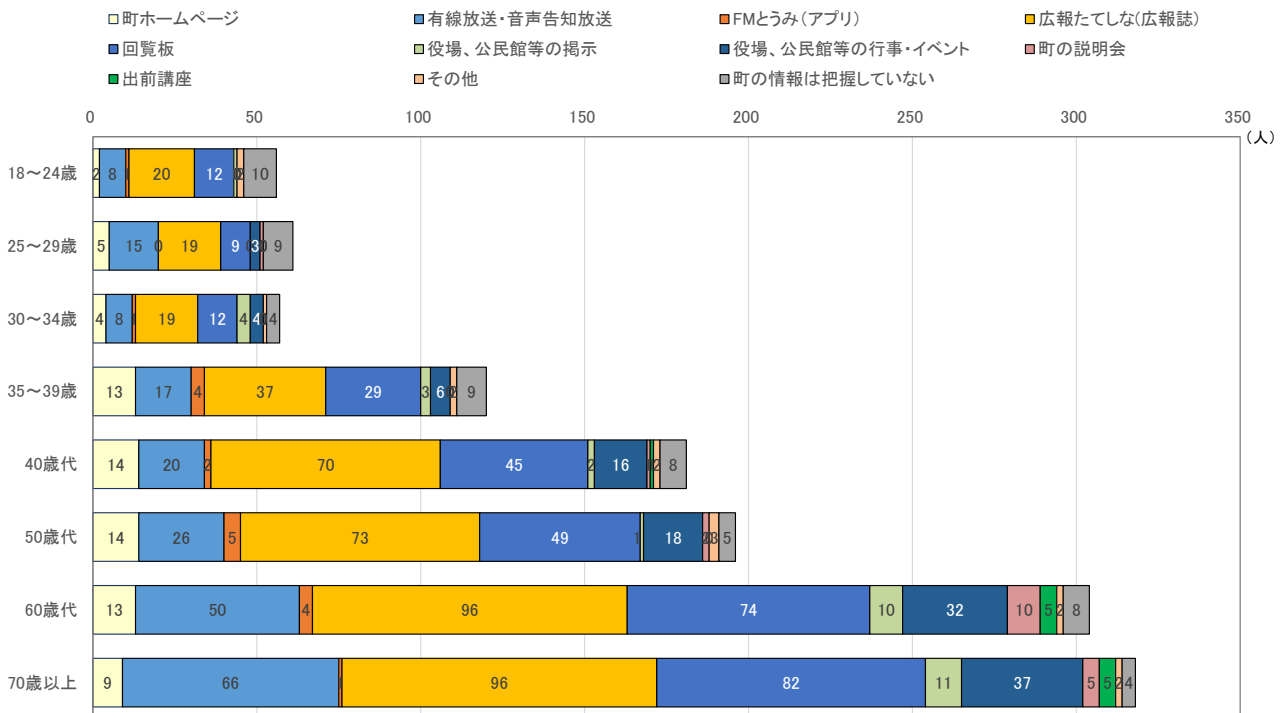
(4) 町政に関する情報収集

・町政に関する情報の入手方法では、「広報たてしな」がもっとも多い。次いで「回覧板」「有線放送・音声告知放送」が続く。

図表 96 町政に関する情報の入手方法 [複数回答]

入手方法	度数(人)
町ホームページ	74
有線放送・音声告知放送	210
FMとうみ(アプリ)	18
広報たてしな(広報誌)	430
回覧板	312
役場、公民館等の掲示	32
役場、公民館等の行事・イベント	116
町の説明会	19
出前講座	11
その他	14
町の情報は把握していない	57

図表 97 年代別町政に関する情報の入手方法 [複数回答]



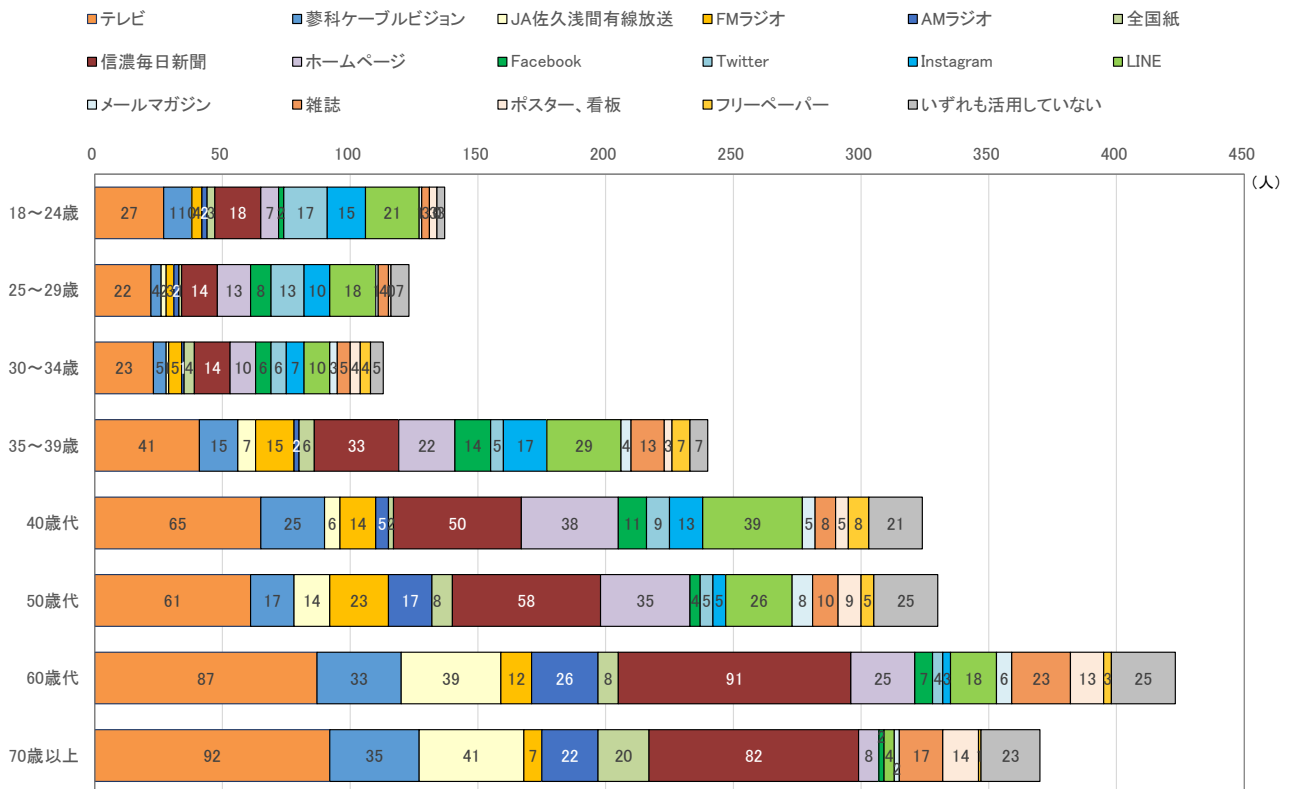
(5) 趣味、興味があること情報収集

- ・趣味、興味があることに関する情報入手先では、「テレビ」「信濃毎日新聞」が多くなっている。
- ・年代別でも、おおむね全体と同じ傾向である。35歳以上で「蓼科ケーブルビジョン」「JA 佐久浅間有線放送」がやや多い。

図表 98 趣味、興味があることについての情報の入手先 [複数回答]

入手方法	度数(人)	入手方法	度数(人)	入手方法	度数(人)
テレビ	418	信濃毎日新聞	360	メールマガジン	30
蓼科ケーブルビジョン	145	ホームページ	158	雑誌	83
JA 佐久浅間有線放送	110	Facebook	54	ポスター、看板	52
FM ラジオ	83	Twitter	59	フリーペーパー	28
AM ラジオ	77	Instagram	70	いずれも活用していない	116
全国紙	52	LINE	165		

図表 99 年代別趣味、興味があることについての情報の入手先 [複数回答]



7. 町民の意見(自由記述の整理)

(1) 5年後にも残したい立科町の良いところ

自然・景観がよい
自然が豊かなところ
知名度の高さ、空気・水・自然
女神湖周辺の静かさ、美しさ。
豊かな自然、清らかな水、澄んだ空気、田園風景、おいしいお米、りんご等、地域ごとに残る伝統行事（獅子舞等）
自然環境が豊かで水がおいしいところ。穏やかで生活の安心していただける場所。
水がおいしい。自然が豊か。安全な町。
すばらしい自然環境をずっと守り続けてほしい。
東京に近く、観光地もある中で、豊かな自然、のどかな里の暮らしがある。時間がゆっくり流れるように感じられるところ。
豊かな自然環境、昔からの伝統はこれからも守り続けていってほしいと思っています。若い人たちの参加が重要です。
のどかな風景、自然を楽しむ環境。
高い建造物がなく 360 度見廻せる景観を残すべき
白樺高原入口の信号から白樺湖方面へ登っていく道の、集落をぬけてだんだん山へ続いていく景色は何度通っても心がいやされる。都会からの人はもっと素敵な所だと思える場所だと思う。自然が豊かで美しい景観は失われたいようにしたい。
夜は静か、星がきれい、夏の夜はエアコン無し。ホテルもいる、クワガタも勝手に来る、雪が降ればソリやりたい放題。
立科に移住してきてから、9 か月が経ったところです。環境が良く、ある程度満足しています。立科町は静かで空気が良い。

水源・水質の良さ
水道の水がおいしく安心して使用できる。
水がおいしいことを続けていただきたいと思います。
5 年後ともなると人口の減少は止まらないとは思いますが、生活していく上での水がおいしい、空気がきれいだという点はそのままであってほしい
蓼科山から湧きでる水

農作物の質が高い
おいしい農産物
果樹、畜産、米
りんごなどのブランド物

町民の人柄がいい。人と人の繋がりがあ
住民が素朴で良い。

町民の方々が皆優しい。
地域の田園風景と遠方の眺め。住民が温厚で穏やかな人が多い。
子供が外で騒いでいても、近所の人は喜んでくれる。子供がうるさくていやな顔する人がいない。みんな心が広い。
町、地区、隣組などの行事があり、地域のつながりが深くて安心して生活できる。
商工祭や、町民祭り、毎年楽しいです。行事が多いが、たくさんの人が参加しとてもまとまりがある。
獅子舞などの地区の伝統行事に今も子どもたちが参加し、続いていることは素晴らしいこと。子どもの数が減ってくる中、なんとか続けていこうとする地区の方々の努力には感心している。

イベント・行事が充実している
合唱祭、高齢者の体操教育等行っているところは良いです。
町民祭(えんでこ祭り)(たら福祭り)町民文化展、バザー
自身関わっているせいか高齢者向けの学習会が多く開催されるようになり、生きがいにもなっている。用がある。行く所がある。のはありがたいこと。もっと多くても、年間通してもらえたらもっと嬉しい。学び、動き、交流する元気老人をめざしています。
立科町は町民のために無料イベント等多数あり助かる面、自慢できることがたくさんあります。
イベントなど盛り沢山あり、交流の場もあり、子供たちにとっても、また、高齢者にとっても参加しやすく、良いふるさとなり、思い出になると思う。

生活しやすい環境がある
近隣市へのアクセスが悪くなく、30分以下で各地に行ける。静かで住みやすい環境があり、買い物、スーパーにも不便がない。
スーパー、ホームセンター、コンビニ、薬局等あるので生活しやすい
買物をするのにとても便利な町だと思います。
商業施設が充実してきている。他町村から、町内への人の流れがみられる

安全・安心な生活を送れる
犯罪の少なさ
事故はあるかもしれないが、犯罪とほぼ無縁である点

観光資源がある
観光地に住んでおりスキーが大好きです。スキー場が良いと知りあいもいっております。国際スキー場を残してほしいです
観光財源となる場所がある事。町である事。

子育て環境が整っている
保育園、小学校、中学校が連携をとろうとしているところ
教育に対する予算、補助金等他市町村に比べて恵まれている。

<p>子育て世代なので、立科町の教育体制や子供に関する事に目を向けがちなのですが、立科町の教育も徐々に変化し、多様な意見はあると思いますが、少しずつでもとても充実していると思います。立科町で子育て、教育ができて良かったと感じています。</p>
<p>図書館があったり、児童館があったりでとても助かっています。自分が嫁いで何年かになりますが色々な面で改善されて、とても住みやすい町です。</p>
<p>子育て環境には手厚く充実していると思います。保育料の減免から福祉医療等本当にありがたいです。また、山からのバス通学等人数が少ない中、配慮していただきありがとうございます。</p>
<p>小中高校の教育環境の行政サポートは、他の市町村に比べても充実していると思います。また、子育てに関する行政サポートもこれからも続けていただきたいと思っています。</p>
<p>子ども達と地域住民の距離が近い所</p>

<p>その他</p>
<p>高齢者が元気で畑仕事、田んぼをしている事に感心します。都会にはない良いところだと思います。</p>
<p>特別すごいことはないかもしれないが、不自由に感じることや不満に思うことが特にないことが良い部分だと思います。</p>

(2) 5年後に向けて改善していきたい立科町の課題

行財政運慶の健全化・透明化	
町の施策において町民参加が少ない。それに伴う情報の公開も少ないので、プロセスをしっかりと示してほしい。	
町民が住んでいてよかったと思うことが必要。対外的な施策も必要と思うが、足元をしっかりと行政運営。	
それぞれの課題に対して、町が数字目標を示すことにより、町民が達成度に対して行政に関心が生まれる。	
立科町営の索道事業は毎年赤字が続いているとのこと、女神湖周辺の住民の意見を聞きながら民営化が必要では。	
水道料金をはじめ他の公共料金や税金・介護保険料などが他の市町村と比較しても高いといわれる。明るく住みやすい町といえないという声も多い。	
働く場所の確保と拡大。更なる財政健全化。	
スキー場など、赤字のところはどこかの企業に買っていただき、町政の赤字をなくしてほしい	
年寄りに住み良い所は若い人にも住み良い所だと思うので、一生を通して住みたいと思うやさしい町になってほしいと思う。水道代も山からの水があるのに、上水道下水道代が高いし、固定資産税も10年過ぎても高いので、これでは若い人が家をもてないし、公務員の人が役所にいるだけでなく、もっと町に出て仕事をしてほしい。	
理想論ばかり述べても絵に描いた餅になってしまうので、ひとつずつ目の前のできることから取組み、町民が無関心にならない行政を心掛けてほしい	
職員が多すぎる。自立するための長、議員の経営的な勉強。自立するための農政の計画、実行。後継者をどのようにして育成するか、方法を考える。	
積極的な議論。既存の考え方に捉われないしなやかな町政。町民ひとり一人の声に耳を傾けられる寛容な町政	
役場職員の意識改革	
職員の意識改革が進んでいない。職員が自分の判断で処理した顛末多大な予算措置が必要になるなどプロ意識がない。もう少し外へ出ていろいろな経験や研修を受講することを望む。管理職の登用は町長の仲良しグループでなく、真に実力ある人を積極的に登用するべきだ。	
農業の発展・農地整備	
農業後継者の育成	
農業後継者不足。若者の流出。	
・良いところでもある平均的なところ(施策、施設規模など何事においても中途半端な印象)・全体的に平均点を及策点を目指し改善策を検討する部署の設置やリーダー等の人材育成が必要	
農業の発展。若者の定住	
優良農地の荒廃化防止。農地の有効利用と活用。	
田畑の荒廃地が多く見られる。なんとかしてほしいと思います。	
荒廃地が多いので、なんとかしてほしい。	
自然、景観の保全	
山の手入れをしてほしい。観光地は整備されているが、私有の山は荒れていて景観を壊している。倒れた木を薪にするなど再利用する取組みを行ってほしい。もったいない。都市計画、建築、産業等の専門家をお願いしたらどうか。役場の職員や住民のアイデアでは今と大きく変わらない。	
ソーラー発電事業は、景観が悪いので規制する。水資源の保護	

鳥獣害対策
<p>害獣が増えてきているので、5年までに個体数を減らさないと作物や人的被害が起これると思います・道普清等の各戸の負担が大きいので、世帯数が今後減っていくことを視野に入れた対策必要かと。日曜等に実行されるため、仕事を休まないとならず、正規になっていけない人が増加します。</p>

人口減少対策
<p>人口の増加、移住者の受け入れ</p>
<p>人口を増やすために工場誘致が必要。</p>
<p>人口（特に子供）を増やす。住みたく魅力ある町へ。交通が不便。国際交流がもっとあってもいいと思う。</p>
<p>加速的な人口減少のくい止め策が必須</p>
<p>人口減少を止めるための何らかの施策が必要。</p>
<p>若者の定住（町の行事、付き合いが嫌だという話をよく聞く。）</p>
<p>障がいのある方、交通弱者にやさしい町であってほしい。高齢者がますます増える一方、若い人達が学校を出て、そのまま都会で就職してしまい、立科町に帰ってくる人が少なくなっています。もっと若い人が働ける場所を作ってほしい。</p>
<p>藤原田のブドウ畑みたいに、見て楽しい畑を道路と環境。以前から町の人口ではない、転出を減らし、転入者を増やす。福祉は大事だが、人口を増やす活動はさらに大事。町全体が観光地になるような環境整備。</p>
<p>町外からの移住希望者への手厚い支援で人口を増やす。近隣企業の住宅（寮）をつくる、（安価な賃貸料）で住んでもらう→若者に住みやすい町アピール。</p>
<p>少子高齢化は不可避の問題です。どうしても人口増加を考えるならば子育て世帯の移住促進しかない。下條村がお手本となるが町財政の現実からしてかなりの覚悟が必要です。八方美人的な財政配分では下條村のまねはできません。しかし立科町の立地は上田～佐久平経済圏から均等距離にあり好条件は整っています。子育て世帯にとって魅力的政策と環境準備を打ち出すことです。</p>

働く場所の確保
<p>人口増加するように。働く場所がない。駅までの交通面（通学）。</p>
<p>地域で安心して働ける場の確保（農業でも産業でも）</p>

医療・保健・福祉サービスの充実
<p>町の診療体制を充実させてほしい。とくに山間部。子供の休日の居場所づくりを強化してほしい。</p>
<p>車の移動は自分ですが、返納した後の生活、医療に関しての不便さはどう改善していくべきか、自力では困難だと誰しもが将来に不安に思っていることでしょう。</p>
<p>人が集まる町になるようにアピールしていくこと。小さな町なので病院、お店が少ない。ツルヤ、コメリ周辺にお店を増やし、便利に一度に買い物ができるといい。子育て中の人や高齢者には助かると思う。</p>
<p>休日当番医について上田、丸子、長和方面も知らせるようにしてもらいたい。それと有線放送では必要ないと思う。広報とは別に一覧表がほしい。または役場ホームページに掲載する。</p>

介護サービスの充実
要介護状態になった方がサービスを利用するようになると、それまで地域の中にあつたつながりや社会参加がなくなってしまう。
夫を介護しています。年齢がまだ若い、精神の障害で介護認定を受けられない、治療が出来てない、預ける施設がない、生活が苦しい、頼りになる人がいない、助けがほしいです

空き家対策
古い空き家の利用はできないと思う。倒壊寸前の家そのまま、なんとかならないものか。
空き家問題など騒がれている今日この頃ですが、立科町もこの問題からは目はずせません。どうしたら空き家など有効活用できるのか、考えていかなくてはいけない時だと思います。
立科町には空き家が多くあります。そのままにしておくのはどうかと思っています。お借りしたい人がいてもダメというような事がありました。今現在使われていない施設等、皆んなで有効に使える場所となればと思います。
住民の住まない住宅の改善。
空き家の実態をどの程度把握されているのか解りませんが、移住したい方をさがす前に受け入れられる家をもっと確保するよう公報で呼びかけるだけでなく、直接空き家の所有者と話し合いを持ったり相談にのる形を持った方がいいと思います。現在使われていない保育園をシェアハウスのような利用で若者を呼び込む事はできないでしょうか？素泊まりでお風呂は権現の湯の割引きとかで利用していただくとか。
空施設の利用方法。

風の子広場の整備
風の子広場の手入れがあまりされなくなり、モグラの掘った土の山があちこちにあり、まるで畑のよう。そして芝を刈った後も刈りっぱなしで、芝生の上に刈って枯れた芝生があり見た目が悪い。5月頃あちこちから保育園の遠足で来られるのに、草も多く少し恥ずかしい。以前がきれいに手入れされていたのですごく残念。
風の子広場建て替え。遊具が古いのでこわい。

商工観光業の振興
農業振興だけではなく、観光・立科町の特産品・お土産にも力を入れていただきたい。特徴のある工業の誘致により、住民が働ける場所を用意し、転出を防止したい。
山で得た観光客が麓へ来てもらえるような魅力ある町作りが必要。町でお金を落としてもらえるようなくみ作り。
他の市や町のようになるのではなく、立科町ならではのものを生み出してほしい。
せっかくおいしい「りんご」があるので、それを活かしたお店、カフェがあればいいと思う
立科町の特産物をもっと作った方が良くと思う 道の駅で買った『ぼくのりんご ごりんくぼ』というお菓子で、外のパッケージを取ったら個包装がとてもシンプルかつ立科要素が無かった。もっと立科町や五輪久保を主張してほしい。手の込んだ特産物を作ってほしい。
・特産品の開発、販売等が弱く感じる。道の駅となった農んき村もいまいち活性化となっていないと感じる。ケーキ店、パンの専門店等がない立科において、何か新しく始めるプロの人がいないかと思う。

子育て環境の改善
子どもの数が減る中、保育園では0・1歳児の保育が必要となっている。年々働こうとする母親が増え、未満児の保育があたりまえの時代になる気がする。保育園の役割も、預けている子どもだけでなく利用できるような子育て支援の場（相談など）になっていくといいと思う。
子育てしやすい町に。お金をかけなくても、今ある自然や施設を利用工夫して、キッズランド的なものを。権限山一帯はお宝の場所と思う。冬場や天候の悪い時なども親子で遊べたり過ごせるホールなどあるといい。
今後も働きながら子育てする人が増えるので子供の居場所を確保してほしい。小学生の放課後教室をもっと増やすとかなど。
小学校の帰りに、自分でならい事に通える所がない。ピアノ、そろばん、なんでも自分で行って勝手に帰ってこられる様な所がほしい。親の送迎ばかりでは、本当子育てしにくい。今後の通学に対する不安ももう少し減らしたい。子供の自主性をはぐくめる様に！東京や名古屋は小学生をバス、電車を使って通っている地域もある。私立だが、もっと親の負担を無くしてほしい。あと、外食する人の少なさにもびっくりする。ので、もっと外へ出かけたくなる様に
子育て支援センターに行った時、スタッフの人はかかわらず、子供と二人で遊んだだけでした。他の町の支援センターは、スタッフのかかわりもあり悩みなども聞いてくれました。また、町内の人しか利用できずにおどろきました。他のセンターは、市町村関係なくウェルカムでした。閉鎖的な印象を受けました。医療機関に行くような事でもない事を相談する場がなく子育てには厳しい町だと思います。

公共交通の充実
町外へ通学する学生の為に交通費の補助があればありがたいです
不審者情報も時折聞きます。来年度1年生になる娘がいるので登下校とても心配です。防犯ブザーなど持ってもそもそも人が少ないので気付いてもらえないのでは。体の大きい大人に連れ去られたら終わりですよね。通学距離関係なく(通学バス)を作ってほしいです。早急に！！よろしくお願いします。
免許返納後や高齢者が買い物、通院、金融機関に行く際の更なる交通手段の充実。今以上に必要になってくると思うので。また町外の学校(高校)に通う学生たちの駅までの足の確保。駅までの送迎が親の負担になっていると思うので。
町外に出るための交通手段が少ない立科町なので、高校生など町外に出る学生にも補助があると助かります(蓼科高校の補助だけでなく)。
他の市町村に通う高校生の通学手段がなく、近隣の駅までの送迎で苦勞しております。ご検討をお願いします。長女、次女の就職活動の時に立科町は交通の便が不便だという事でUターン就職を断念しました。こう言った理由で地元に戻ってくるのを止まってしまう若い人も多いのではないのでしょうか。
難しいとは思いますが、電車(駅)がないのでそれに代わる交通手段。
車を運転できない時に、今のコミュニティバスだけでは何もできなくなる気がするので、外出しやすくなるように考えてほしい。
高齢者の運転免許返上してからの生活が不安なので買物、通院他のお出掛け方法を考えてほしい、
交通の便をもっと良くしてほしい。バスの本数を増やしてほしい。もう少しバスを安くしてほしい。学生が住みやすくしてほしい。
たてしなスマイル号について。今自分で車を運転できるので、利用しませんが、いつか運転しなくなった時、利用者が少なくなっている。今ですが、将来運行し続けてほしい。

情報提供方法の見直し
家に有線が無いので情報不足
我が家には有線放送がありません。今後も設置するつもりもありません。いろいろの連絡を有線でしているようですが、災害の時等どうするのか心配です。外の放送は何を言っているのか分かりません。有線放送の位置づけは？行政と関係あるのでしょうか。

住民の意識改革
自分達が町を作る。維持していくという意識が低い。
住民の将来に対する危機感のなさ。次世代の事、自分たちの10年後の生活のことを、もっと真剣に考えるべきだと思う。
立科町の熱い思いを持つ人がたくさんいる町だと思う。けれど協力したり助け合って、一緒に活動できるグループや団体が少ない。それぞれが勝手に足のひっぱり合いをしている感がある。みんなで一緒にできないの?! そのパイ役として、役場にはもっと積極的に取り組んでほしい。
住む人の意識、それぞれひとりで生きていく力を持ちながら、助け合うということをしていかないといけない。今後、立科町の人口をある程度で維持していくためには、最低限の地域活動にしていかないと、若い世代は他市へ移っていく。

その他
北と南の離れている感
「山」に住んでいるとどうしても「町」との距離感をものすごく感じる。「観光」に注力してくれる町長もいれば「建築」に注力した町長もいる。「観光」と「建築」をバランスよく取り入れ、人口減少どころか人口増加をしている。他の市町村で実績のある市町村は参考にすべきだと思う。
公と民が分離している様に思える。また、北部と南部も分離していると思う。しかたない課題かもしれないが、同じ町として一体感を持てる様行政に音頭を取ってほしい。
人間のコミュニケーションをもっと盛んにしたい。
区の役員になった時、母子家庭では負担が大きくて大変。順番にまわってくるのは分かっていますが、1人で役員、仕事、家や子供の事を行うのは本当に大変すぎます。各地区でのことも知れませんが、こういう思いをしている母子家庭があることを知っていただきたいです。
区費、班費の使い道や改善して若い人達の負担をなるべく軽くする取り組み
1. 消滅町村の典型。 2. 町村単位での生き残りに希みなし。 3. 公益行政合併あるのみです。
町政。近隣と統合されるべき。無駄がとにかく多い。
白樺湖周辺は立科町中心部より離れており、取り残されている。生活は完全に茅野。消防、救急が川西からくるのでは遅すぎる。茅野から来るようにできないか。茅野北部分署なら15分で来るが、川西からなら30分かかる。
消防団のあり方→集まって酒を飲むだとか、消防の練習をダラダラとやるほど、今の若者はヒマではない。若者をはなれていく原因を真に聞いてほしい昔は、こうだった、からは今の若者には通用しない。今の時代には通用しない。火事になった時の助け合いのために、参加はしているが、あくまでボランティア。今のあり方をつづけるなら、参加したくない。

免許の更新でも日曜日に出来るので、住民票とかも第1、3日曜日とか休日対応をしてもらいたい。町外で働いている人はその様な書類を入手できない。マイナンバーカードを申請するのも平日のみなので、もっと若くて働いている人の事を考えてもらいたい。

この先未合併でやっていけるのか。色々な可能性や方向性を考えて行く必要があるのでは？町村合併を推奨している訳ではありません。でも町民の生活が今後も継続できる事を考えるのが行政の役割りではないのでしょうか。

国際化していく世の中に対応する人材を増やすためにも、海外留学を希望する者には、奨学金制度があると良いなと思う。

(3) 目指すまちのイメージ

高齢者、子どもが暮らしやすいまち
老若男女が安心して暮らせる町
高齢者や子育て世代の住みやすい町になってほしい。
高齢者が増えており、若い人と高齢者との関わりの場が必要。また子育てをする世代の人口を増やすためにも、地域で定年を迎えて家にいる方々の協力を得て子育てをできる仕組みがあれば、協力してくださる方の生きがい、やりがいにつながっていけばいいと思う。
子育てに支援を厚くして、子供を安心して産める支援を、高齢者に趣味のグループ作りを、生きがい作りを、町の主導で進めてほしい。
子供達がのびのびと自然の中で遊べて、大人も働きやすい、子育てしながらでも働ける環境がある。移住もしやすいまちになってほしいです。(働ける場所がある)高齢者も病院が近くにあり、移動しやすいまちになるといいと思います。
高齢になっても、周囲の方と関わり合い、日々心配なく生活できるような町・若い人が結婚し、安心して子育てできる町(独身者を減らそう。子供を増やそう。)

若者が帰ってきたくなるまち
ここで暮らす一人一人がこの町を自慢出来て、進学等で一度は離れたこどもたちも帰ってきたくなるようなまちづくり
進学などで県外へ出た子供達が帰ってきたくなるような活気のある町。就職先など豊富にあり、他からも移住したい人が次々来るような充実した町。交通の便が良くなって、通勤、通学しやすい町になるといいと思います。
若い世代の方が年々減少していると思います。移住者やUターン就職で戻ってきてくれる若い人達が多くいる立科町になってほしいと思います。立科町は教育や子育ての行政サポートはとても手厚いものになっていると思いますが、交通の便ではもう一歩といった感じです。
就職や大学等1度家から出て行った若者が帰ってきたい町。働く場所は佐久市や上田方面でも、住む所は町内。町内に住むと子育て支援充実、子供達に学習支援も。立科町が好きなら県外、外国人の方も移住。開かれた未来に向かった明るい楽しい町。
若者がUターンしてくる魅力あるまち。働く機会沢山あるまち

働く場所がある／働く場所に通えるまち
町内に働く場所がたくさんあれば、町外へ出ていく人も少ない。
若者が定住できる街になってほしい。企業誘致を積極的に取り組んでもらいたい
自分達も含めて、年寄り家庭ばかり。若い人の働く場所がほしいと思います。
立科町には企業が少なく働く場所がないので、他市町村へ通いやすい道路整備をしてほしい。

子育て環境が整っているまち
多少不便な所があっても、近隣で助け合い、また自然豊かな農村の景観を守りつつ、営農で経営が成り立ってゆけるような立科町であってほしい。子供達の声がいっつもにぎやかに聞こえてくるような町であってほしい。
人口増加にむけて子育て世代にやさしい町になってほしい。このまま自然環境を大事にしてほしい。

南箕輪村のように人口約 1500 人(人口増加率県内 1 位、平均年齢 43 才)子育てしやすい村、若い移住者が増えている村ですが立科町の他の町や村を参考に人口減少ストップさせてほしい。高齢者にやさしい町にしてほしい(施設、介護の充実)
長門町のような子育て世代に負担のないまち。
若い人達がどんどん町民となって、立科町で暮らして町外で働く事ができる町になってもらいたい。老人もそうだが、若者の子育て支援をしっかりと若者のすみたい町になってもらいたい。
母になった今、やはり子どもたちが安心して暮らせる町が一番です。母親が子育てで困ったら相談できる場、家庭以外にも子どもが困ったら守ってくれる場があると心が安定していられると思っています。

心が落ち着くまち、心豊かなまち
人にやさしい町
落ち着ける場所
自然環境の良い川のきれいな町。老人の住み良い町。
立科町に住む人はもちろん、訪問者にとっても居心地の良い町になってほしい。
今までと同じ、おだやかに暮らす。
ここに暮らす人々が、決して金銭的に豊かでなかったとしても、心豊かに生活しており、それを町外の人が魅力と感じられるような町。
町外から来たのですが、来た当時は買い物などとても不便で、いろいろ考えることがありました。でも、40 年程暮らしてみて、だいぶ不便さもなくなりました。事件などなく、安心して心豊かに暮らせる立科町がとても好きになりました。若いお嫁さんにもどんどん立科町のことを PR して行ってほしいと思います。
子どもたちが健やかに、心豊かに育っていけるまち。
ここに住みたいと思うのは、また帰ってきて、生活できて、子育てができて、一生住める町だと思う。特別金持ちがいるでなく、特別極貧がいるでなく、皆が助け合って暮らせる所、夢みたいですけど、この間テレビで檜枝岐村のことをやっていましたが、あんなところだと思います。

自然が豊かなまち
自然豊かで住みやすい町。誰もが安心して暮らしていけるよう、行政の皆さんの町づくりに期待しています。
他県、町外から、あそこの町に行くと心休まる店がある、自然がある、景色がある、第 2 のふるさとだと言われ親しまれる町にしてゆきたい。行政と共に町民も一緒に。
自然豊かな町になってほしい。
自然が多く、美しい。地域のつながりが深く助け合える。心が豊かで他の町から移住したいと思ってもらえるような町。
自然災害もなく、安心・安全な町であり、活力ある魅力な町を維持してほしい。
のどかで静かだが、不便を感じない住みやすい町。
最近自然環境が良くないと思う。太陽光発電にするのはいいが、どこでもやっていいとは思わない。事前に説明会などした方がいいと思うから。
災害の少ない豊かな自然、おいしい水、安全安心の立科も超高齢化、少子化、日本中の問題であり私達後期高齢者は医療になるべくかからない生活が一日でも多く続けて行くだけです。認知症、転倒しないよう気をつけているのみです。

町の歌のように自然が豊かで水や緑のきれいな町であってほしい。人々も自然の中で豊かに暮らしていけたらいいと思う。山々を守ってほしい。
立科町は自然災害も人為的災害も少なく、安全で安心して暮らせる町です。各産業が活気を帯びどの世代も、不自由な思いをすることなく豊かな心で生活できる町で、あってほしいです。
このままの自然豊かな町であってほしい。
老いも若きも 夢と希望を持てる町作り 豊かな森と水、自然の恵みを享受できる環境を保持し、その大切さを町内外に発信できる知性豊かな町作り
自然を守りつつ、今よりも住みやすくなってもらいたい。
自然環境や町の景観がより美しく、安全で安心して暮らせるまちになってほしい。色んな人に知ってもらえたらいいと思う。
美しい自然をいつまでも残せる町。

お互いが支え合っている町
町の人の困っていることを検討してください。立科町が、いい町だとまったくもって、人に伝えられないです。課題は山積みですけど、話し合わなきゃ良い町には絶対ならないと思います。
困っている事にもうちょっと耳を傾けてほしい
自分の力で歩く町
若い世代が気軽に意見を言える場所、機会があったらいいと思う。
子供、障がい者、高齢者が共存できる町。町民みんなが「自分らしく暮らす」ことができる町。
子供も高齢者も、移住者も障がいをもった方も、立科町に住む人が皆この町に住んで良かったと心から思える町になってほしい。町民が磨いていけば、自然と人も集まってくると思います。また、立科町に住んでみたい！と思えるように、町民のみならずすべての人にやさしい町であってほしいと願います。そのために町民として何をしていたらいいのか…。その投げかけをうまく発信していただきたいと思っています。

自律の継続
自立経営できる町。町民が自立のための長、議員を選んでもらいたい。
自立の存続
財政破綻しない町でいてほしいです。
近隣市町村と合併せず頑張っている立科町ですが、このまま立科町だけでこれからも独自に生きていってほしいと思うので、町政の方うまくやりくりして進めてほしいと願っています。
他町村との合併なく、5年後10年後も立科町として独立していけるような町。今でも十分だが、お住まいの方、他町村の方にも自慢でき、うらやましがられるような町。

合併の検討が必要
佐久市に吸収されるべき。町の運営そのものが時代錯誤。財政も中央政府によるサポートなしでは成り立っていない。
合併してほしい。自立して悪化。これ以上何のために住民に負担をかけるのか。至急対応願う。
今は人口減少、少子高齢化が進み町の人口も7000人位に減少しています。立科町も自立が理想ですが、高齢者ばかりの町になっては行政も厳しくなってきます。ある時期を考え合併の事も検討が必要だと感じます。

卷末資料：調查票

第5次立科町振興計画(後期)策定に係る町民意識調査 調査票

I あなたやご家族のことについて

1-1. あなたの性別をお答えください。

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

1-2. あなたの年齢をお答えください。(1つに○)

- | | | | |
|-----------|------------|------------|-----------|
| 1. 18～24歳 | 2. 25～29歳 | 3. 30～34歳 | 4. 35～39歳 |
| 5. 40～44歳 | 6. 45～49歳 | 7. 50～54歳 | 8. 55～59歳 |
| 9. 60～64歳 | 10. 65～69歳 | 11. 70～74歳 | 12. 75歳以上 |

1-3. 主に従事している職業等をお答えください。(1つに○)

- | | | |
|---------------|--------------|------------|
| 1. 自営業・事業主 | 2. 農林業(専業) | 3. 会社員 |
| 4. 団体職員 | 5. 公務員 | 6. 専業主婦・主夫 |
| 7. パート・アルバイト等 | 8. 学生(予備校含む) | 9. 無職 |
| 10. その他() | | |

1-4. 普段、車、バイク(原付を含む)の運転をしていますか。(1つに○)

- | | | |
|------------|-------------|----------------|
| 1. 運転をしている | 2. 運転をしていない | 3. 運転免許を持っていない |
|------------|-------------|----------------|

1-5. 現在、結婚していますか。(1つに○)

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 結婚している | 2. 結婚していない |
|-----------|------------|

1-6. ご家族の構成をお答えください。(1つに○)

※二世帯・三世帯同居の方は、ご自身が「あなた」に該当する選択肢をお答えください。

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1. 一人暮らし | 2. 夫婦で二人暮らし |
| 3. 二世帯同居(あなたと子) | 4. 二世帯同居(親とあなた) |
| 5. 三世帯同居(あなたと子と孫) | 6. 三世帯同居(親とあなたと子) |
| 7. 三世帯同居(祖父母と親とあなた) | 8. その他() |

1-7. あなたを含め、同居しているご家族に以下の方はいらっしゃいますか。

(○はいくつでも)

※いずれもあてはまらない場合は、「8. いずれもない」とお答えください。

- | | |
|-------------|----------------------------|
| 1. 就学前の乳幼児 | 2. 保育園・幼稚園・認定こども園に通っている子ども |
| 3. 小・中学生 | 4. 高校生 |
| 5. 65歳以上の方 | 6. 要介護認定者 |
| 7. 障害者手帳所持者 | 8. いずれもない |

1-8. お住まいの地区をお答えください。(1つに○)

- | | |
|--------------------------|--------------------------|
| 1. 南部地区 (大字芦田、大字芦田八ヶ野) | 2. 西部地区 (大字山部、大字牛鹿、大字宇山) |
| 3. 東部地区 (大字塩沢、大字桐原、大字藤沢) | 4. 茂田井地区 (大字茂田井) |

1-9. 立科町での居住年数をお答えください。(1つに○)

※これまでに生活した期間の合計年数をお答えください。

- | | | | |
|-----------|----------|----------|-----------|
| 1. 1年未満 | 2. 1～5年 | 3. 6～10年 | 4. 11～20年 |
| 5. 21～30年 | 6. 31年以上 | | |

1-10. 出身地^{※1}についてお答えください。(1つに○)

※1 15歳までの期間に最も長く住んだ場所を出身地とします。

- | | | |
|--------------------------------------|-----------------------|----------------|
| 1. 立科町 | 2. 東信地方 ^{※2} | 3. 県内 (東信地方以外) |
| 4. 県外 (_____ 都・道・府・県 _____ 市・区・町・村) | | |
| 5. 海外 (国名: _____) | | |

※2 東信地方: 上田市、東御市、長和町、青木村、佐久市、小諸市、軽井沢町、御代田町、小海町、佐久穂町、川上村、南牧村、南相木村、北相木村

1-11. お住まいの状況をお答えください。(1つに○)

- | | |
|--------------------|----------------|
| 1. 持ち家 (自己または家族所有) | 2. 公営住宅 (町営住宅) |
| 3. 民営の賃貸住宅 | 4. 社宅・寮・公務員住宅 |
| 5. その他 (_____) | |

1-12. 農地 (自己または家族所有) の所有状況をお答えください。(1つに○)

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 所有している | 2. 所有していない |
|-----------|------------|

II 立科町に対する意識について

2-1. 立科町での暮らしについて、現在の満足度を教えてください。(1つに○)

- | | |
|----------|---------|
| 1. 満足 | 2. やや満足 |
| 3. やや不満 | 4. 不満 |
| 5. わからない | |

2-2. 立科町に愛着を感じていますか。(1つに○)

- | | |
|----------------------|---------------------|
| 1. とても愛着を感じている | 2. どちらかといえば愛着を感じている |
| 3. どちらかといえば愛着を感じていない | 4. 愛着を感じていない |

2-3. 今後も立科町に住み続けたいですか。(1つに○)

1. 住み続けたい 2. 住み続けたくない 3. 住み続けられない 4. わからない

2-3で「2.住み続けたくないまたは3.住み続けられない」と答えた方にお聞きします。

2-4. 住み続けたくないまたは住み続けられないと思う理由は何ですか。(○はいくつでも)

1. 適当な住宅・土地が確保しにくいから 2. 仕事の都合
3. 寒冷地で自然環境が厳しいから 4. 風景が良くないから
5. 交通の便が悪いから 6. 道路等の都市基盤が整っていないから
7. 日常の買い物が不便だから 8. 公共施設が不足しているから

(具体的に)

9. スポーツ・レジャー、文化施設などが不足しているから
10. 医療施設や福祉施設が不足しているから 11. 働く場所が少ないから
12. 人間関係がわずらわしいから 13. 育児・教育環境が整っていないから
14. 老後に不安を感じているから 15. その他 ()

III 移住者に対する意識について

3-1. お住いの地域では、移住者を受け入れる環境が整っていると思いますか。(1つに○)

1. 受け入れる環境が整っている 2. 受け入れる環境が整っていない
3. 移住者を受け入れたことがないのでわからない

3-2. 今後、移住者を積極的に受け入れたいと思いますか。(1つに○)

1. 受け入れたい 2. 受け入れたくない 3. わからない

3-2で「2.受け入れたくない」と答えた方にお聞きします。

3-3. 移住者を受け入れたくない理由を教えてください。ご自由にお書きください。

3-4. 今後、立科町に移住を希望する人に対して希望することは何ですか。

(○はいくつでも)

1. 地域の活動に積極的に参加してほしい 2. ごみ捨てなど地域のルールを守ってほしい
3. 希望することは特にない 4. その他 ()
5. わからない

IV 立科町の施策の満足度・重要度について

4-1 . 立科町は、以下の項目について環境や体制の整備などの取り組みを進めています。あなたは、①町の取り組みにどの程度満足していますか。また、②今後、その取り組みはどの程度重要になると思いますか。記入例を参考にしながら、あなたのお考えに最も近い番号に、それぞれ1つ〇をつけてください。

		①町の取り組みに対する満足度					②今後、どの程度重要になると思うか						
		判断できない	満足	やや満足	満足でも不満でもない	やや不満	不満	判断できない	とても重要になる	やや重要になる	どちらでもない	あまり重要にならない	重要にならない
【設問番号】 (記入例)		0	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1
保健・福祉	1	0	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1
	2	0	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1
	3	0	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1
	4	0	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1
	5	0	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1
	6	0	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1
	7	0	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1
	8	0	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1

設問番号1～8の「①町の取り組みに対する満足度」で、「2 やや不満」「1 不満」と回答された項目のうち、特に理由がある方は設問番号とその内容をお書きください。

設問番号	「2 やや不満」「1 不満」と回答した理由
記入例) 1	若い世代の健康づくりの場が少ないと感じるから

設問番号1～8の「②どの程度重要になると思うか」で「5 とても重要」「4 やや重要」と回答した項目について、今後力を入れていくべきとお考えのことがあれば、設問番号とその内容をお書きください。

設問番号	「5 とても重要」「4 やや重要」と回答した項目について、今後力を入れていくべきと考えること
記入例) 2	人口減少を抑制するために、他の分野を削ってでも子育て世代に対する支援を充実させるべき

		①町の取り組みに対する満足度					②今後、どの程度重要になると思うか													
		判断できない	満足	やや満足	満足でも不満でもない	やや不満	不満	判断できない	とても重要になる	やや重要になる	どちらでもない	あまり重要にならない	重要にならない							
【設問番号】		(記入例)					0	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1		
教育文化	9	子どもが生きていく力をつけることを目指す「立科教育」が進んでいる	0	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1
	10	子どもたちが心身ともに健やかに育つことができる環境が整っている	0	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1
	11	子育てに関わる人への支援体制が整っている	0	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1
	12	生涯にわたり学習することができる環境が整っている	0	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1
	13	人権感覚を高めるための取り組みが充実している	0	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1
	14	生涯にわたりスポーツ活動や運動に取り組める環境が整っている	0	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1
	15	町民の郷土への理解と愛情を深めるための取り組みが行われている	0	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1
	16	町民が文化・芸術活動に参加する環境が整っている	0	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1
	17	女性が主体的に社会参画できる環境が整っている	0	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1

設問番号9～17の「①町の取り組みに対する満足度」について、「2 やや不満」「1 不満」と回答された項目のうち、特に理由がある方は設問番号とその内容をお書きください。

設問番号	「2 やや不満」「1 不満」と回答した理由
記入例)16	蓼科音楽祭など町内で芸術に触れられる機会があるものの、参加する人は限られているから

設問番号9～17の「②どの程度重要になると思うか」で「5 とても重要」「4 やや重要」と回答した項目について、今後力を入れていくべきとお考えのことがあれば、設問番号とその内容をお書きください。

設問番号	「5 とても重要」「4 やや重要」と回答した項目について、今後力を入れていくべきと考えること
記入例)12	図書室の図書をもう少し増やしてほしい

		①町の取り組みに対する満足度					②今後、どの程度重要になると思うか							
		判断できない	満足	やや満足	満足でも不満でもない	やや不満	不満	判断できない	とても重要になる	やや重要になる	どちらでもない	あまり重要にならない	重要にならない	
		0	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	
産業振興	18	次の世代に引き継げるよう農業振興が進んでいる	0	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1
	19	農業経営の担い手の確保対策が進んでいる	0	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1
	20	農地や農業用水路などの生産基盤が適切に管理されている	0	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1
	21	町有林が適切に整備されている	0	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1
	22	里山など私有林が適切に整備されている	0	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1
	23	知人や友人に勧めたい町の特産品がある	0	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1
	24	商工業が振興されている	0	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1
	25	知人や友人に勧めたい観光地が町内にある	0	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1
生活・自然環境	26	おいしい水が安定的に供給されている	0	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1
	27	移住者が地域に定着できる環境が整っている	0	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1
	28	美しい景観が保たれている	0	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1
	29	環境に配慮した循環型社会が推進されている	0	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1

設問番号 18～29 の「①町の取り組みに対する満足度」について、「2 やや不満」「1 不満」と回答された項目のうち、特に理由がある方は設問番号とその内容をお書きください。

設問番号	「2 やや不満」「1 不満」と回答した理由
記入例)19	家の回りに耕作されていない農地が増加しているから

設問番号 18～29 の「②どの程度重要になると思うか」で「5 とても重要」「4 やや重要」と回答した項目について、今後力を入れていくべきとお考えのことがあれば、設問番号とその内容をお書きください。

設問番号	「5 とても重要」「4 やや重要」と回答した項目について、今後力を入れていくべきと考えること
記入例)29	小水力発電など再生可能エネルギーの普及に力を入れるべきだと思う

		①町の取り組みに対する満足度					②今後、どの程度重要になると思うか						
		判断できない	満足	やや満足	満足でも不満でもない	やや不満	不満	判断できない	とても重要になる	やや重要になる	どちらでもない	あまり重要にならない	重要にならない
【設問番号】		0	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1
生活・自然環境	30	0	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1
	31	0	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1
	32	0	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1
	33	0	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1
	34	0	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1
	35	0	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1
協働・自治	36	0	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1
	37	0	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1
	38	0	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1

【設問番号】 (記入例)

設問番号 30～38 の「①町の取り組みに対する満足度」について、「2 やや不満」「1 不満」と回答された項目のうち、特に理由がある方は設問番号とその内容をお書きください。

設問番号	「2 やや不満」「1 不満」と回答した理由
記入例)30	よく利用する道路の舗装が長期間傷んでいるから

設問番号 30～38 の「②どの程度重要になると思うか」で「5 とても重要」「4 やや重要」と回答した項目について、今後力を入れていくべきとお考えのことがあれば、設問番号とその内容をお書きください。

設問番号	「5 とても重要」「4 やや重要」と回答した項目について、今後力を入れていくべきと考えること
記入例)31	みんなで積極的に利用して、将来も公共交通を維持できるようにするべきだと思う

			①町の取り組みに対する満足度					②今後、どの程度重要になると思うか						
			判断できない	満足	やや満足	満足でも不満でもない	やや不満	不満	判断できない	とても重要になる	やや重要になる	どちらでもない	あまり重要にならない	重要にならない
【設問番号】			0	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1
協働・自治	39	町政に関する情報を入手する環境が整っている	0	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1
	40	姉妹都市・友好都市との交流が盛んに行われている	0	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1
	41	行財政運営の健全化が図られている	0	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1
	42	広域行政が推進されている	0	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1

設問番号 39～42 の「①町の取り組みに対する満足度」について、「2 やや不満」「1 不満」と回答された項目のうち、特に理由がある方は設問番号とその内容をお書きください。

設問番号	「2 やや不満」「1 不満」と回答した理由
記入例)39	町政について知らないことが多いから

設問番号 39～42 の「②どの程度重要になると思うか」で「5 とても重要」「4 やや重要」と回答した項目について、今後力を入れていくべきとお考えのことがあれば、設問番号とその内容をお書きください。

設問番号	「5 とても重要」「4 やや重要」と回答した項目について、今後力を入れていくべきと考えること
記入例)39	広報誌やホームページだけでなく、SNS を活用した情報発信に力を入れるべきだ

4-2. 町の基本目標に関して、町の現状についてあなたの認識に最も近い番号に、1つ○をつけてください。

		現在の立科町の状況				
		そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	判断できない
【設問番号】 (記入例)		④	3	2	1	0
基本目標	1 健やかに、いつまでも地域で暮らせるまちとなっている 【保健・福祉分野】	4	3	2	1	0
	2 郷土を愛し、心豊かな人を育むまちとなっている 【教育文化分野】	4	3	2	1	0
	3 活気ある経済を創造するまちとなっている 【産業振興分野】	4	3	2	1	0
	4 豊かな自然とともに暮らす安全・安心なまちとなっている 【生活・自然環境分野】	4	3	2	1	0
	5 地域の力で活力あふれるまちとなっている 【協働・自治分野】	4	3	2	1	0

4-3 . 立科町のまちづくりとして、今後、特に力を入れていくべきことはどのようなことだと思いますか。4-2の1～5の項目の中から、あてはまる設問番号を3つまで選び、力を入れるべき順番に回答欄にご記入ください。

回答欄	設問番号(1～5)を記入		
	1番目	2番目	3番目
今後、立科町が力を入れていくべきこと			

V 町政や地域への関わりについて

5-1. 立科町の町政運営に関心がありますか。(1つに○)

- | | | | |
|----------|--------------|-------------|----------|
| 1. 関心がある | 2. ある程度関心がある | 3. あまり関心がない | 4. 関心がない |
| 5. わからない | | | |

5-1で「3.あまり関心がない」「4.関心がない」と答えた方にお聞きします。

5-2. 町政運営に関心がない理由を教えてください。ご自由にお書きください。

--

5-3. 以下のうち、あなたが日頃、町政の情報を収集するために読んだり、参加したりしているものはありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------|-----------------|
| 1. 町ホームページ | 2. 有線放送・音声告知放送 |
| 3. FMとうみ (アプリ) | 4. 広報たてしな (広報誌) |
| 5. 回覧板 | 6. 役場、公民館等の掲示 |
| 7. 役場、公民館等の行事・イベント | 8. 町の説明会 |
| 9. 出前講座 | 10. その他 () |
| 11. 町の情報は把握していない | |

5-4. 以下のうち、あなたの趣味や興味があることについて、普段よく利用する情報の入手方法はどれですか。(あてはまるものすべてに○)

【A テレビ・ラジオ】

- | | | |
|-----------|---------------|----------------|
| 1. テレビ | 2. 蓼科ケーブルビジョン | 3. JA 佐久浅間有線放送 |
| 4. FM ラジオ | 5. AM ラジオ | |

【B 新聞】

- | | |
|--------|-----------|
| 6. 全国紙 | 7. 信濃毎日新聞 |
|--------|-----------|

【C インターネット・SNS】

- | | | | |
|-------------|-------------|---------------|----------|
| 8. ホームページ | (よく見るページ:) | | |
| 9. Facebook | 10. Twitter | 11. Instagram | 12. LINE |
| 13. メールマガジン | | | |

【D その他】

- | | |
|--------------------|-------------|
| 14. 雑誌 | (よく見る雑誌名:) |
| 15. ポスター、看板 | |
| 16. フリーペーパー | (よく見る冊子名:) |
| 17. 上記のいずれも活用していない | |

5-5. 立科町のまちづくりや地域づくりにどのように関わっていきたいですか。(1つに○)

1. 主体的にまちづくりや地域づくりに関わりたい
2. まわりの人に誘われたら、まちづくりや地域づくりに関わりたい
3. 当番や役員等、義務が発生すれば関わるつもりである
4. まちづくりや地域づくりに関わるつもりはない
5. わからない
6. その他 ()

5-5で「1.主体的にまちづくりや地域づくりに関わりたい」「2.まわりの人に誘われたら、まちづくりや地域づくりに関わりたい」と答えた方にお聞きします。

5-6. 具体的に関わりたいことを教えてください。ご自由にお書きください。

(例) 安全な暮らしを送れるように、町内の防犯パトロールに参加したい

5-7. 以下のうち、現在、日常生活で困っていて、誰かに手助けしてほしいことはありますか。また、地域内での日常生活の助け合いについて、あなたが、手助けできると思うことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

項目	現在日常生活で困っていて、手助けをしてほしいこと	手助けできると思うこと
買い物や通院など、移動	1	1
料理や洗濯など、家事	2	2
草むしり、庭の手入れなど、家の回りのこと	3	3
田畑の手入れ	4	4
電球交換、灯油入れなどのちょっとした作業	5	5
電気製品やパソコンなどの設定や使い方	6	6
冬場の除雪（屋根・家の回り）	7	7
簡単な力仕事（物の持ち運び・移動など）	8	8
書類作成や手続き	9	9
買い物や病院など、外出時の付き添い	10	10
病気の際の付き添いや看病	11	11
野生鳥獣への対応	12	12
両親や配偶者等、近親者の介護のこと	13	13
多忙なときなどに、子どもを預ける場所がない	14	14
その他 []	15	15
誰かに手助けを求めるほどの困りごとはない	16	16

1～16のあてはまる番号をすべて「○」をつけてください。

5-8. 5年後にも残したい立科町の良いところや、5年後に向けて改善していきたい立科町の課題があれば、ご自由にお書きください。

良いところ	
改善していきたい課題	

5-9. 立科町はどのようなまちになってほしいと思いますか。ご自由にお書きください。

--

以上で本アンケート調査は終了となります。ご協力いただき、誠にありがとうございました。



ご記入が終わりましたら、お手数ですが、同封の封筒(切手不要)にお入れいただき、
平成 31 年 2 月 18 日 (月)までに、お近くの郵便ポストへご投函いただくか、役場企画課までお持ちいただきますようお願いいたします。